平成29年度（仮称）政策基礎アンケート調査委託　質問回答書

設計書該当箇所	質問内容	回答
仕様書 ３ 調査の概要	回収率はどのくらいを想定されていますでしょうか。	今回の調査の回収率の想定はしていません。 なお、前回行った同様の調査では、回答率が39.0%でした。
仕様書 ３　調査の概要 （２）調査方法 ア　18歳以上向け	送付方法について、ゆうメールや民間業者のDM便などは利用可能でしょうか。	調査票は信書に該当しますので、郵便を利用してください。
仕様書 ３　調査の概要 （２）調査方法 ア　18歳以上向け	調査関係資料の頁数と、翻訳が必要かどうかお教えください。	Ａ３両面印刷１枚程度（二つ折り）を想定しています。翻訳の必要はありません。
仕様書 ３　調査の概要 （２）調査方法 ア　18歳以上向け	保護者用依頼状は翻訳が必要でしょうか。	翻訳が必要です。
仕様書 ３ 調査の概要 （３）調査数	調査票の頁数を18歳以上向け、中高生向け、それぞれお教えください。	調査協力依頼状や保護者宛趣旨説明文の内容も含めた上で、18歳以上向けは12頁程度、中高生向けは８頁程度を想定しています。
仕様書 ４ 委託内容 （１）調査の準備	調査協力依頼状・保護者宛趣旨説明文・調査票の頁数と仕様（何色刷り等）をご教示ください。	調査協力依頼状や保護者宛趣旨説明文の内容も含めた上で、18歳以上向けは12頁程度、中高生向けは８頁程度を想定しています。 仕様はＡ４単色刷りを想定しています。
仕様書 ４　委託内容 （２）調査の実施 ア　調査協力依頼状、調査票、調査関係資料等の送付	調査関係資料の仕様（サイズ、ページ数等）についてご教示ください。	Ａ３両面印刷１枚程度（二つ折り）を想定しています。
仕様書 ４ 委託内容 （２）調査の実施 ア　調査協力依頼状、調査票、調査関係資料等の送付	送付先宛名リストをエクセル等の電子データでご提供いただくことは可能でしょうか。	ラベルのみでの提供となり、電子データでの提供はできません。
仕様書 ４ 委託内容 （２）調査の実施 ア　調査協力依頼状、調査票、調査関係資料等の送付	対象者からのアンケート返答有無について個票管理は必要でしょうか。個票管理が必要な場合、送付用封筒宛名及び調査票表紙に、バーコード及び数字を印字することは可能でしょうか。	個票管理は不要です。
仕様書 ４ 委託内容 （２）調査の実施 イ　調査対象などからの問い合わせへの対応	電話、FAX、電子メールでの問い合わせ窓口について、多言語対応は必要でしょうか。	英語・中国語等の多国語対応が必要です。必要な言語等については、抽出された調査対象者の国籍等を踏まえ、調査票発送前に受託者と委託者が協議の上、決定します。
仕様書 ４ 委託内容 （２）調査の実施 イ　調査対象などからの問い合わせへの対応	調査対象からの問い合わせ対応業務は前回はどのような対応でしたでしょうか。参考のためご教示願います。また、外国語対応は必要でしょうか。その際は何語対応をすればよろしいでしょうか。	前回の対応の記録はありません。 問い合わせ対応業務については、英語・中国語等の外国語対応が必要です。必要な言語等については、抽出された調査対象者の国籍等を踏まえ、調査票発送前に受託者と委託者が協議の上、決定します。

平成29年度（仮称）政策基礎アンケート調査委託　質問回答書

設計書該当箇所	質問内容	回答
仕様書 ４ 委託内容 （２）調査の実施 エ　返信された回答済調査票の引取	返信された調査票を受託者が受け取りに行くとのことですが、着払い宅急便等で送っていただくことは可能でしょうか。また、直接伺う場合はどのくらい頻度で伺えばよろしいでしょうか。	受託者に受け取りに来ていただいた上での直接渡しとします。受取の頻度は指定しません。
仕様書 ４ 委託内容 （３）集計・分析	前回調査の実績として、各外国語の自由記述は何文字で、何件程度ありましたか。また５か国語での翻訳とは具体的に何語を想定されていますか。	前回調査では外国籍市民の方から44件の回答がありましたが、言語や自由記載の有無についての集計はしていません。 ５か国語での翻訳とは英語、中国語以外にハングル、ポルトガル語、スペイン語を想定していますが、抽出された対象者の国籍等を踏まえ、調査票発送前に受託者と委託者が協議の上、決定します。
仕様書 ４ 委託内容 （３）集計・分析 エ　自由意見（外国語）のデータ入力、翻訳及び類型化	自由意見の翻訳につきまして、「英語、中国語を含む計５か国語まで対応する」とありますが、英語と中国語が必須で２か国語のみの場合もあるのでしょうか。	抽出された調査対象者の国籍等を踏まえ、調査票発送前に受託者と委託者が協議の上、英語、中国語以外の３か国語を決定します。しかし、自由意見について当該言語での回答が無いことも想定されるため、結果として、英語と中国語のみの翻訳となる場合や、いずれの翻訳も必要ない場合があります。
仕様書 ４ 委託内容 （３）集計・分析 エ　自由意見（外国語）のデータ入力、翻訳及び類型化	自由意見の翻訳につきまして、「英語、中国語を含む計５か国語まで対応する」とありますが、英語、中国語以外の３か国語はどの言語を想定していますでしょうか。	ハングル、ポルトガル語、スペイン語を想定していますが、抽出された調査対象者の国籍等を踏まえ、調査票発送前に受託者と委託者が協議の上、決定します。
仕様書 ４ 委託内容 （４）報告書の作成及び打合せ等	報告書は簡易製本でよろしいでしょうか。	報告書の製本方法について指定はありません。
仕様書 ５ 支給品	「調査関係資料」はA４　１枚　の想定でよろしいでしょうか	調査関係書類はＡ３両面印刷１枚程度（二つ折り）を想定しています。
仕様書 ５ 支給品	御支給いただく調査関係書類はどのようなものでしょうか。またどのような仕様ですか。	調査関係書類は、アンケートの内容に関する参考資料です。仕様はＡ３両面印刷１枚程度（二つ折り）を想定しています。
仕様書 ６ 成果品等 （２）報告書	想定されている報告書の体裁（頁数、綴じ方など）をお教えください。	報告書の頁数は100頁程度を想定しています。綴じ方や用紙等の指定はありません。
その他	前回の調査票と報告書をご提供いただくことは可能でしょうか	前回行った同様の調査の報告書を【リンク先・報告書】【リンク先・調査票】で公開しておりますのでご確認下さい。
その他	可能であれば、前回の記述式設問と記入率と一問当たりの文字数をご教示願います。	前回の記述式設問については、【リンク先・調査票】のとおりです。 記入率（自由回答の記入数/全アンケート回答者数）は52.2%でした。 設問により異なりますが、１問当たりの平均回答文字数は27字～80字でした。
その他	回収率はどの程度を想定していますか。	今回の調査の回収率の想定はしていません。 なお前回行った同様の調査では、回答率が39.0%でした。
その他	発送の際、メール便等利用することは可能でしょうか	調査票は信書に該当しますので、郵便を利用してください。

平成25年度

横浜市政策基礎アンケート調査

報告書

横浜市政策局

目　次

Ⅰ. 調査の概要 …… 1

1. 調査目的 …… 3

2. 調査仕様 …… 3

3. 報告書の見方 …… 3

4. 回収結果 …… 4

Ⅱ. 一般調査の結果 …… 7

1. 未来のまちの姿 …… 9

2. 具体的に「そうなってほしい」と思うもの …… 28

3. 市が取り組むべきだと思うもの …… 46

Ⅲ. 青少年調査の結果 …… 67

1. 未来のまちの姿 …… 69

Ⅳ. 調査票・単純集計結果 …… 79

Ⅰ　調査の概要

Ⅰ．調査の概要

１．調査目的

横浜市の目指すべき方向性について検討するため、横浜市民の抱える課題やニーズ等を把握し、今後の市政運営や政策立案の基礎資料として活用する。

２．調査仕様

(1)調　査　地　域	横浜市全域
(2)調　査　対　象	①一 般 調 査：横浜市内に居住する満 18 歳以上の男女個人
	②青少年調査：横浜市内に居住する中学生・高校生の年齢の男女個人
(3)標　　本　　数	①一 般 調 査：10,000 標本（うち、外国籍市民 200 標本）
	②青少年調査： 3,000 標本（うち、外国籍市民 60 標本）
(4)抽　出　方　法	住民基本台帳からの無作為抽出
(5)調　査　方　法	郵送法
(6)調　査　時　期	平成 26 年 2 月 14 日～2 月 28 日
(7)実査、集計、分析	一般社団法人輿論科学協会

３．報告書の見方

(1)ｎは質問に対する回答者数で、100%が何人の回答に相当するかを示す比率算出の基数である。

(2)質問には、全員が１つの回答を選ぶもののほか、前問で特定の回答とした一部の回答者のみに対して続けて行う質問と１回答者が２つ以上の回答をすることができる質問がある。２つ以上を回答する質問では、回答者の合計を回答者数（ｎ）で割った比率であり、通常その値は、100%を超える。

(3)結果数値は、表章単位未満（小数第二位）を四捨五入してあるので、内訳の合計が計（100.0%）に一致しないこともある。

(4)青少年調査における高校生の年代は「高校生」と表記している。

4．回収結果

①一 般 調 査：有効回収標本数 3,935 標本（回収率 39.7%）・宛所不明等による郵便不着数 76 件を除いた母数での回収率

居住区別	実数	割合（%）
全　体	3,935	100.0
鶴見区	274	7.0
神奈川区	218	5.5
西区	92	2.3
中区	153	3.9
南区	183	4.7
港南区	233	5.9
保土ケ谷区	191	4.9
旭区	284	7.2
磯子区	185	4.7
金沢区	239	6.1
港北区	339	8.6
緑区	211	5.4
青葉区	336	8.5
都筑区	201	5.1
戸塚区	300	7.6
栄区	143	3.6
泉区	185	4.7
瀬谷区	138	3.5
（無回答）	30	0.8

男女別	実数	割合（%）
全　体	3,935	100.0
男　性	1,697	43.1
女　性	2,200	55.9
（無回答）	38	1.0

性・年齢別	実数	割合（%）
全　体	3,935	100.0
男性 18～29 歳	139	3.5
30～39 歳	220	5.6
40～49 歳	355	9.0
50～59 歳	256	6.5
60～69 歳	337	8.6
70 歳以上	390	9.9
女性 18～29 歳	228	5.8
30～39 歳	358	9.1
40～49 歳	425	10.8
50～59 歳	384	9.8
60～69 歳	406	10.3
70 歳以上	393	10.0
（無回答）	44	1.1

*うち、外国籍市民の有効回収標本数

男女別	実数	割合（%）
全　体	28	100.0
男　性	12	42.9
女　性	14	50.0
（無回答）	2	7.1

②青少年調査：有効回収標本数 1,104 標本（回収率 36.9%）・宛所不明等による郵便不着数 6 件を除いた母数での回収率

居住区別	実数	割合（%）
全　体	1,104	100.0
鶴見区	75	6.8
神奈川区	59	5.3
西区	24	2.2
中区	41	3.7
南区	37	3.4
港南区	72	6.5
保土ケ谷区	49	4.4
旭区	61	5.5
磯子区	47	4.3
金沢区	68	6.2
港北区	101	9.1
緑区	57	5.2
青葉区	126	11.4
都筑区	72	6.5
戸塚区	94	8.5
栄区	33	3.0
泉区	45	4.1
瀬谷区	35	3.2
（無回答）	8	0.7

男女別	実数	割合（%）
全　体	1,104	100.0
男　性	551	49.9
女　性	543	49.2
（無回答）	10	0.9

学生区分別	実数	割合（%）
全　体	1,104	100.0
中学生	605	54.8
高校生	479	43.4
（無回答）	20	1.8

*うち、外国籍市民の有効回収標本数

男女別	実数	割合（%）
全　体	16	100.0
男　性	7	43.8
女　性	7	43.8
（無回答）	2	12.5

II　一般調査の結果

Ⅱ．一般調査の結果

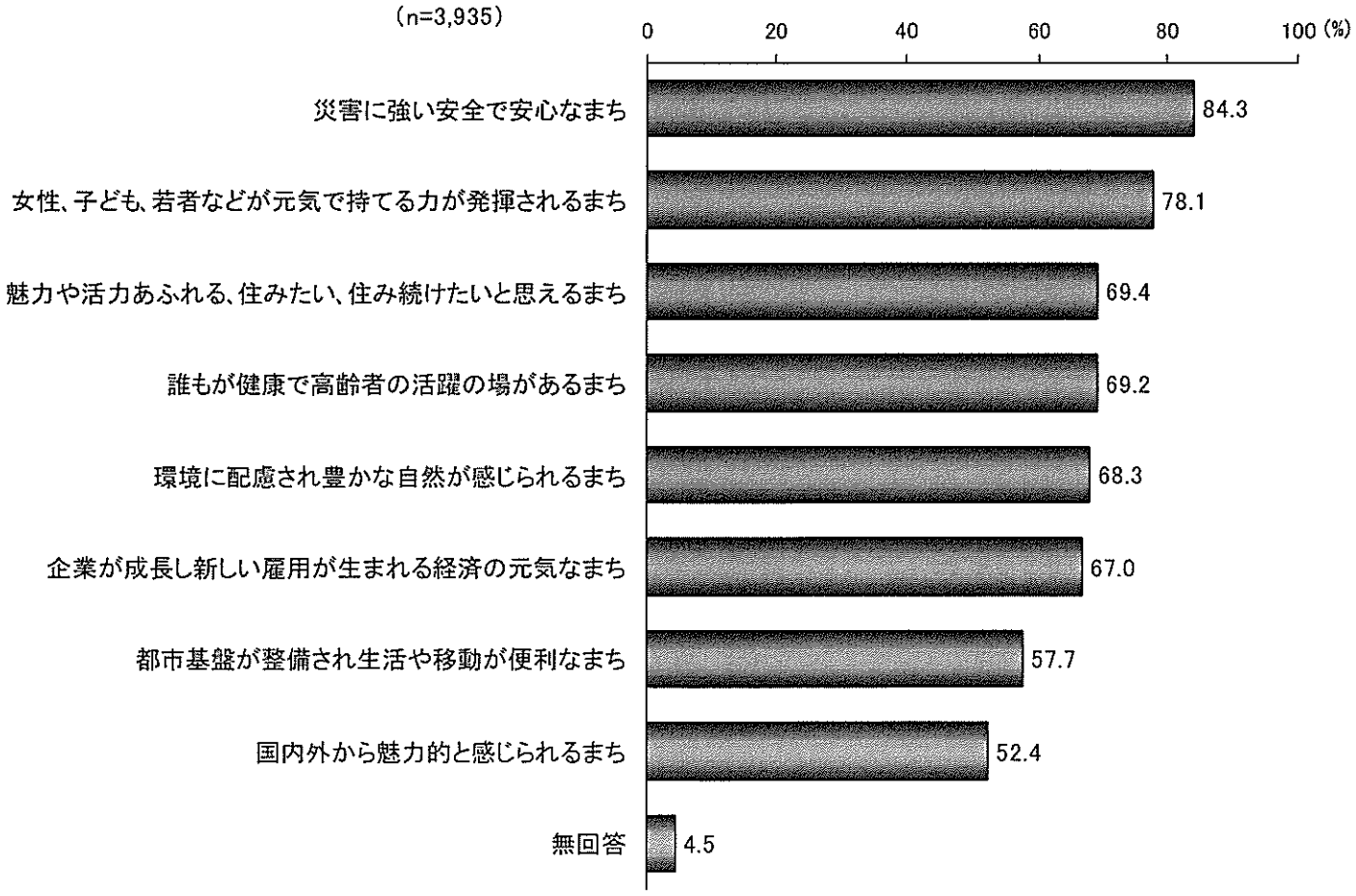
１．未来のまちの姿

問１　「新たな中期計画の基本的方向」では、８つの未来の横浜の姿をお示ししています。以下のそれぞれのまちの姿について「そうなってほしい」と思う場合は記入欄に「○」をつけてください。

「災害に強い安全で安心なまち」が１位

「そうなってほしい」と思う未来のまちの姿について聞いたところ、「災害に強い安全で安心なまち」（84.3%）が８割を超え最も高く、次いで「女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち」（78.1%）が８割弱となっている。３位以降は、「魅力や活力あふれる、住みたい、住み続けたいと思えるまち」（69.4%）、「誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち」（69.2%）、「環境に配慮され豊かな自然が感じられるまち」（68.3%）、「企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち」（67.0%）が７割弱で続き、以下、「都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち」（57.7%）、「国内外から魅力的と感じられるまち」（52.4%）が５割台となっている。

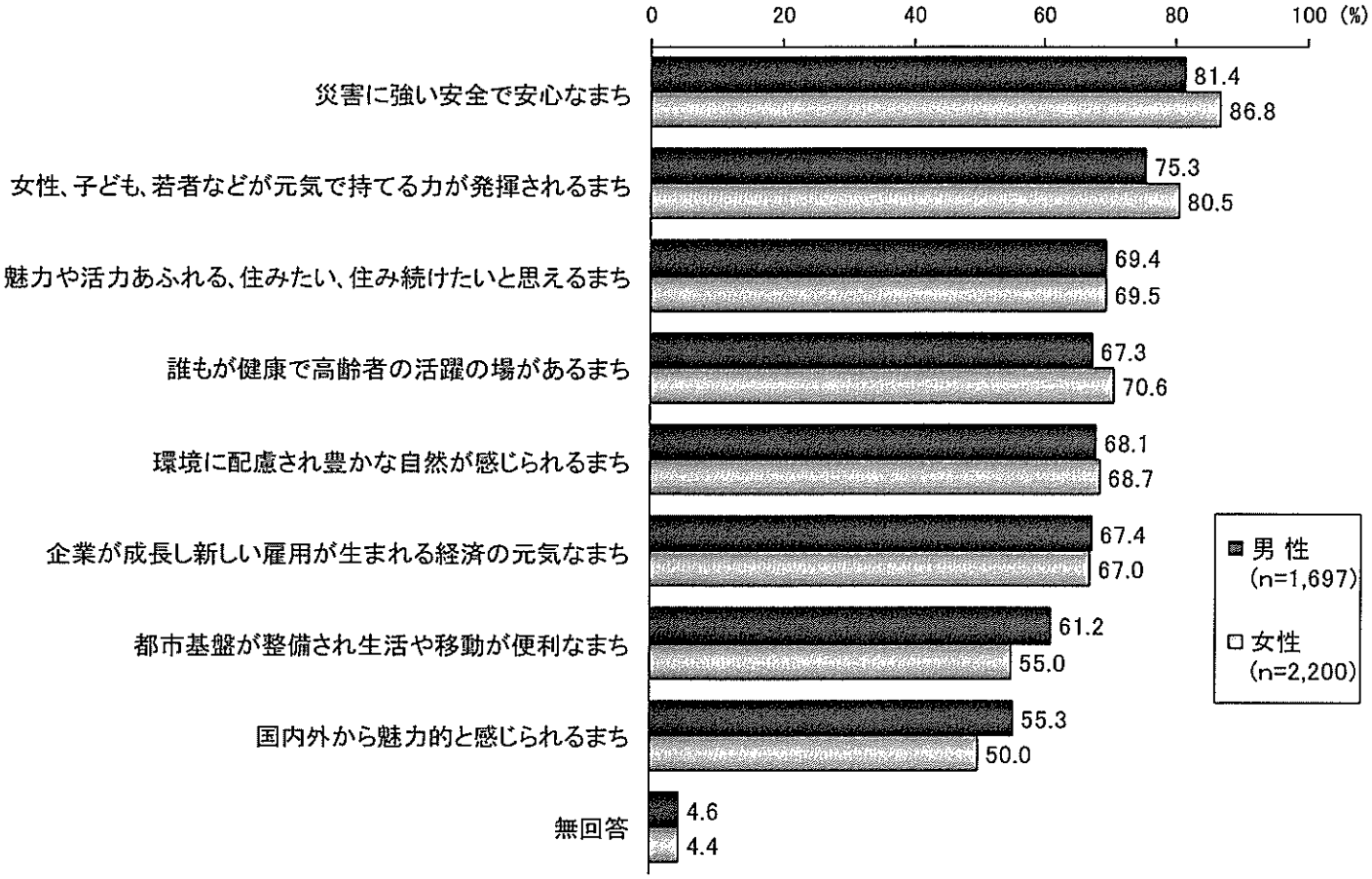
図１－１　未来のまちの姿［全体］（複数回答）



「災害に強い安全で安心なまち」「女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち」は女性の方が高い

男女別にみると、「災害に強い安全で安心なまち」「女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち」「誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち」は、女性の方が高くなっている。一方、「都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち」「国内外から魅力的と感じられるまち」は、男性の方が高くなっている。

図１－２　未来のまちの姿［男女別］（複数回答）

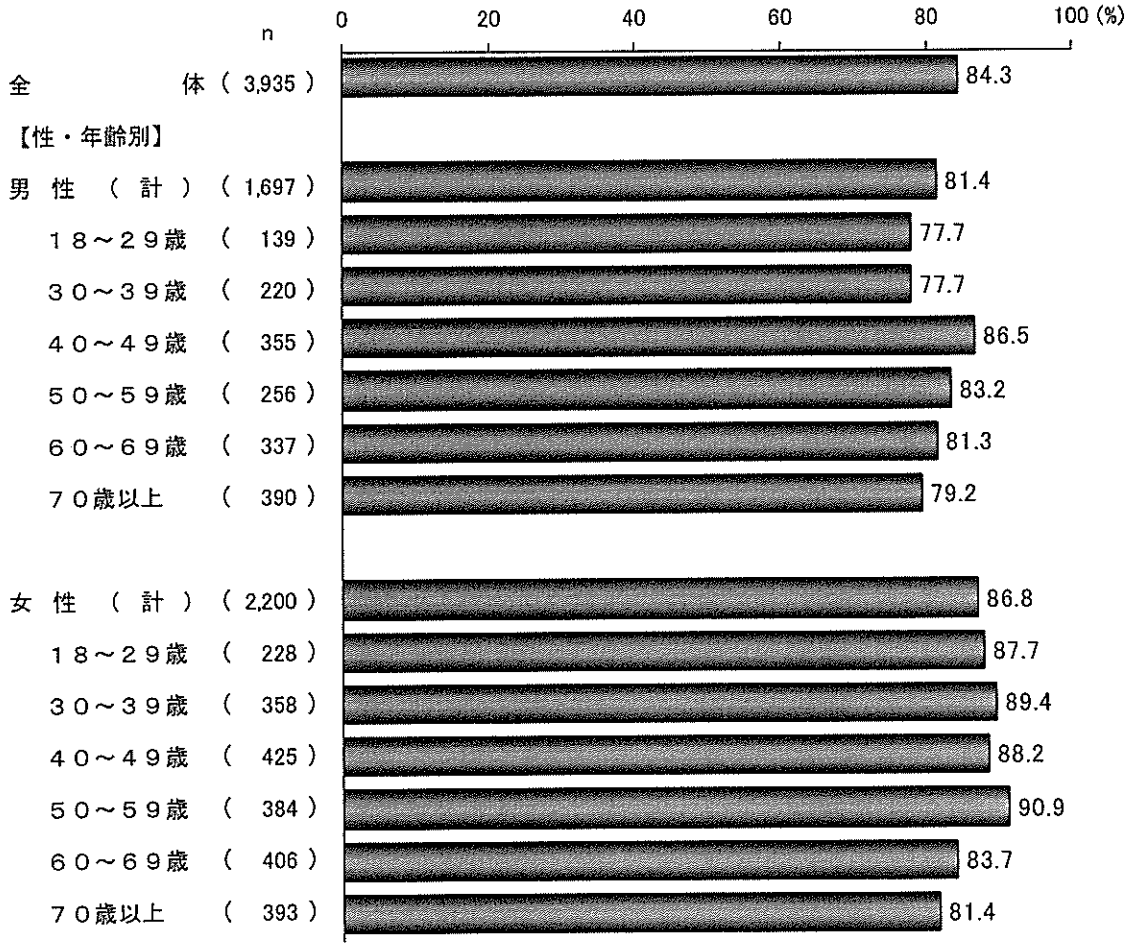


（１－１）災害に強い安全で安心なまち［性・年齢別］

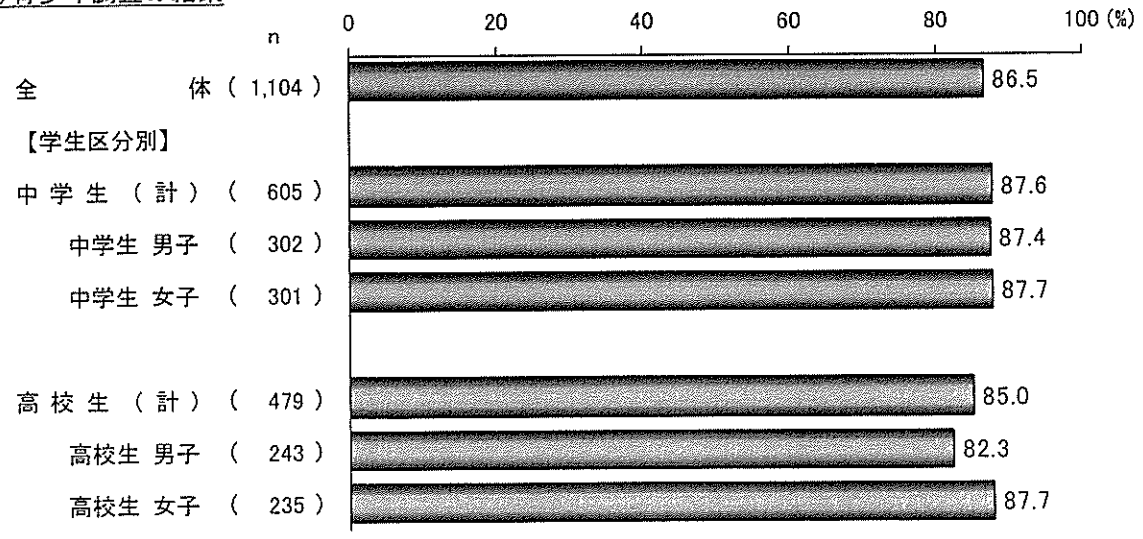
女性 50 歳代で９割超。男性では 40 歳代が最も高い

「災害に強い安全で安心なまち」について、性・年齢別にみると、女性 50 歳代（90.9%）で９割を超え、男女全年代を通じて最も高くなっている。また、女性では 18～29 歳（87.7%）・30 歳代（89.4%）・40 歳代（88.2%）も９割近くと高くなっている。男性では、40 歳代（86.5%）が最も高くなっている。

図１－３　災害に強い安全で安心なまち［性・年齢別］（複数回答）



(参考)青少年調査の結果

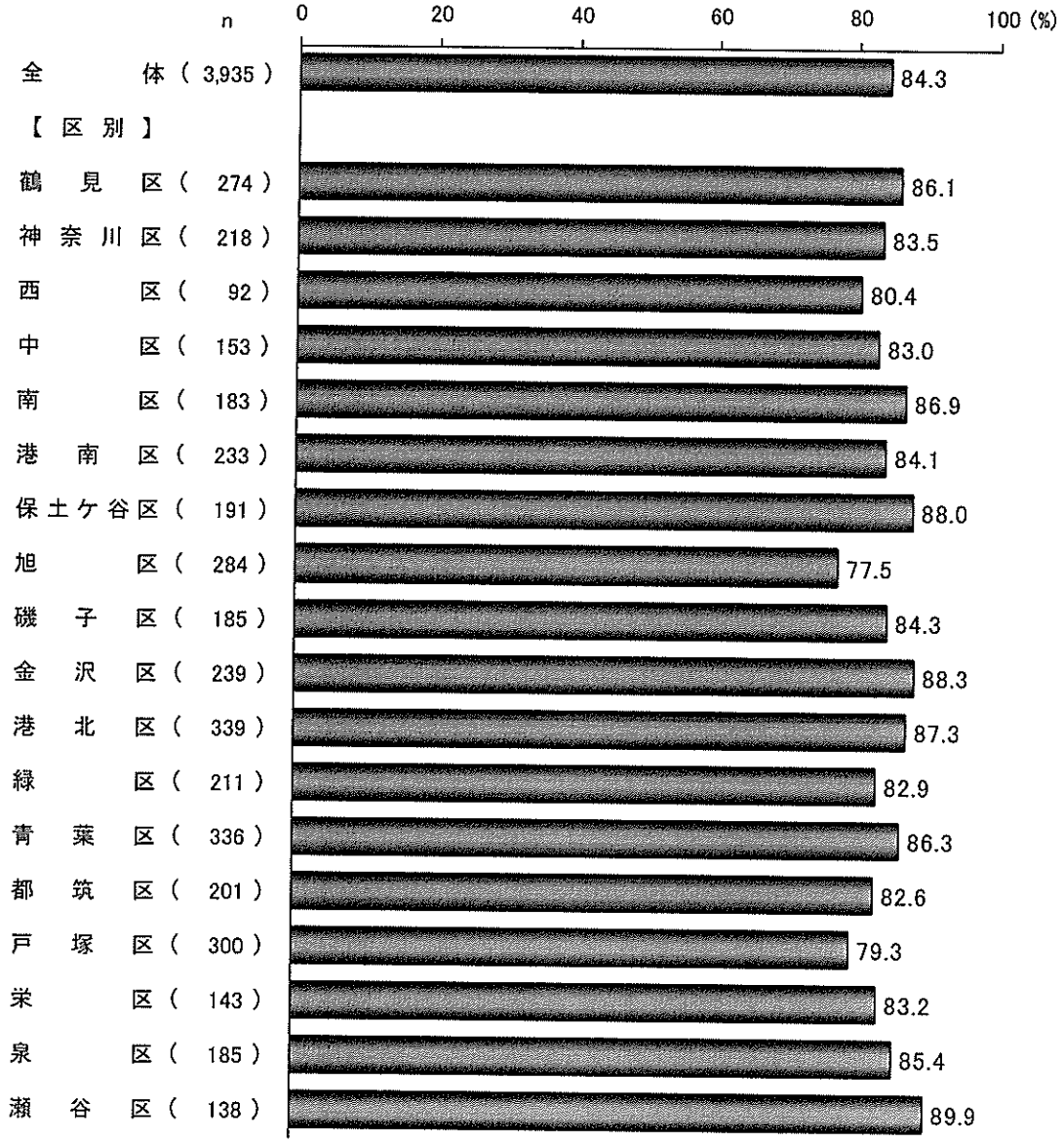


（１－２）災害に強い安全で安心なまち［区別］

瀬谷区がほぼ９割で最も高い

「災害に強い安全で安心なまち」について、区別にみると、瀬谷区（89.9%）がほぼ９割と最も高く、次いで金沢区（88.3%）、保土ケ谷区（88.0%）となっている。

図１－４　災害に強い安全で安心なまち［区別］（複数回答）

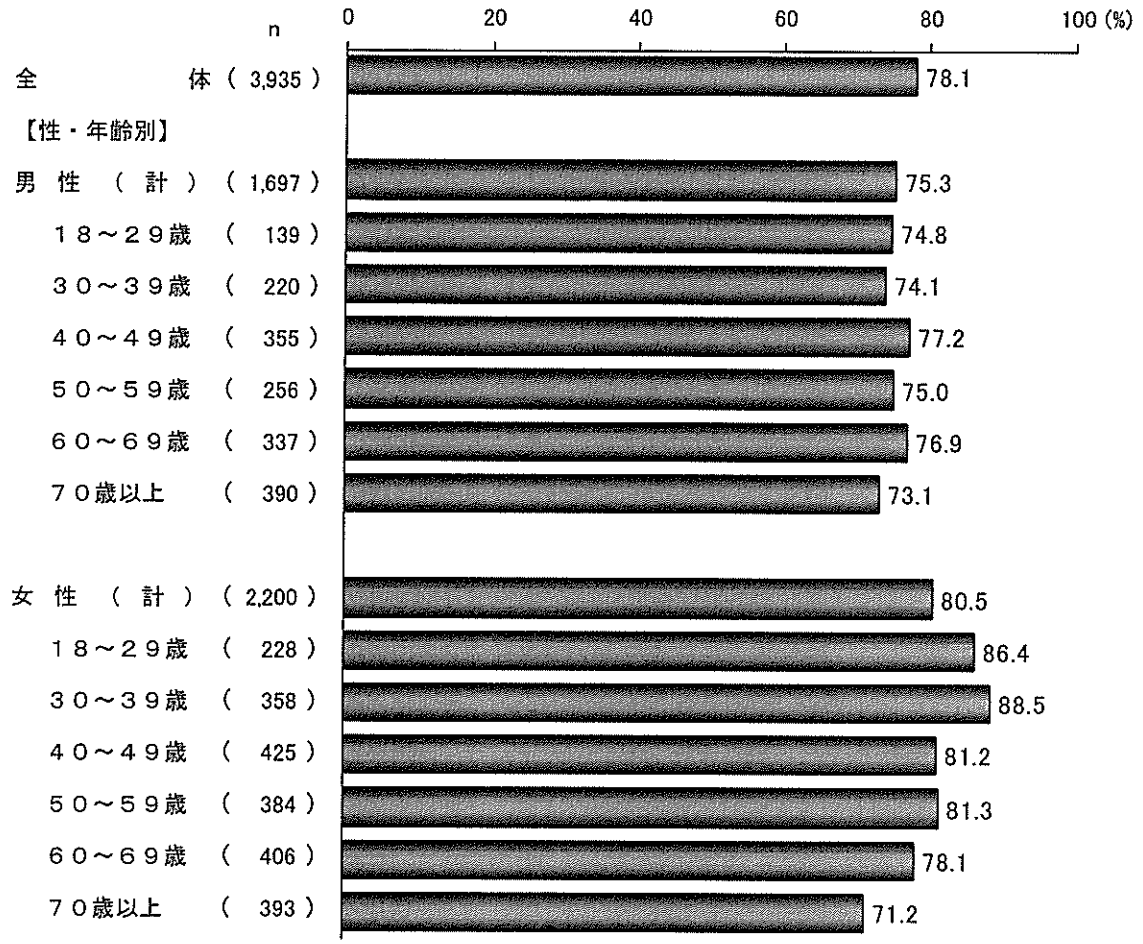


（２－１）女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち［性・年齢別］

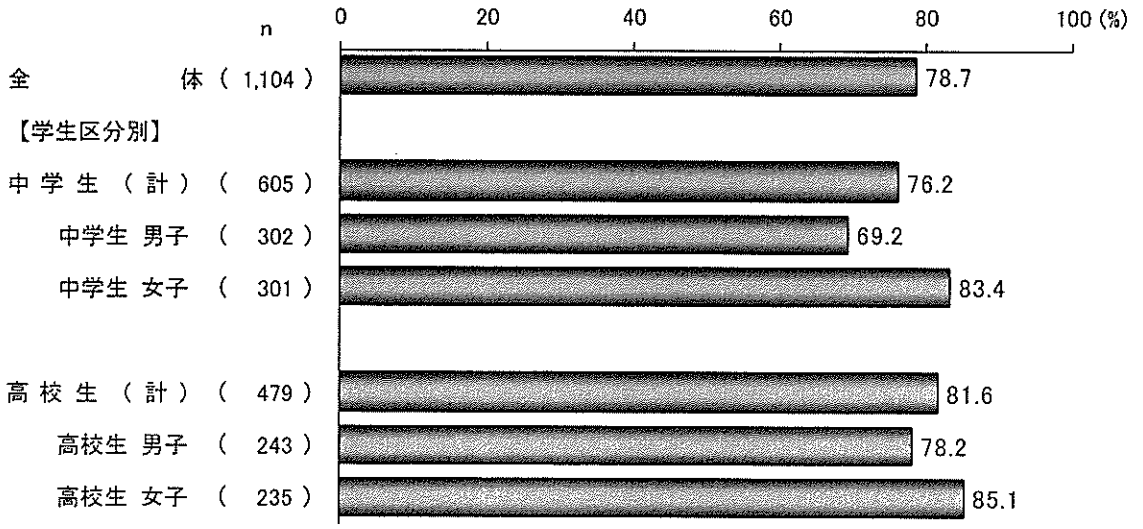
女性 30 歳代で９割近く

「女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち」について、性・年齢別にみると、女性 30 歳代（88.5%）が９割近くで男女全年代を通じて最も高く、次いで女性 18～29 歳（86.4%）となっている。男性は、各年代ともに７割台となっている。

図１－５　女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち［性・年齢別］（複数回答）



(参考)青少年調査の結果

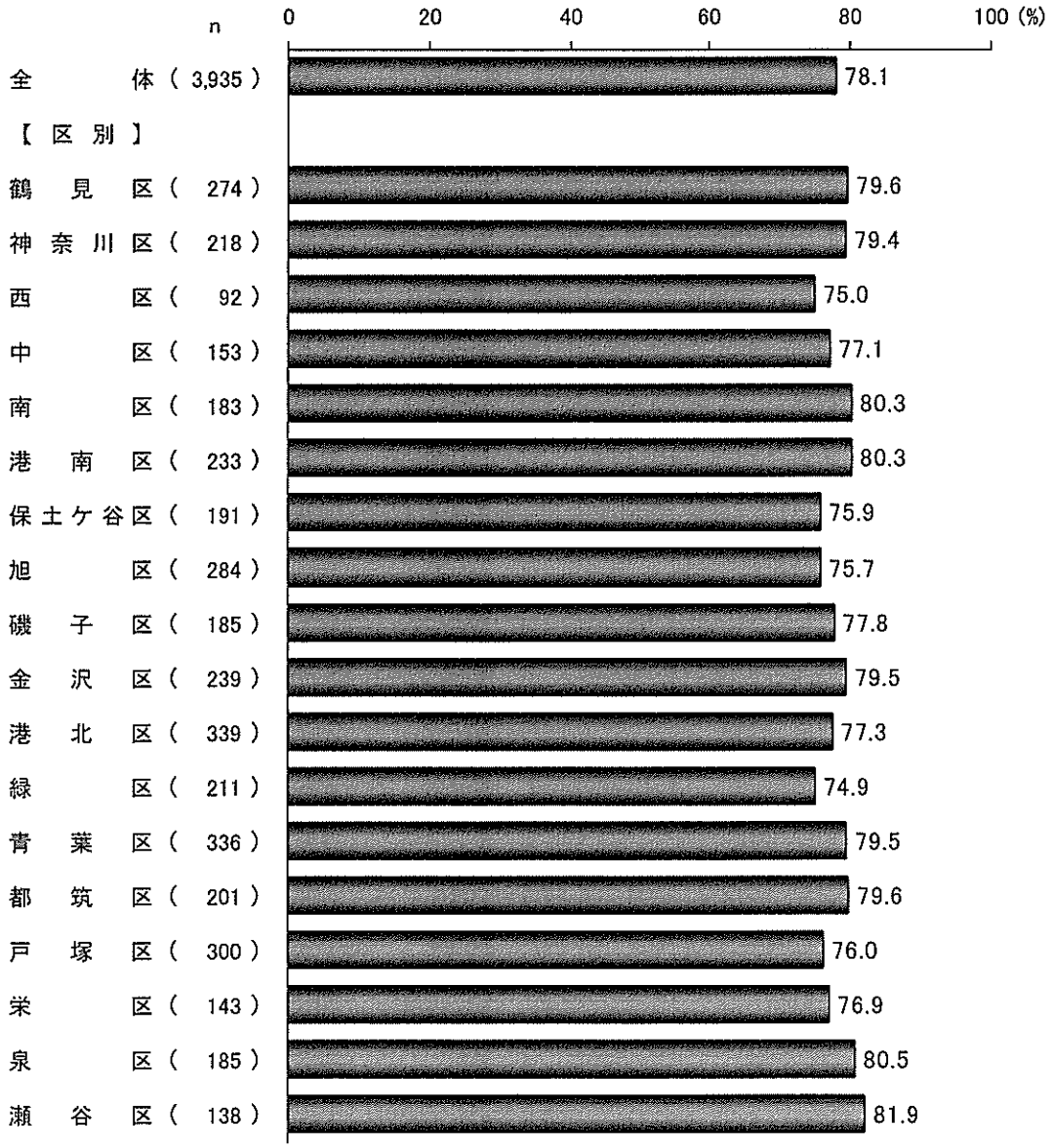


（２－２）女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち［区別］

瀬谷区、泉区、南区、港南区で８割超

「女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち」について、区別にみると、瀬谷区（81.9%）が最も高く、次いで泉区（80.5%）、南区、港南区（ともに80.3%）となっている。

図１－６　女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち［区別］（複数回答）

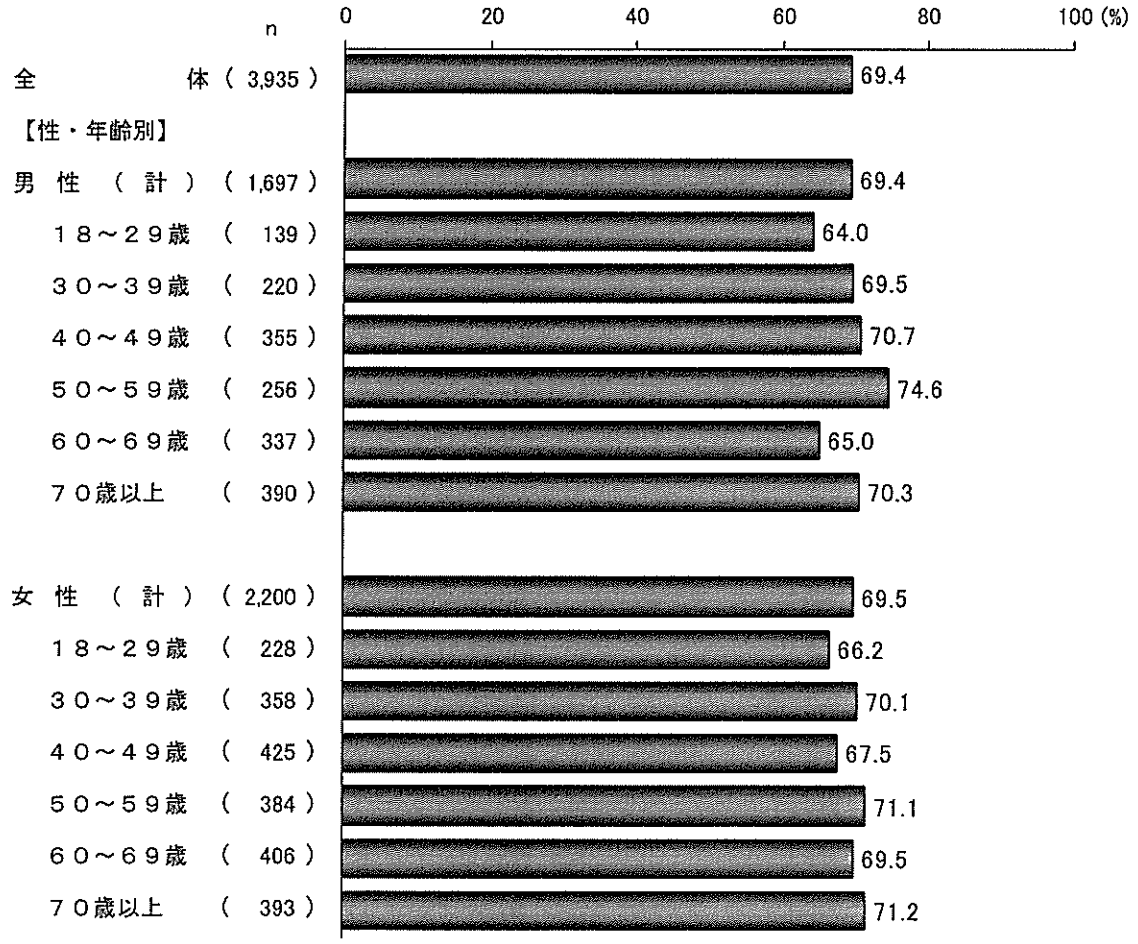


（３－１）魅力や活力あふれる、住みたい、住み続けたいと思えるまち［性・年齢別］

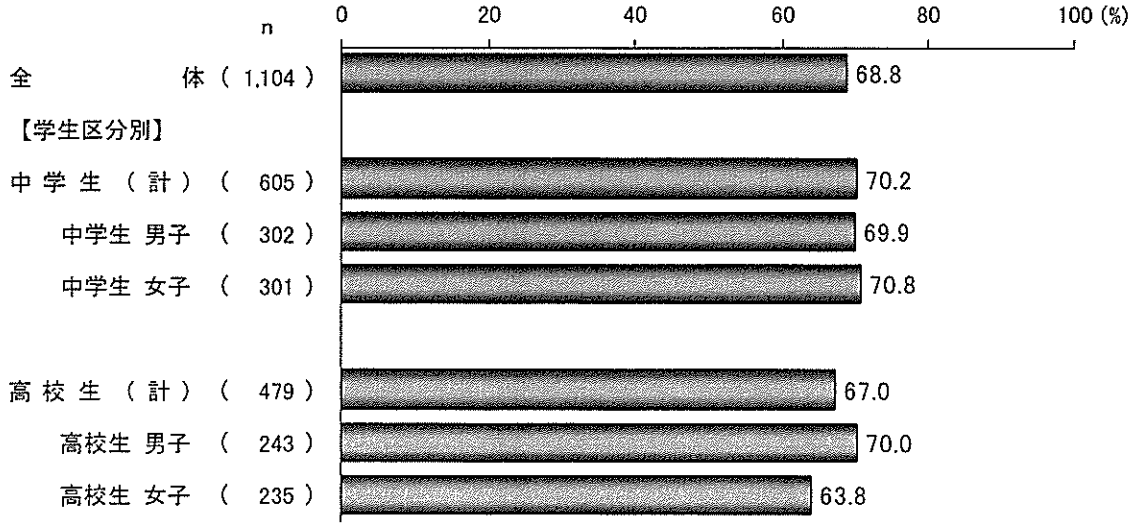
男性 50 歳代が７割台半ばで最も高い

「魅力や活力あふれる、住みたい、住み続けたいと思えるまち」について、性・年齢別にみると、男性 50 歳代（74.6%）が７割台半ばで男女全年代を通じて最も高くなっている。18～29 歳は、男性で 64.0%、女性で 66.2%と、他の年代に比べやや低くなっている。

図１－７　魅力や活力あふれる、住みたい、住み続けたいと思えるまち［性・年齢別］（複数回答）



(参考)青少年調査の結果

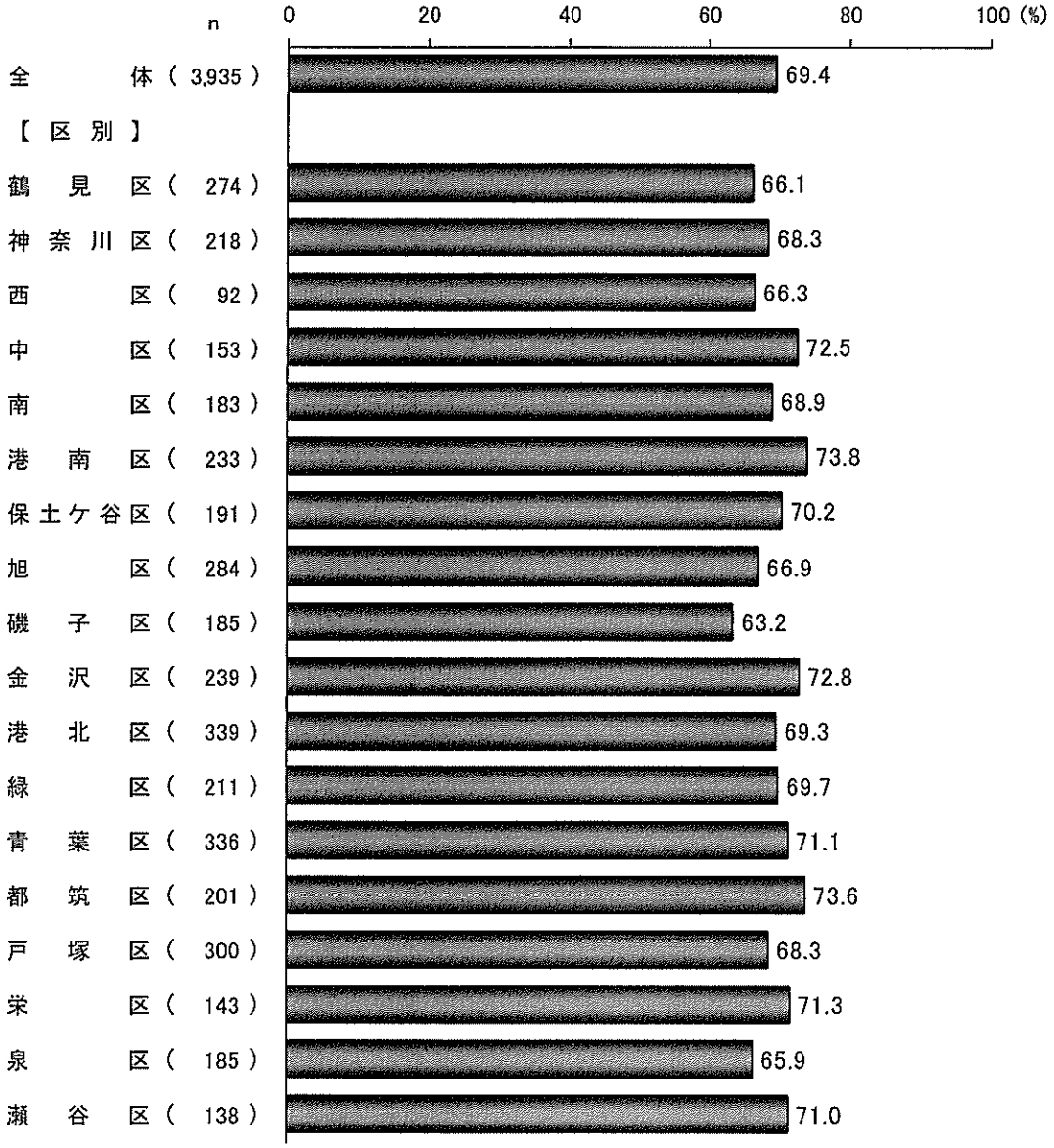


（３－２）魅力や活力あふれる、住みたい、住み続けたいと思えるまち［区別］

港南区が最も高い

「魅力や活力あふれる、住みたい、住み続けたいと思えるまち」について、区別にみると、港南区（73.8%）が最も高く、次いで都筑区（73.6%）、金沢区（72.8%）となっている。

図１－８　魅力や活力あふれる、住みたい、住み続けたいと思えるまち［区別］（複数回答）

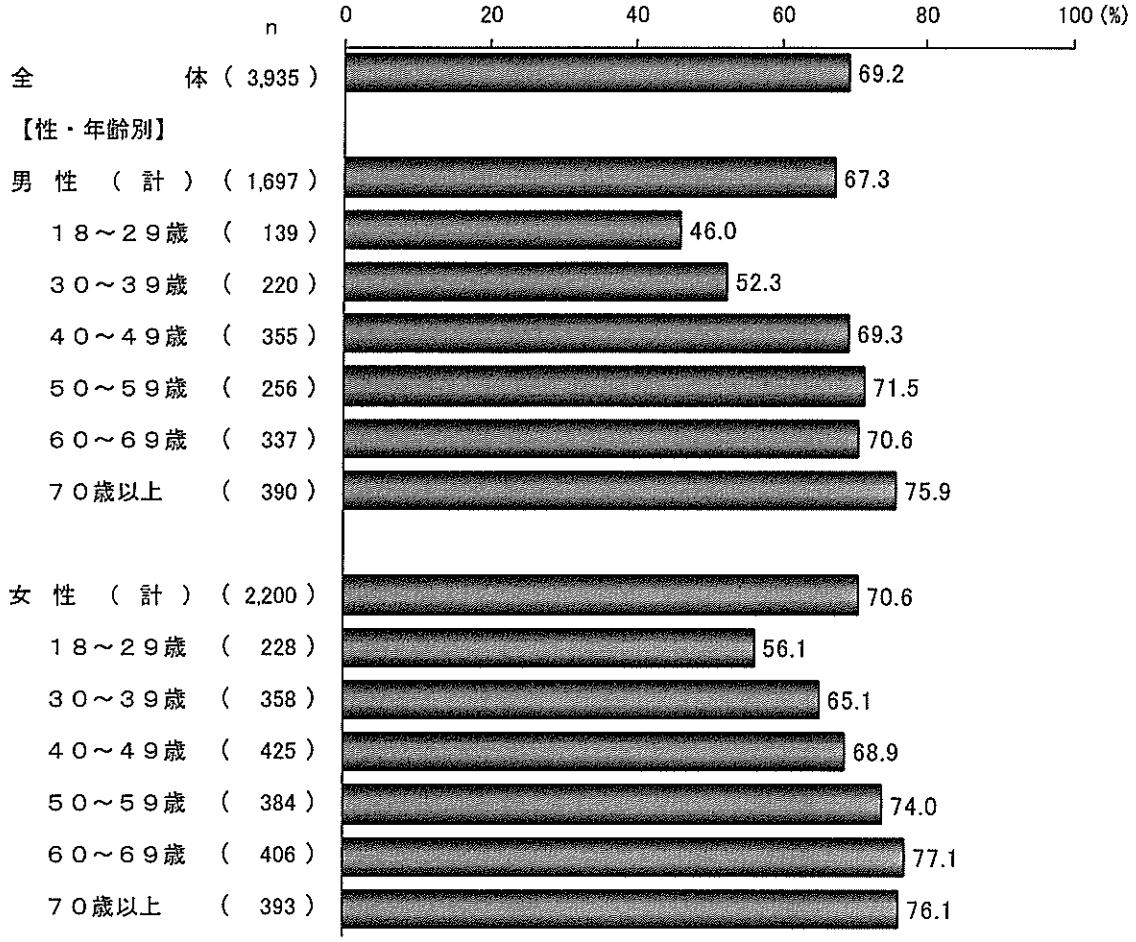


（４－１）誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち［性・年齢別］

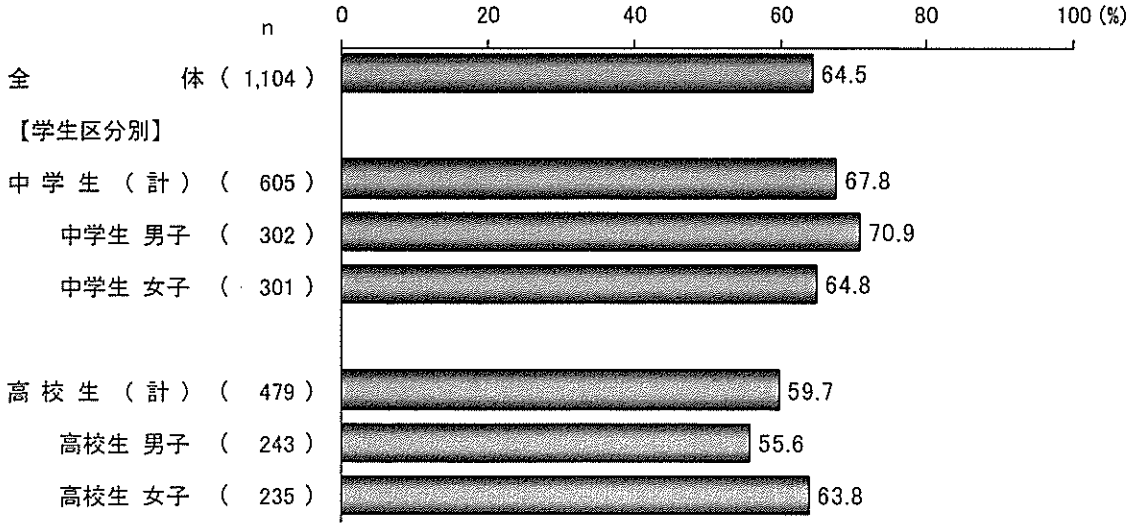
年代が上がるほど割合が高まる傾向

「誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち」について、性・年齢別にみると、男女ともにおおむね年代が上がるにつれ割合が高くなる傾向となっている。女性 50 歳代（74.0%）・60 歳代（77.1%）・70 歳以上（76.1%）、男性 70 歳以上（75.9%）で特に高くなっている。

図１－９　誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち［性・年齢別］（複数回答）



(参考)青少年調査の結果

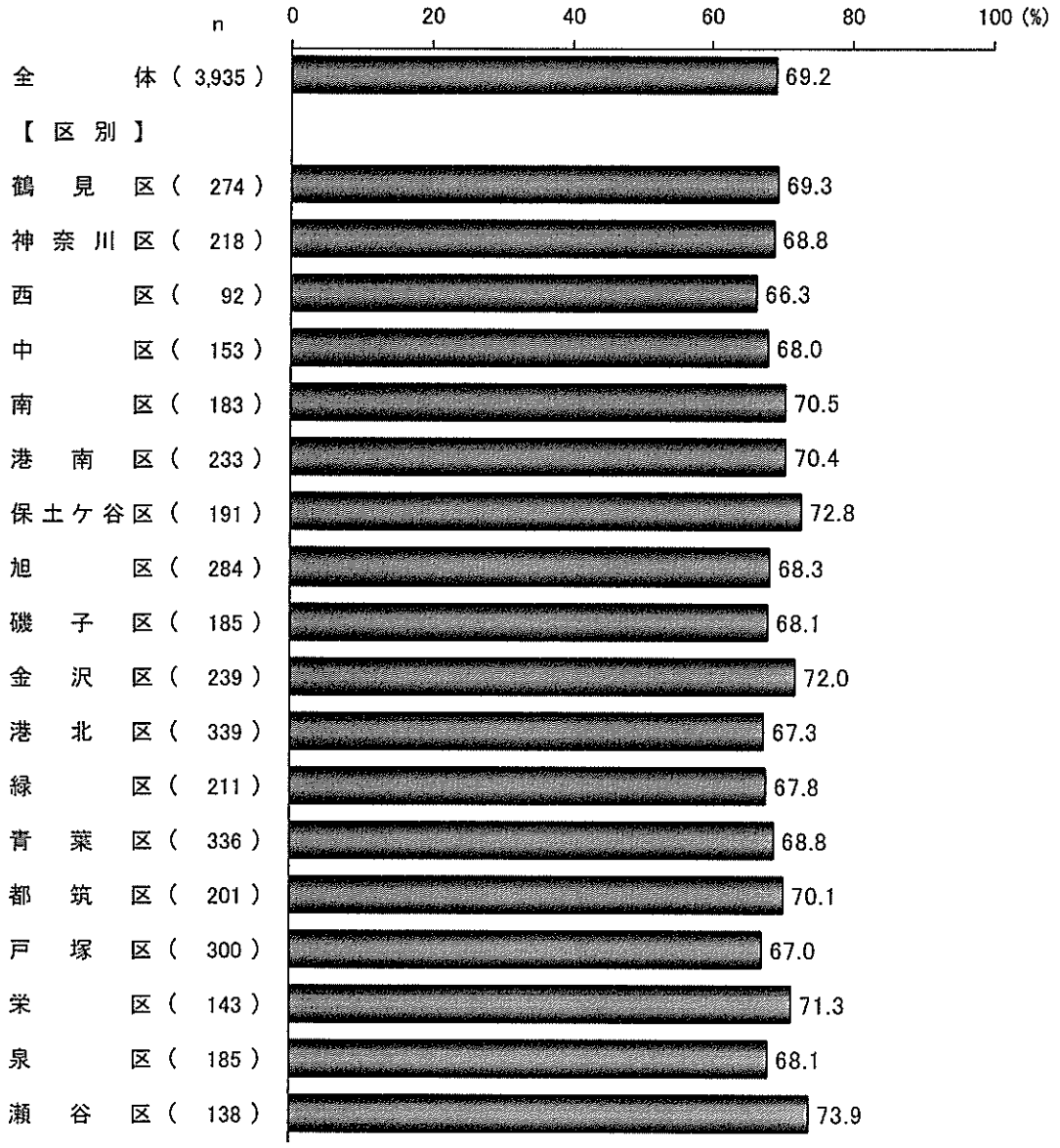


（４－２）誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち［区別］

瀬谷区が最も高い

「誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち」について、区別にみると、瀬谷区（73.9%）が最も高く、次いで保土ケ谷区（72.8%）、金沢区（72.0%）となっている。

図１－10　誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち［区別］（複数回答）

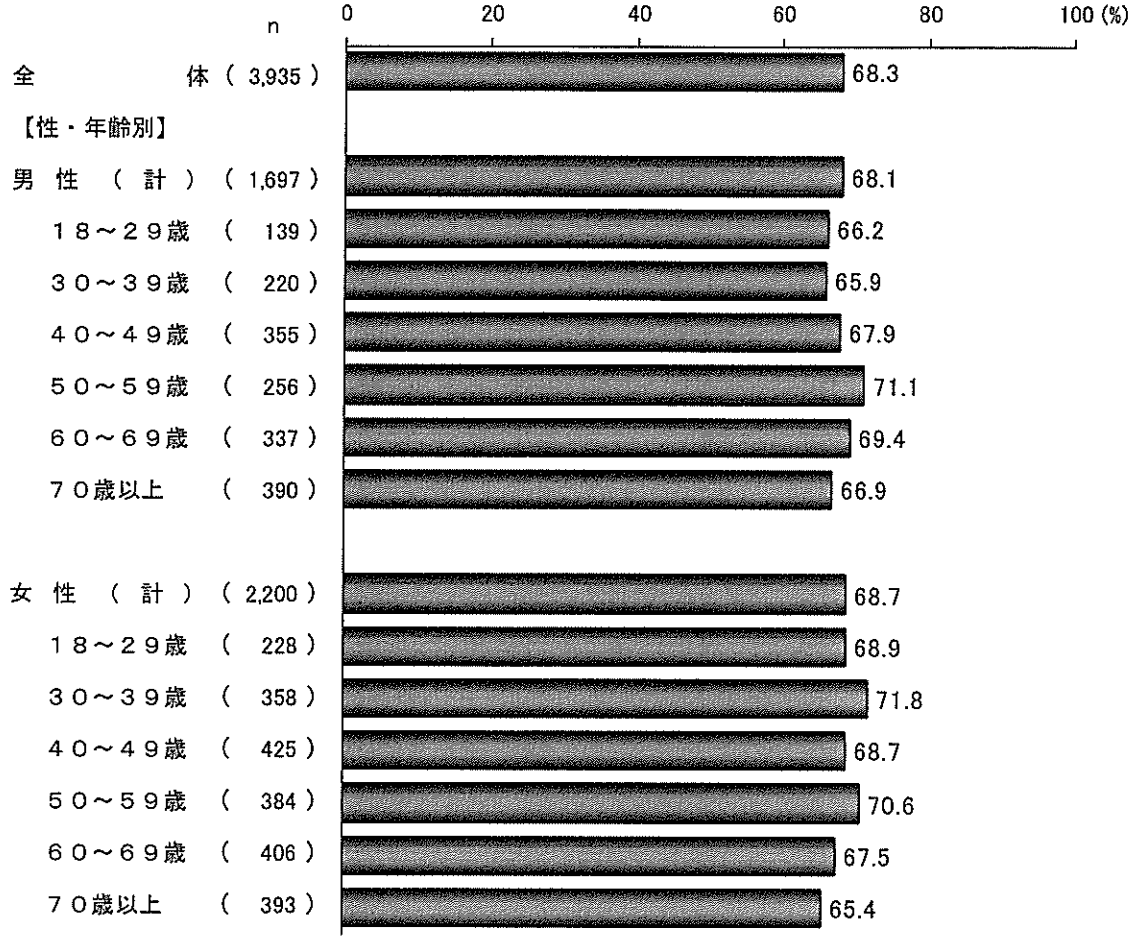


（５－１）環境に配慮され豊かな自然が感じられるまち［性・年齢別］

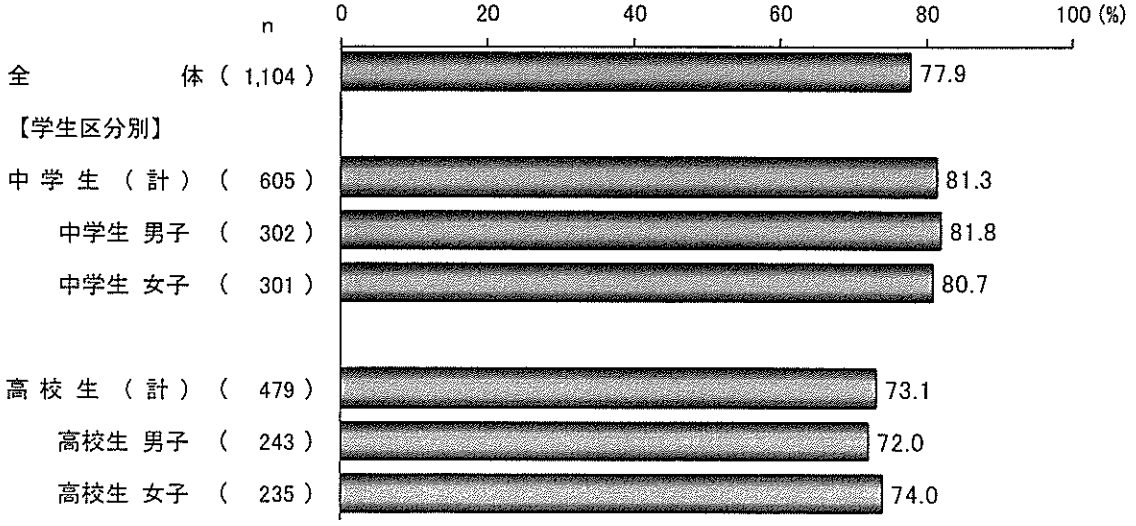
性・年齢別では大きな差はみられない

「環境に配慮され豊かな自然が感じられるまち」について、性・年齢別にみると、男性では 50 歳代（71.1%）、女性では 30 歳代（71.8%）・50 歳代（70.6%）で７割を超え他の年代に比べやや高いものの、全体的に大きな差はみられない。

図１－11　環境に配慮され豊かな自然が感じられるまち［性・年齢別］（複数回答）



(参考)青少年調査の結果

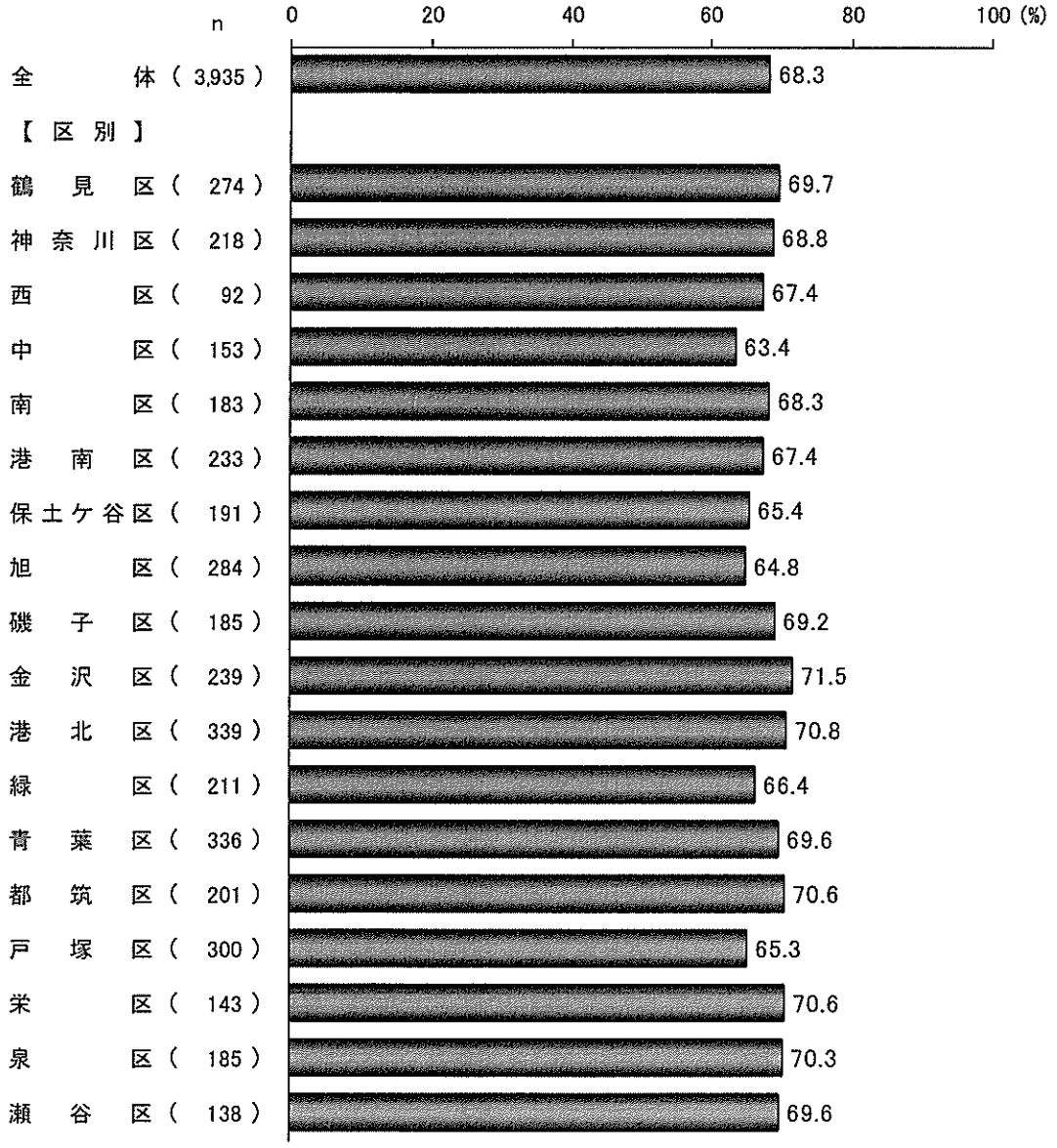


（５－２）環境に配慮され豊かな自然が感じられるまち[区別]

金沢区が最も高い

「環境に配慮され豊かな自然が感じられるまち」について、区別にみると、金沢区（71.5%）が最も高く、次いで港北区（70.8%）、都筑区、栄区（ともに70.6%）となっている。

図１－12　環境に配慮され豊かな自然が感じられるまち［区別］（複数回答）

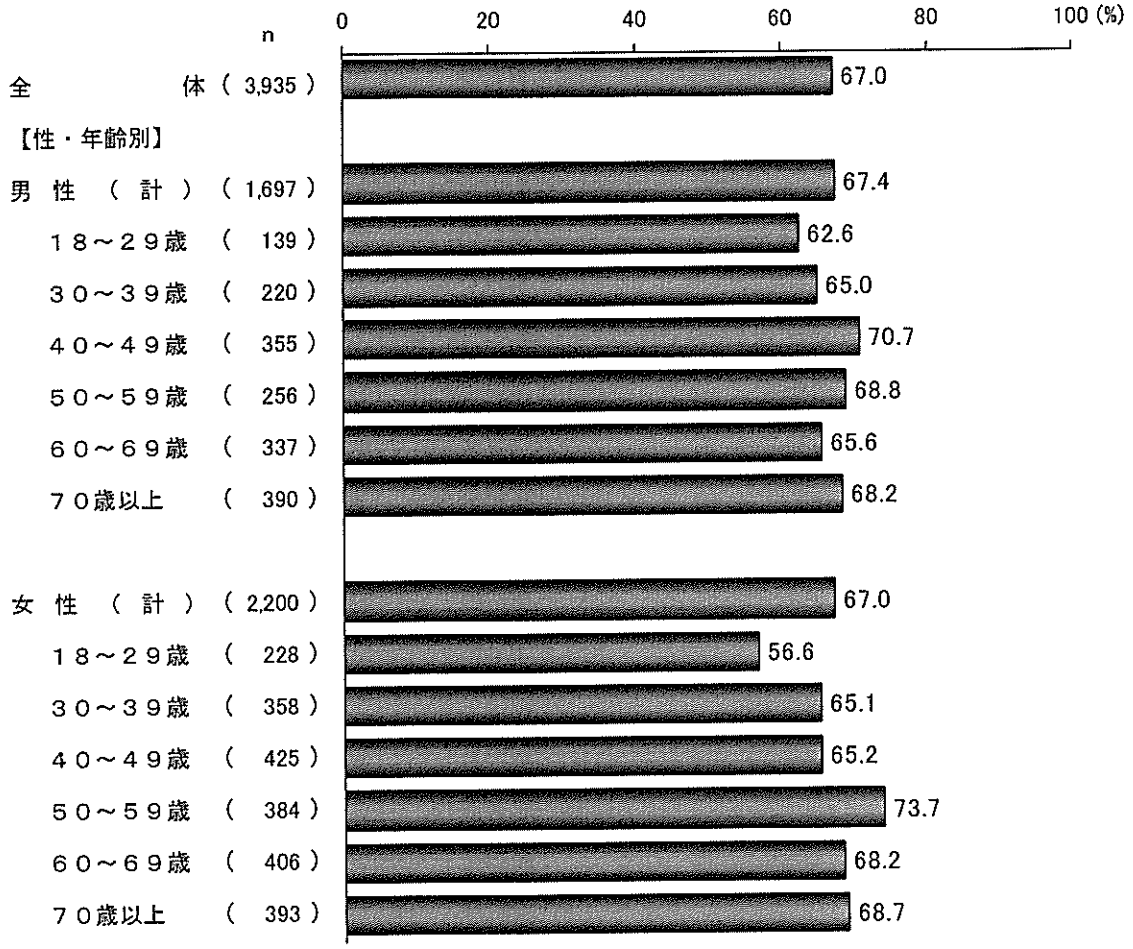


（６－１）企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち［性・年齢別］

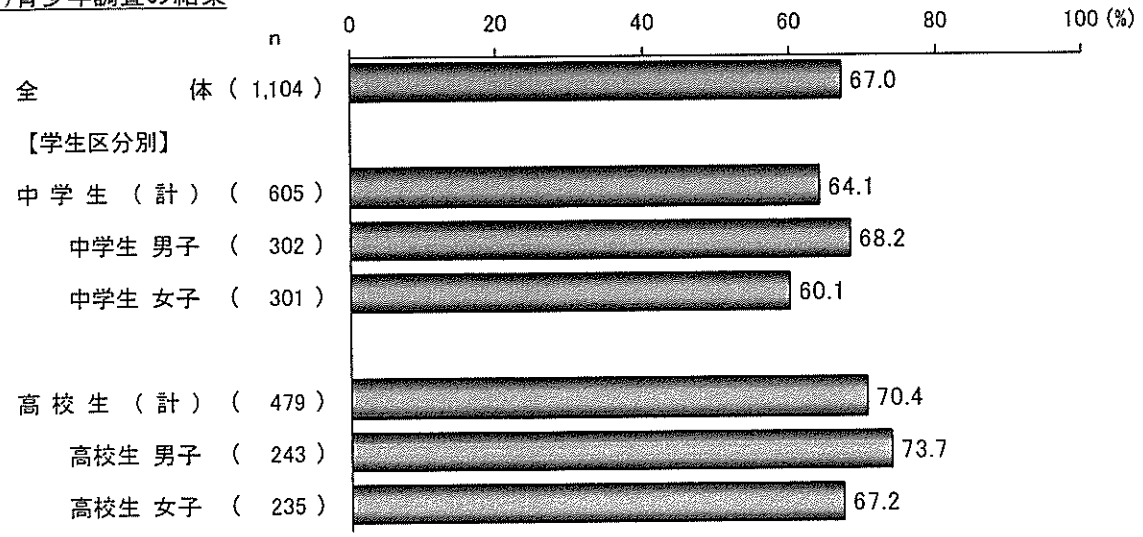
女性50歳代が最も高い

「企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち」について、性・年齢別にみると、女性50歳代（73.7%）が７割を超え男女全年代を通じて最も高く、次いで男性40歳代（70.7%）がほぼ７割となっている。なお、女性18～29歳（56.6%）のみ５割台とやや低くなっている。

図１－13　企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち［性・年齢別］（複数回答）



(参考)青少年調査の結果

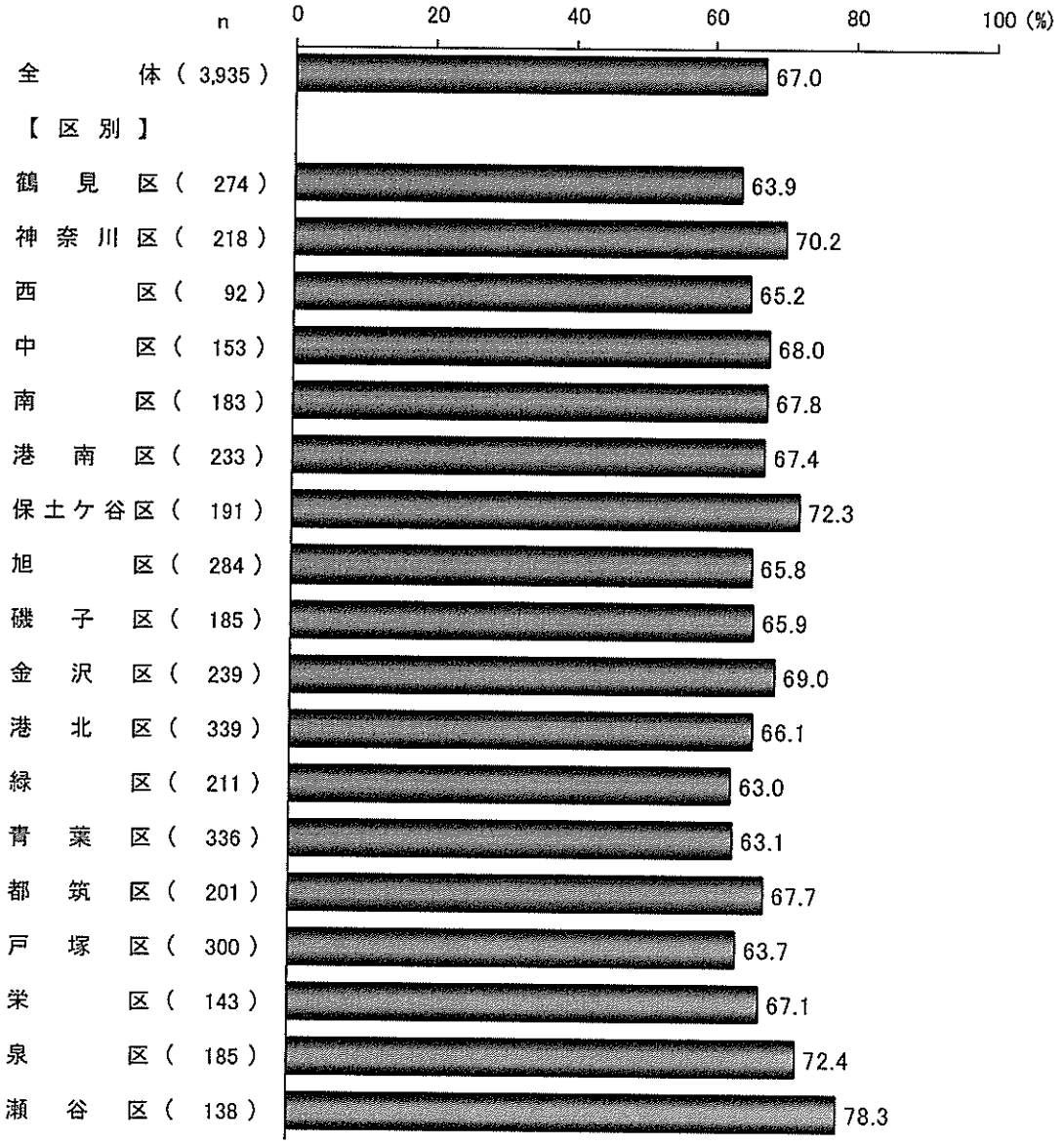


（6－2）企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち［区別］

瀬谷区が最も高い

「企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち」について、区別にみると、瀬谷区（78.3%）が最も高く、次いで泉区（72.4%）、保土ケ谷区（72.3%）となっている。

図１－14　企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち［区別］（複数回答）

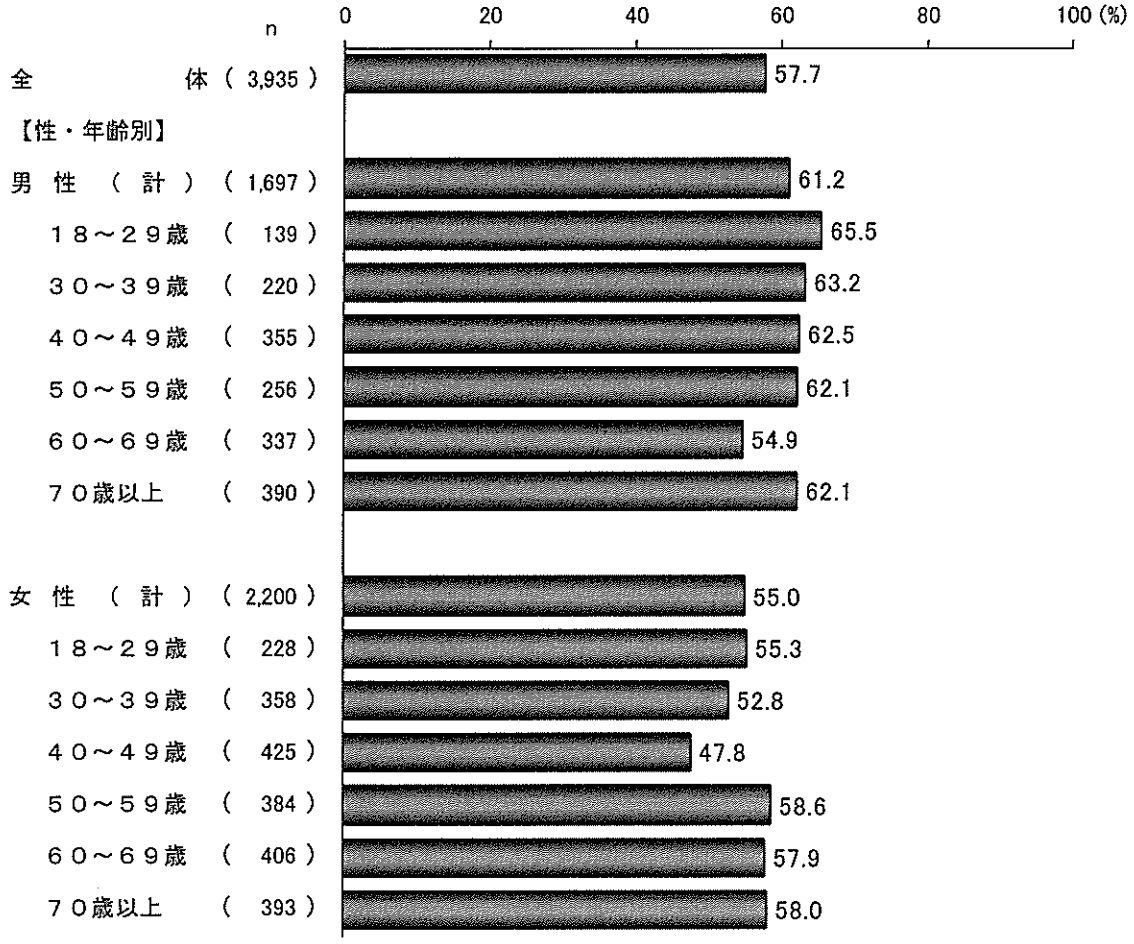


（７－１）都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち［性・年齢別］

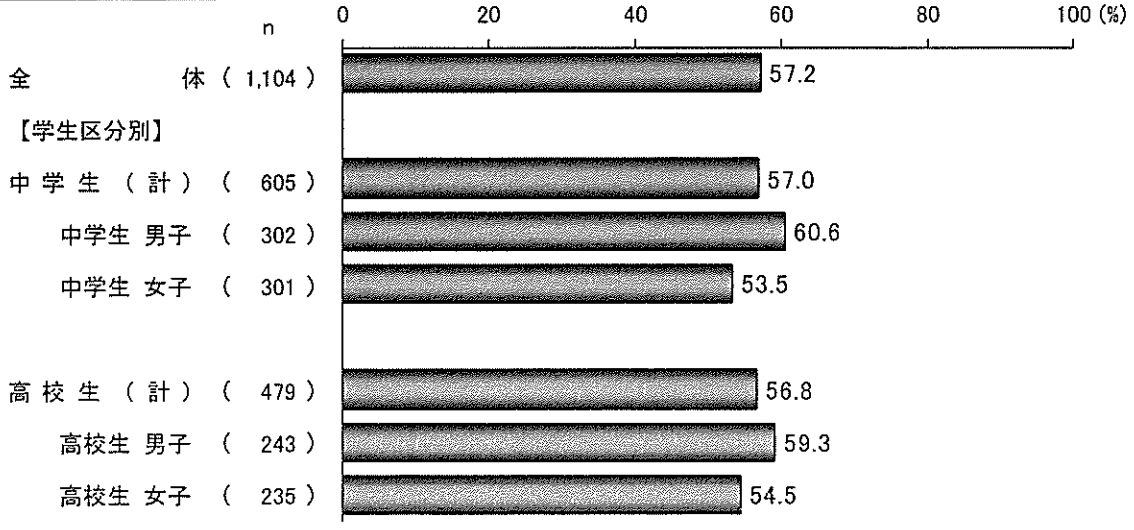
男性 18～29 歳が最も高い

「都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち」について、性・年齢別にみると、男性 18～29 歳（65.5%）が６割台半ばで男女全年代を通じ最も高くなっている。男性は 60 歳代（54.9%）を除く各年代で６割を超えている。女性では、40 歳代（47.8%）が４割台、その他の年代は５割台となっているが、50 歳代以上の年代は５割台後半でやや高くなっている。

図１－15　都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち［性・年齢別］（複数回答）



(参考)青少年調査の結果

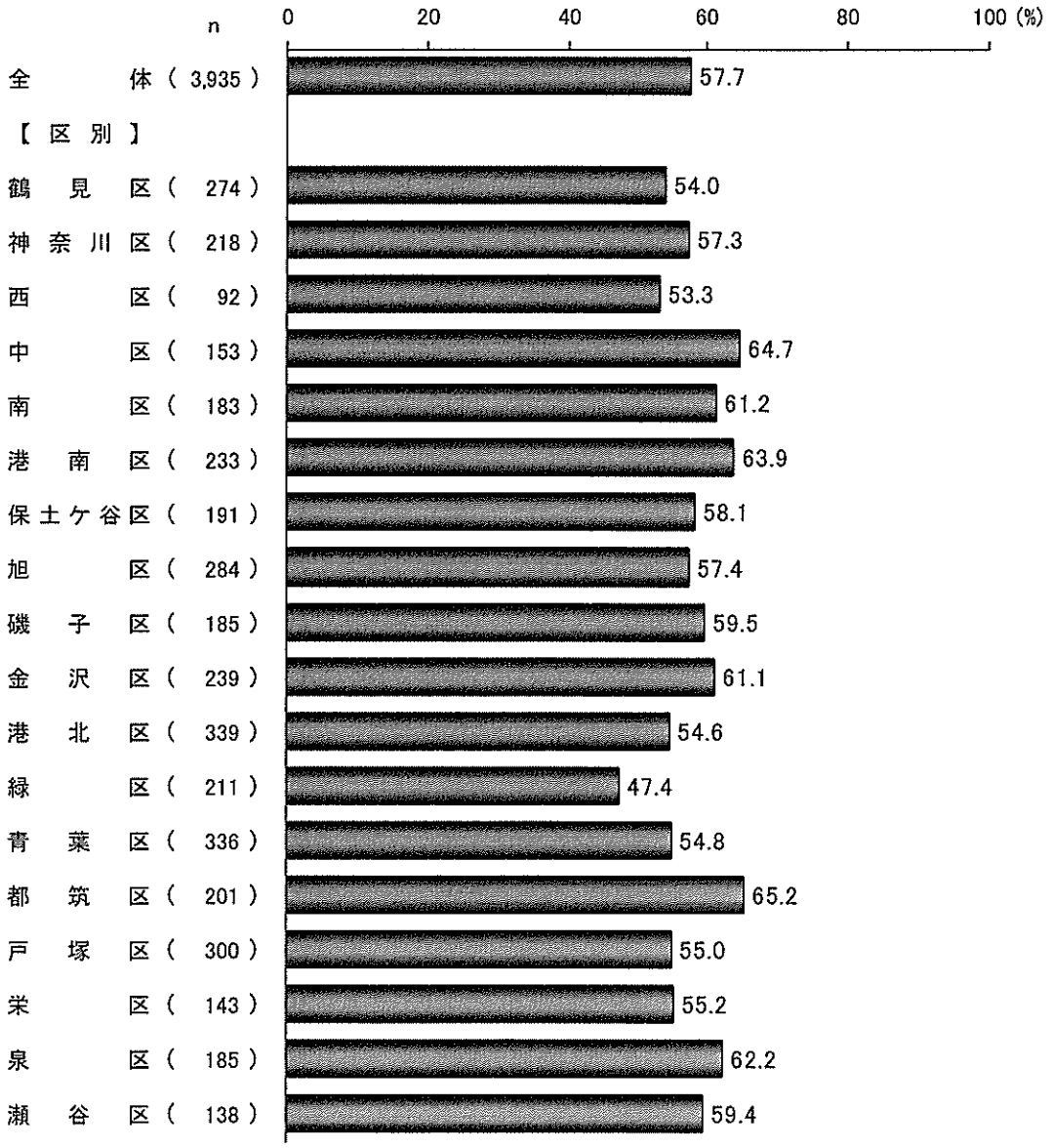


（７－２）都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち［区別］

都筑区が最も高い

「都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち」について、区別にみると、都筑区（65.2%）が最も高く、次いで中区（64.7%）、港南区（63.9%）となっている。

図１－16　都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち［区別］（複数回答）

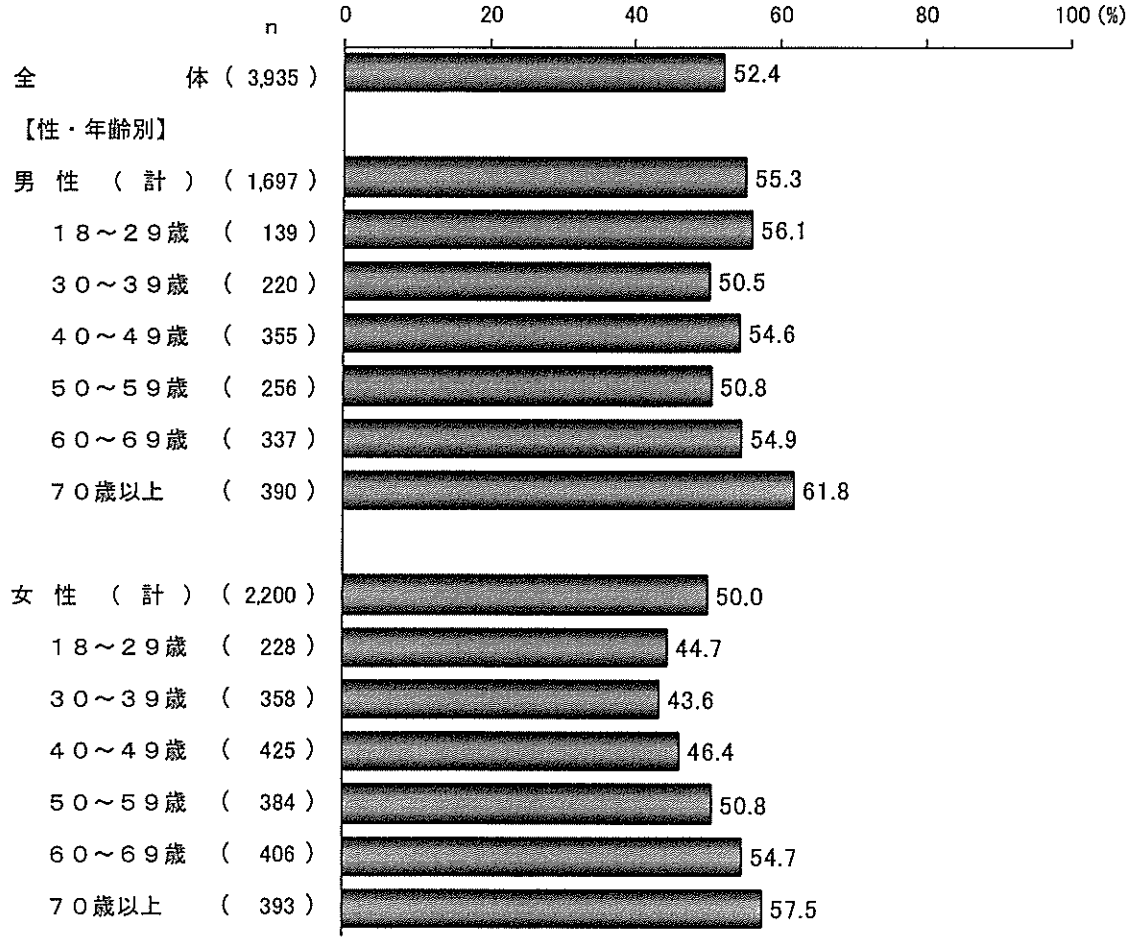


（８－１）国内外から魅力的と感じられるまち［性・年齢別］

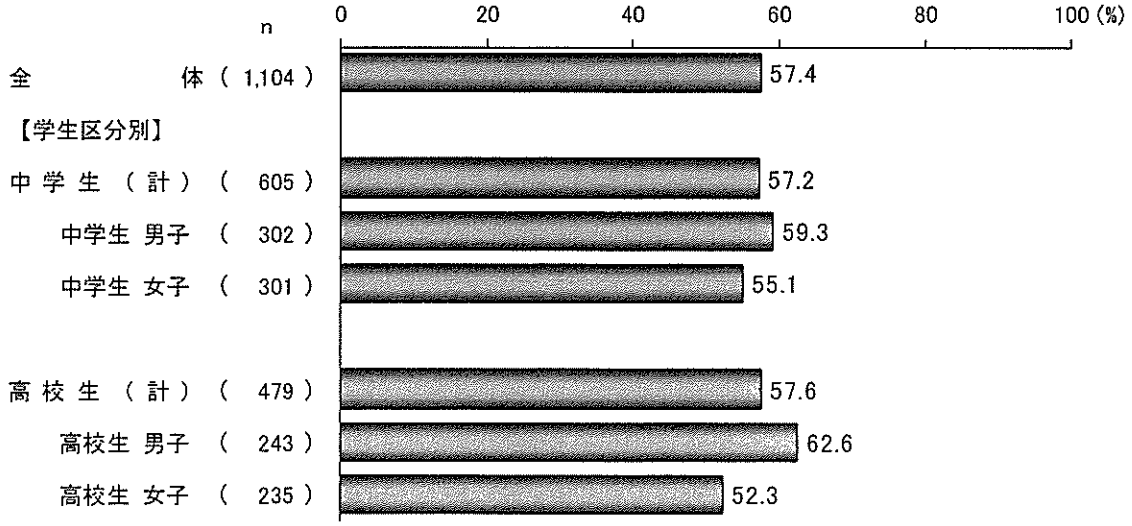
ほとんどの年代で、男性が女性より高い割合

「国内外から魅力的と感じられるまち」について、性・年齢別にみると、男性 70 歳以上（61.8%）が６割強で男女全年代を通じ最も高くなっている。各年代毎にみて、おおむね男性が女性より高い割合を示している（50 歳代のみ同じ割合）。

図１－17　国内外から魅力的と感じられるまち［性・年齢別］（複数回答）



(参考)青少年調査の結果



（８－２）国内外から魅力的と感じられるまち［区別］

西区が唯一６割を超え最も高い

「国内外から魅力的と感じられるまち」について、区別にみると、西区（63.0%）が最も高く、次いで神奈川区（59.2%）、港南区（57.5%）となっている。

図１－18　国内外から魅力的と感じられるまち［区別］（複数回答）

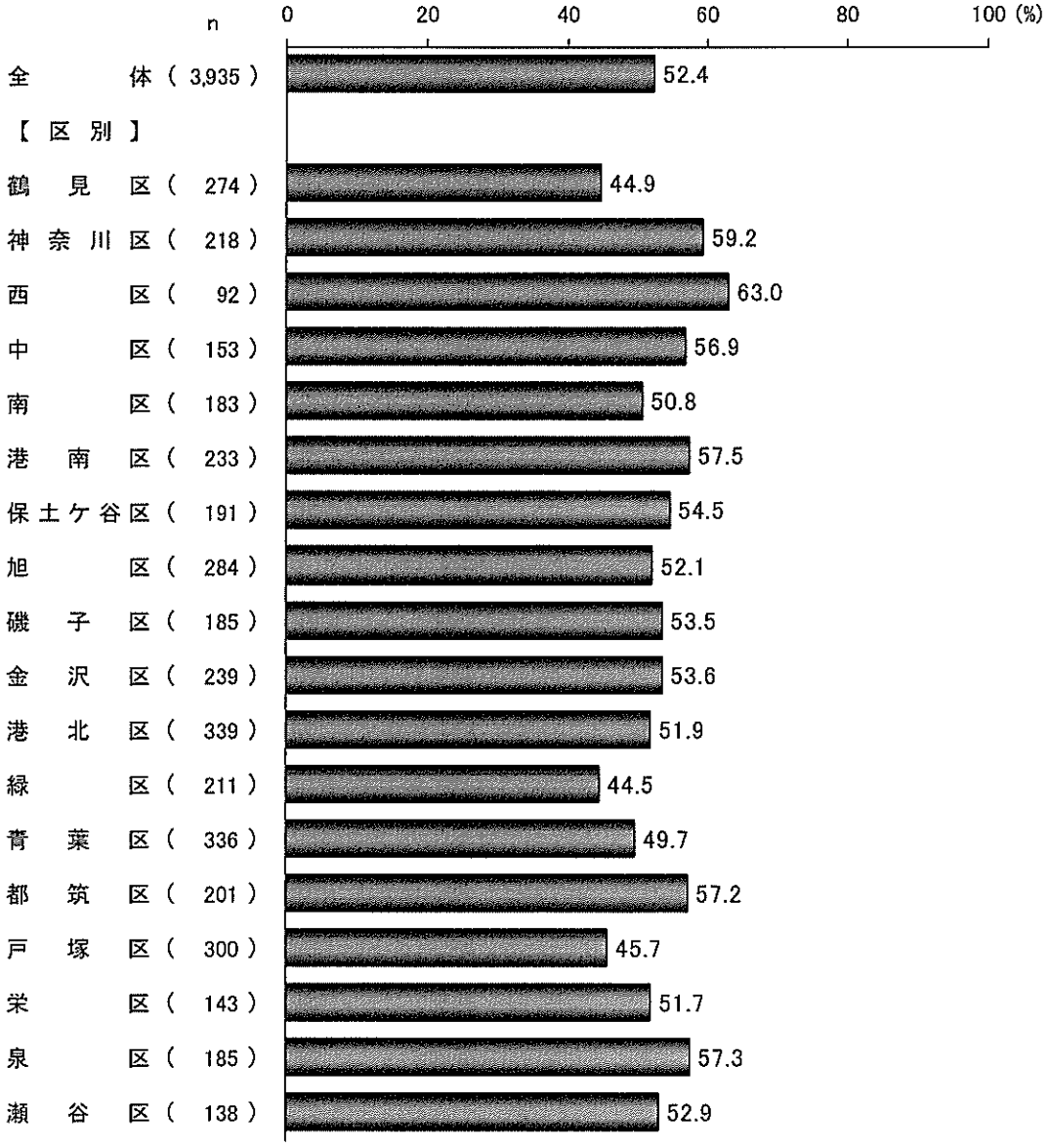


表１－１　未来のまちの姿［性・年齢別、順位］（複数回答）

(%)

属性＼順位	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位
全　体 (n=3,935)	災害に強い安全で安心なまち 84.3	女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち 78.1	魅力や活力あふれる、住みたい、住み続けたいと思えるまち 69.4	誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち 69.2	環境に配慮され豊かな自然が感じられるまち 68.3	企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち 67.0	都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち 57.7	国内外から魅力的と感じられるまち 52.4
男性計 (n=1,697)	災害に強い安全で安心なまち 81.4	女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち 75.3	魅力や活力あふれる、住みたい、住み続けたいと思えるまち 69.4	環境に配慮され豊かな自然が感じられるまち 68.1	企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち 67.4	誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち 67.3	都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち 61.2	国内外から魅力的と感じられるまち 55.3
18～29歳 (n=139)	災害に強い安全で安心なまち 77.7	女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち 74.8	環境に配慮され豊かな自然が感じられるまち 66.2	都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち 65.5	魅力や活力あふれる、住みたい、住み続けたいと思えるまち 64.0	企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち 62.6	国内外から魅力的と感じられるまち 56.1	誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち 46.0
30～39歳 (n=220)	災害に強い安全で安心なまち 77.7	女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち 74.1	魅力や活力あふれる、住みたい、住み続けたいと思えるまち 69.5	環境に配慮され豊かな自然が感じられるまち 65.9	企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち 65.0	都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち 63.2	誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち 52.3	国内外から魅力的と感じられるまち 50.5
40～49歳 (n=355)	災害に強い安全で安心なまち 86.5	女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち 77.2	魅力や活力あふれる、住みたい、住み続けたいと思えるまち／企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち 70.7		誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち 69.3	環境に配慮され豊かな自然が感じられるまち 67.9	都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち 62.5	国内外から魅力的と感じられるまち 54.6
50～59歳 (n=256)	災害に強い安全で安心なまち 83.2	女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち 75.0	魅力や活力あふれる、住みたい、住み続けたいと思えるまち 74.6	誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち 71.5	環境に配慮され豊かな自然が感じられるまち 71.1	企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち 68.8	都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち 62.1	国内外から魅力的と感じられるまち 50.8
60～69歳 (n=337)	災害に強い安全で安心なまち 81.3	女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち 76.9	誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち 70.6	環境に配慮され豊かな自然が感じられるまち 69.4	企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち 65.6	魅力や活力あふれる、住みたい、住み続けたいと思えるまち 65.0	都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち／国内外から魅力的と感じられるまち 54.9	
70歳以上 (n=390)	災害に強い安全で安心なまち 79.2	誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち 75.9	女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち 73.1	魅力や活力あふれる、住みたい、住み続けたいと思えるまち 70.3	企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち 68.2	環境に配慮され豊かな自然が感じられるまち 66.9	都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち 62.1	国内外から魅力的と感じられるまち 61.8
女性計 (n=2,200)	災害に強い安全で安心なまち 86.8	女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち 80.5	誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち 70.6	魅力や活力あふれる、住みたい、住み続けたいと思えるまち 69.5	環境に配慮され豊かな自然が感じられるまち 68.7	企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち 67.0	都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち 55.0	国内外から魅力的と感じられるまち 50.0
18～29歳 (n=228)	災害に強い安全で安心なまち 87.7	女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち 86.4	環境に配慮され豊かな自然が感じられるまち 68.9	魅力や活力あふれる、住みたい、住み続けたいと思えるまち 66.2	企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち 56.6	誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち 56.1	都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち 55.3	国内外から魅力的と感じられるまち 44.7
30～39歳 (n=358)	災害に強い安全で安心なまち 89.4	女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち 88.5	環境に配慮され豊かな自然が感じられるまち 71.8	魅力や活力あふれる、住みたい、住み続けたいと思えるまち 70.1	誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち／企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち 65.1		都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち 52.8	国内外から魅力的と感じられるまち 43.6
40～49歳 (n=425)	災害に強い安全で安心なまち 88.2	女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち 81.2	誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち 68.9	環境に配慮され豊かな自然が感じられるまち 68.7	魅力や活力あふれる、住みたい、住み続けたいと思えるまち 67.5	企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち 65.2	都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち 47.8	国内外から魅力的と感じられるまち 46.4
50～59歳 (n=384)	災害に強い安全で安心なまち 90.9	女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち 81.3	誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち 74.0	企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち 73.7	魅力や活力あふれる、住みたい、住み続けたいと思えるまち 71.1	環境に配慮され豊かな自然が感じられるまち 70.6	都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち 58.6	国内外から魅力的と感じられるまち 50.8
60～69歳 (n=406)	災害に強い安全で安心なまち 83.7	女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち 78.1	誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち 77.1	魅力や活力あふれる、住みたい、住み続けたいと思えるまち 69.5	企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち 68.2	環境に配慮され豊かな自然が感じられるまち 67.5	都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち 57.9	国内外から魅力的と感じられるまち 54.7
70歳以上 (n=393)	災害に強い安全で安心なまち 81.4	誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち 76.1	女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち／魅力や活力あふれる、住みたい、住み続けたいと思えるまち 71.2		企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち 68.7	環境に配慮され豊かな自然が感じられるまち 65.4	都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち 58.0	国内外から魅力的と感じられるまち 57.5

2．具体的に「そうなってほしい」と思うもの

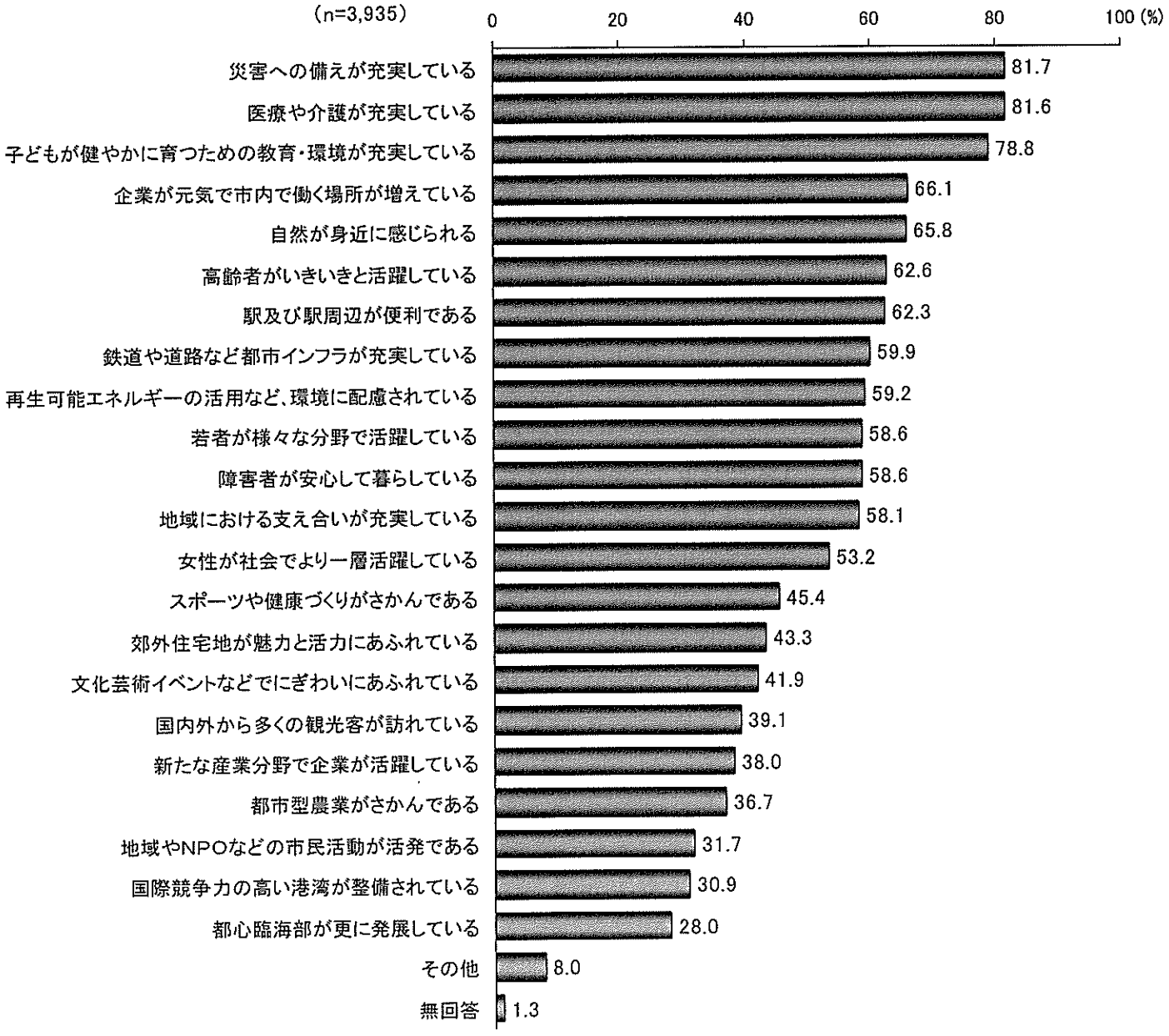
問２　前ページの未来のまちの姿について、もう少し詳しくお伺いします。以下のそれぞれの中から、具体的に「そうなってほしい」と思うものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

「災害への備えが充実」「医療や介護が充実」が８割超

具体的に「そうなってほしい」と思う未来のまちの姿について聞いたところ、「災害への備えが充実している」（81.7%）、「医療や介護が充実している」（81.6%）が８割を超え、「子どもが健やかに育つための教育・環境が充実している」（78.8%）が８割弱で続いている。この上位３項目がほぼ８割で特に高くなっている。

以下、「企業が元気で市内で働く場所が増えている」(66.1%)、「自然が身近に感じられる」(65.8%)、「高齢者がいきいきと活躍している」（62.6%）、「駅及び駅周辺が便利である」（62.3%）などの順となっている。

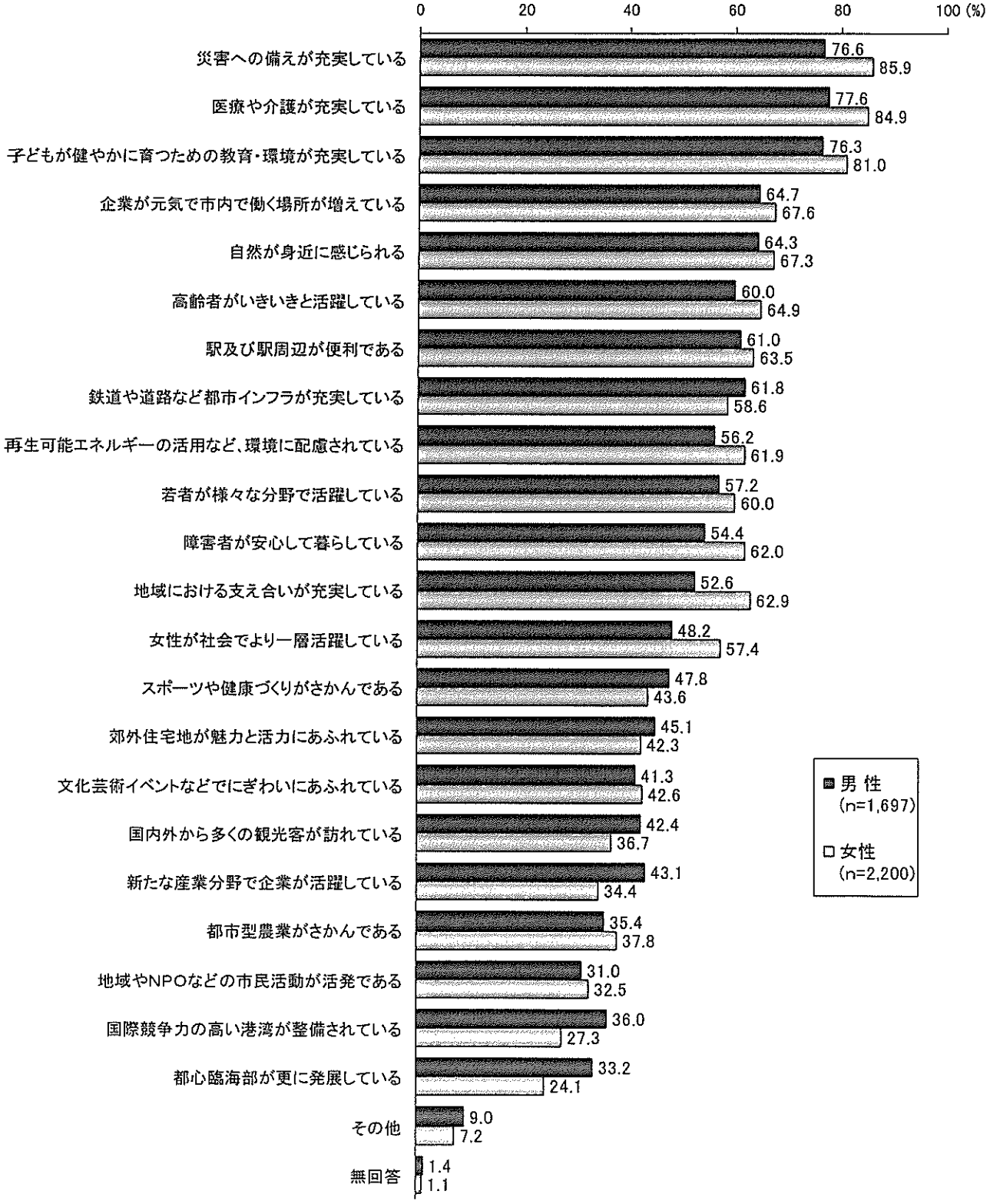
図２－１　具体的に「そうなってほしい」と思うもの［全体］（複数回答）



「災害への備えが充実」「医療や介護が充実」「子どもが健やかに育つための教育・環境が充実」は女性の方が高い

男女別にみると、「災害への備えが充実している」「医療や介護が充実している」「子どもが健やかに育つための教育・環境が充実している」など上位項目は女性の方が高くなっている。一方、「スポーツや健康づくりがさかんである」「国内外から多くの観光客が訪れている」「新たな産業分野で企業が活躍している」などでは、男性の方が高くなっている。

図２－２　具体的に「そうなってほしい」と思うもの［男女別］（複数回答）



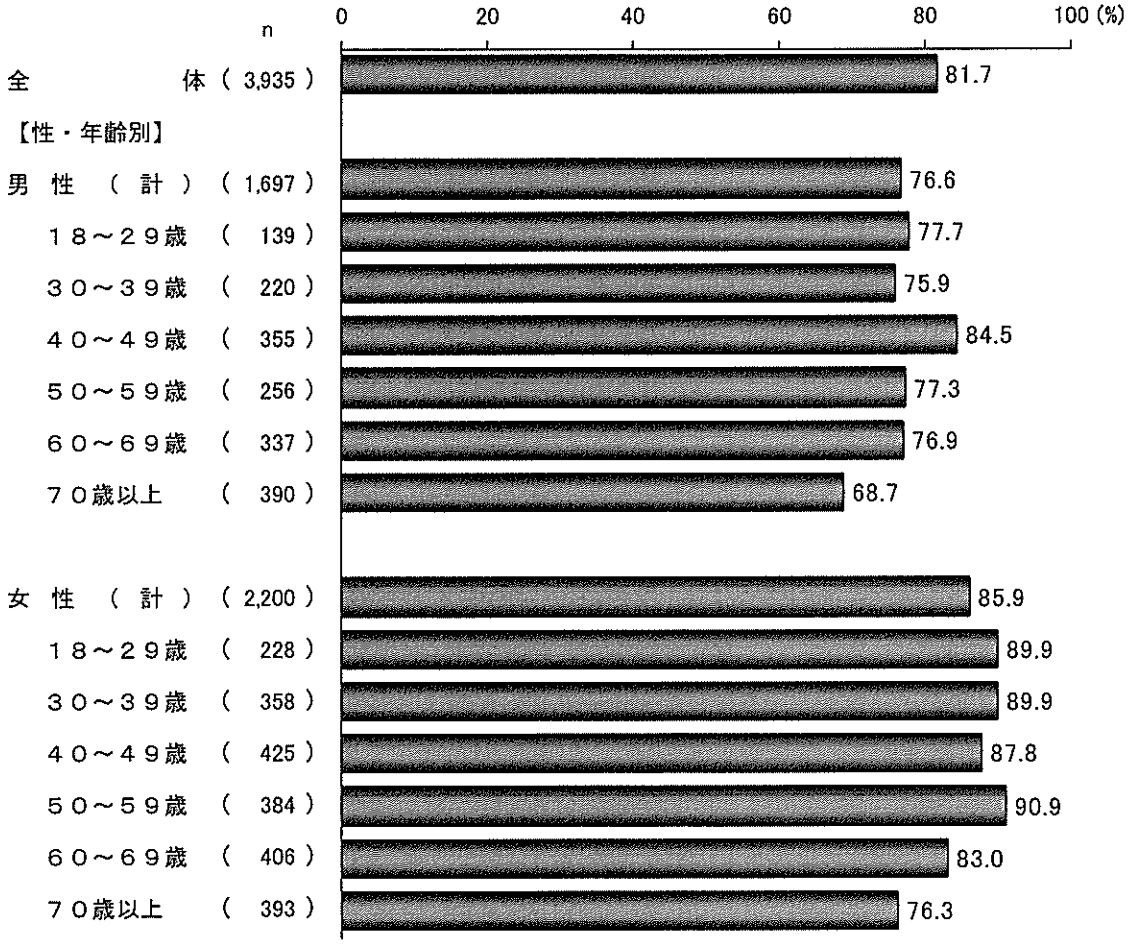
当設問の回答上位８項目について、次ページ以降に性・年齢別、区別の分析を掲載する。

（１－１）災害への備えが充実している［性・年齢別］

女性 50 歳代で９割超。また、女性 18～29 歳・30 歳代・40 歳代も高い。男性では 40 歳代が高い

「災害への備えが充実している」について、性・年齢別にみると、女性 50 歳代（90.9%）が９割を超え男女全年代を通じて最も高くなっている。また、女性では 18～29 歳（89.9%）・30 歳代（89.9%）・40 歳代（87.8%）も９割近くと高くなっている。男性では、40 歳代（84.5%）が最も高くなっている。

図２－３　災害への備えが充実している［性・年齢別］（複数回答）

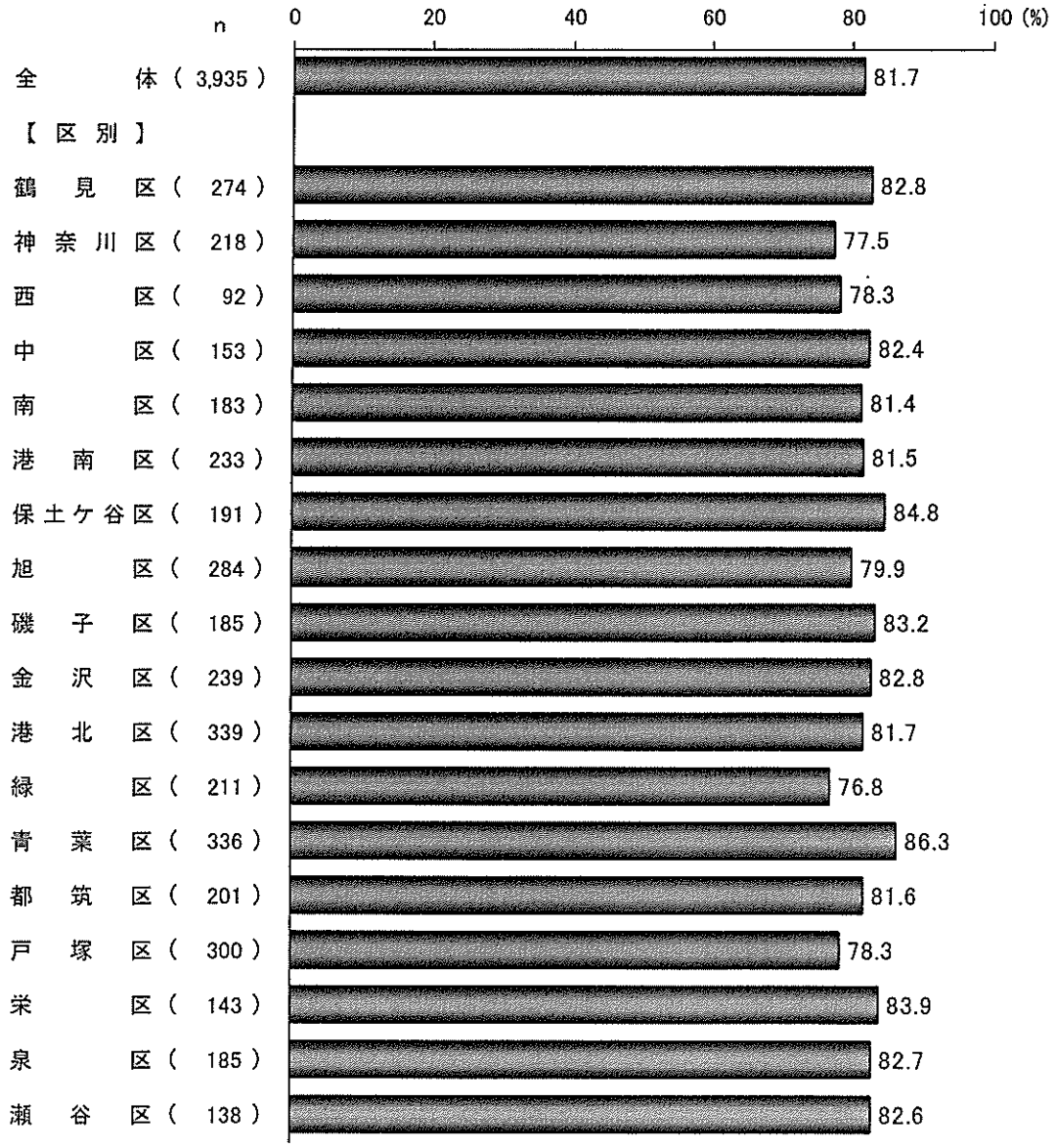


（１－２）災害への備えが充実している［区別］

青葉区が最も高い

「災害への備えが充実している」について、区別にみると、青葉区（86.3%）が最も高く、次いで保土ケ谷区（84.8%）、栄区（83.9%）となっている。

図２－４　災害への備えが充実している［区別］（複数回答）

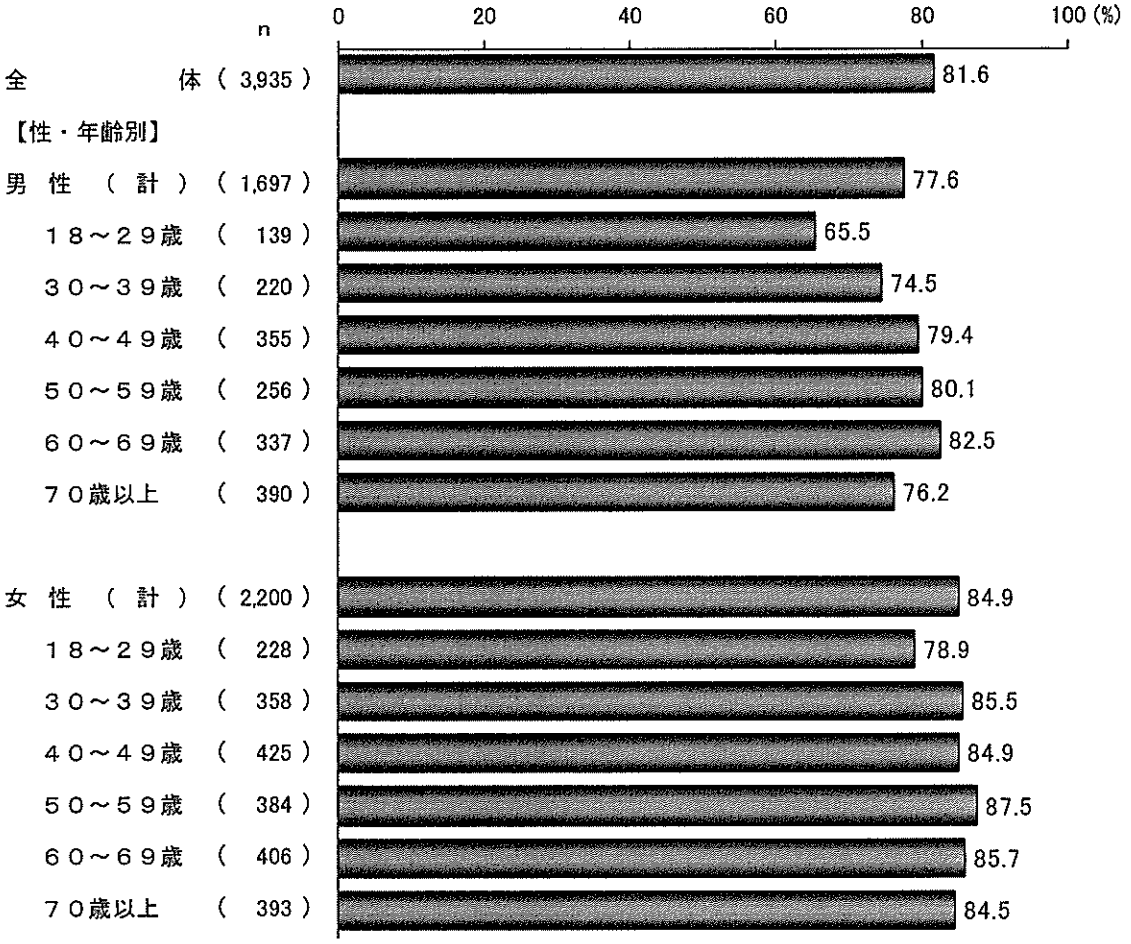


（２－１）医療や介護が充実している［性・年齢別］

女性 50 歳代が最も高い

「医療や介護が充実している」について、性・年齢別にみると、女性 50 歳代（87.5%）が男女全年代を通じ最も高く、次いで女性 60 歳代（85.7%）となっている。女性では 30 歳代以上の各年代で高い。男性では、60 歳代（82.5%）が最も高くなっている。

図２－５　医療や介護が充実している［性・年齢別］（複数回答）

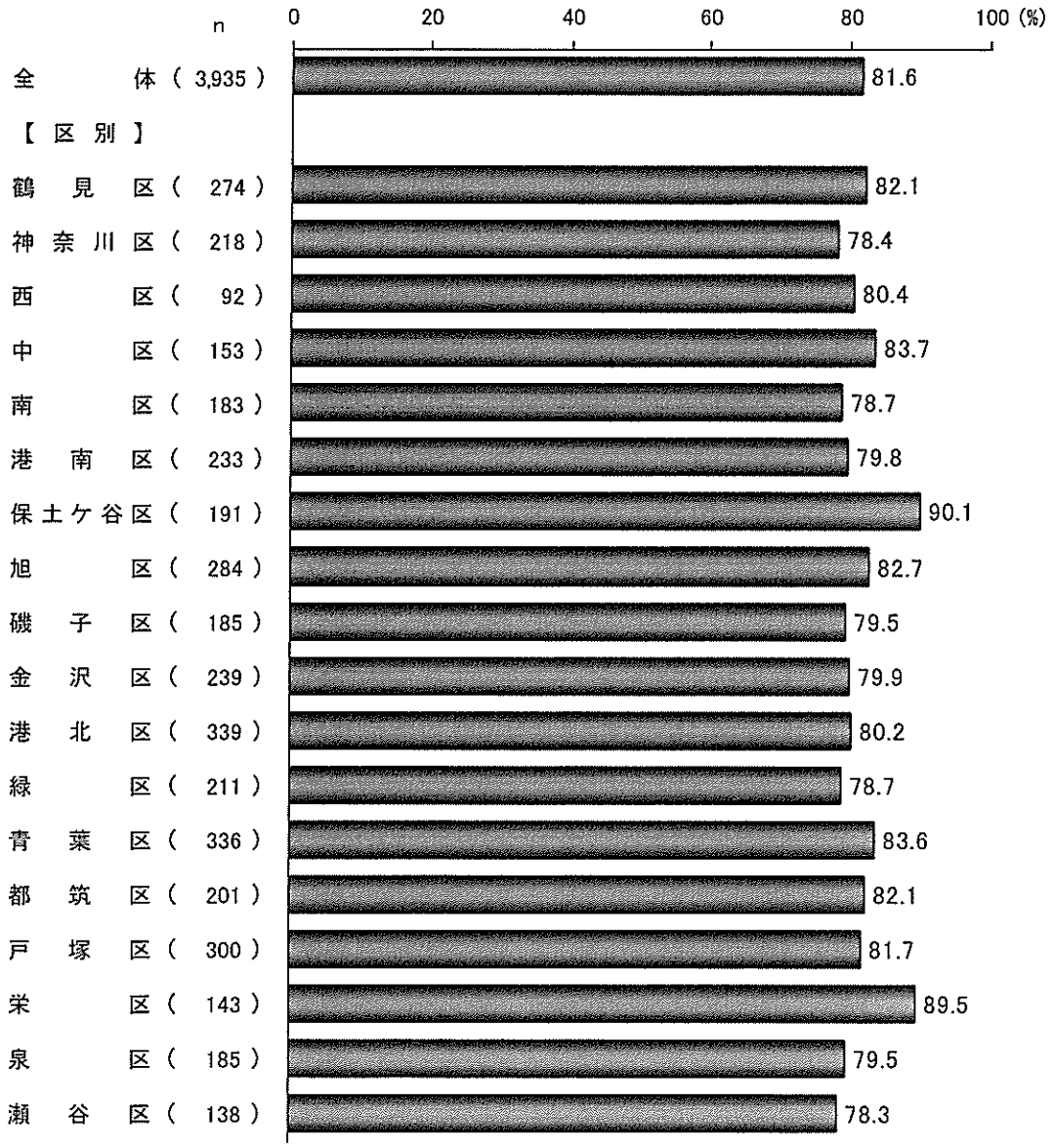


（２－２）医療や介護が充実している［区別］

保土ケ谷区が９割超で最も高い

「医療や介護が充実している」について、区別にみると、保土ケ谷区（90.1%）が最も高く、次いで栄区（89.5%）、中区（83.7%）となっている。

図２－６　医療や介護が充実している［区別］（複数回答）

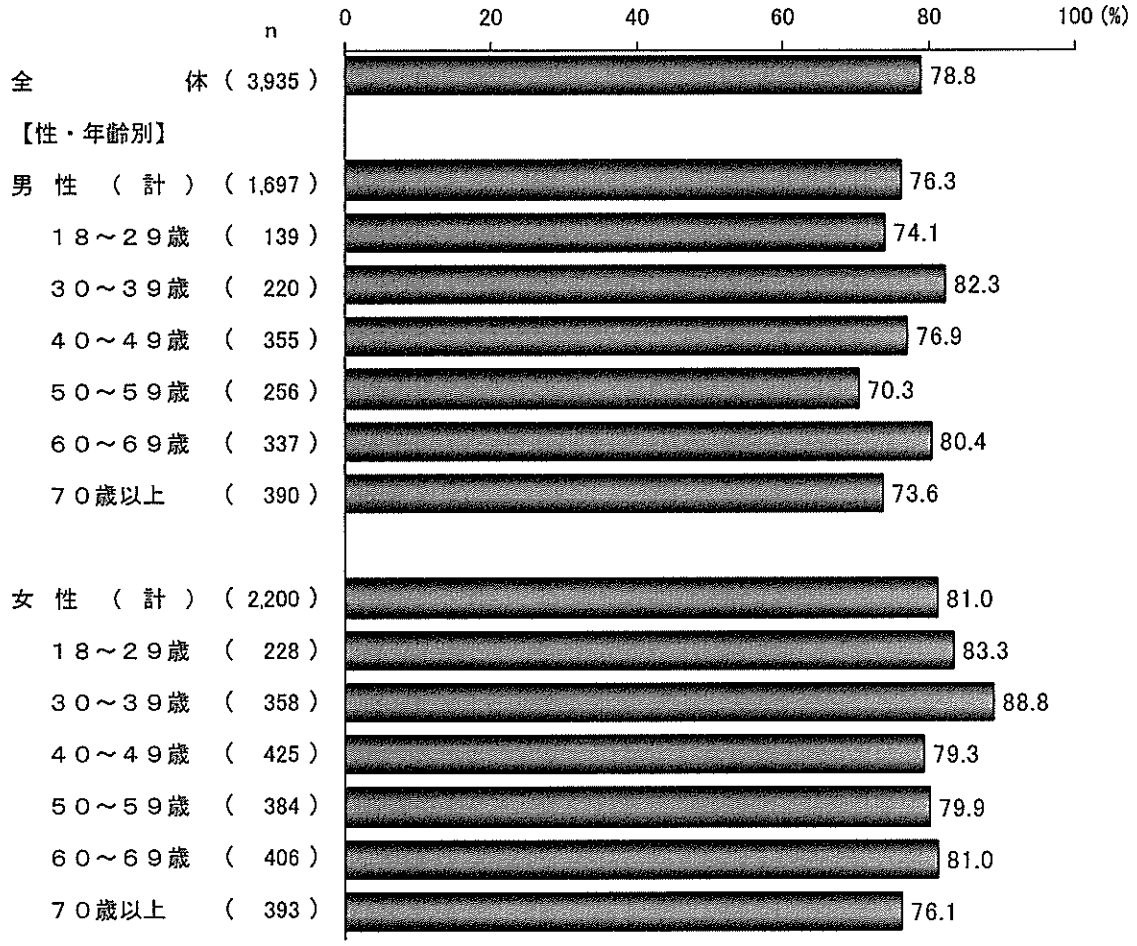


（３－１）子どもが健やかに育つための教育・環境が充実している［性・年齢別］

男女ともに30歳代が最も高い

「子どもが健やかに育つための教育・環境が充実している」について、性・年齢別にみると、女性30歳代（88.8%）が男女全年代を通じ最も高く、次いで女性18～29歳代（83.3%）となっている。男性では、30歳代（82.3%）が最も高くなっている。男女ともに30歳代が最も高くなっている。

図２－７　子どもが健やかに育つための教育・環境が充実している［性・年齢別］（複数回答）

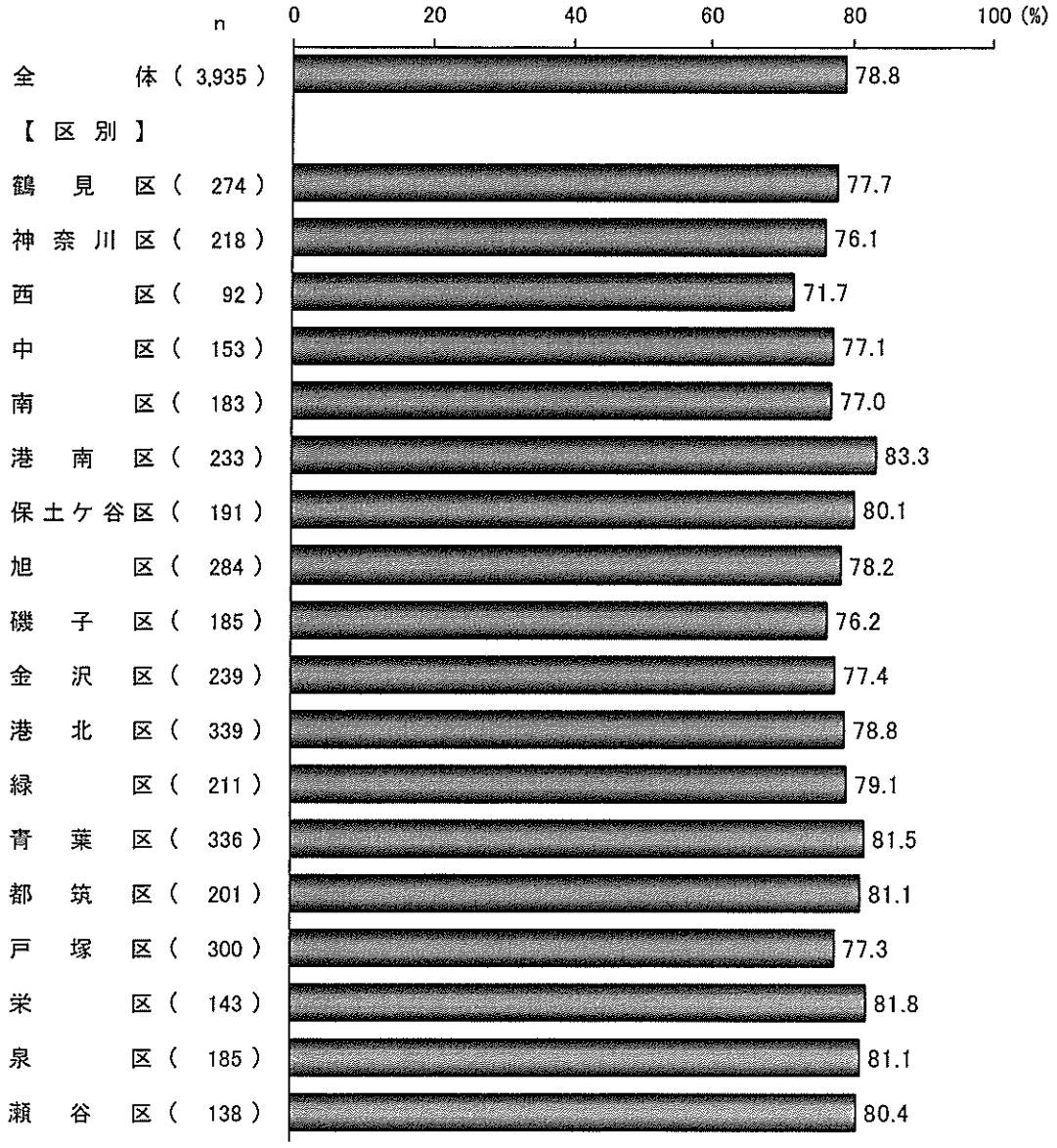


（３－２）子どもが健やかに育つための教育・環境が充実している［区別］

港南区が最も高い

「子どもが健やかに育つための教育・環境が充実している」について、区別にみると、港南区（83.3%）が最も高く、次いで栄区（81.8%）、青葉区（81.5%）となっている。

図２－８　子どもが健やかに育つための教育・環境が充実している［区別］（複数回答）

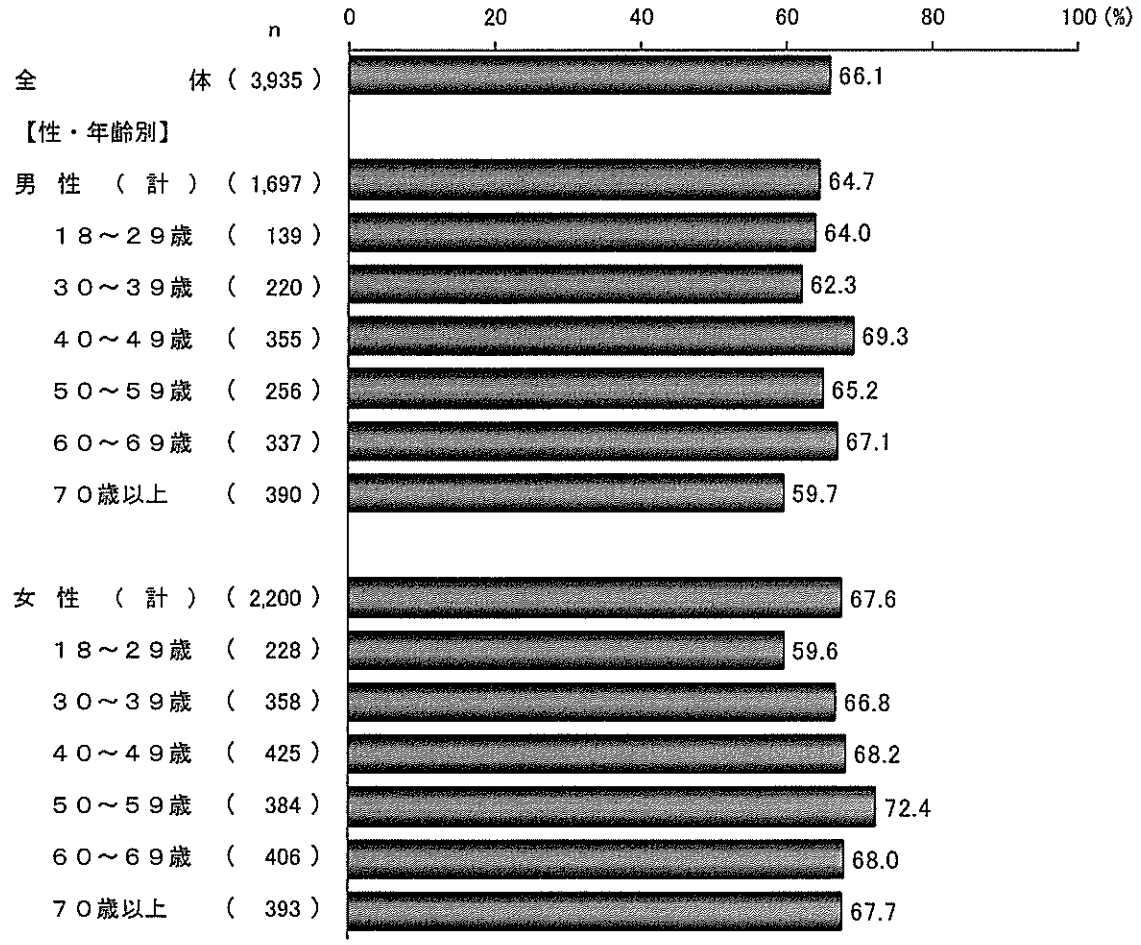


（４－１）企業が元気で市内で働く場所が増えている［性・年齢別］

女性 50 歳代が最も高い

「企業が元気で市内で働く場所が増えている」について、性・年齢別にみると、女性 50 歳代（72.4%）が７割を超え男女全年代を通じ最も高くなっている。男性では、40 歳代（69.3%）が７割近くで最も高くなっている。

図２－９　企業が元気で市内で働く場所が増えている［性・年齢別］（複数回答）

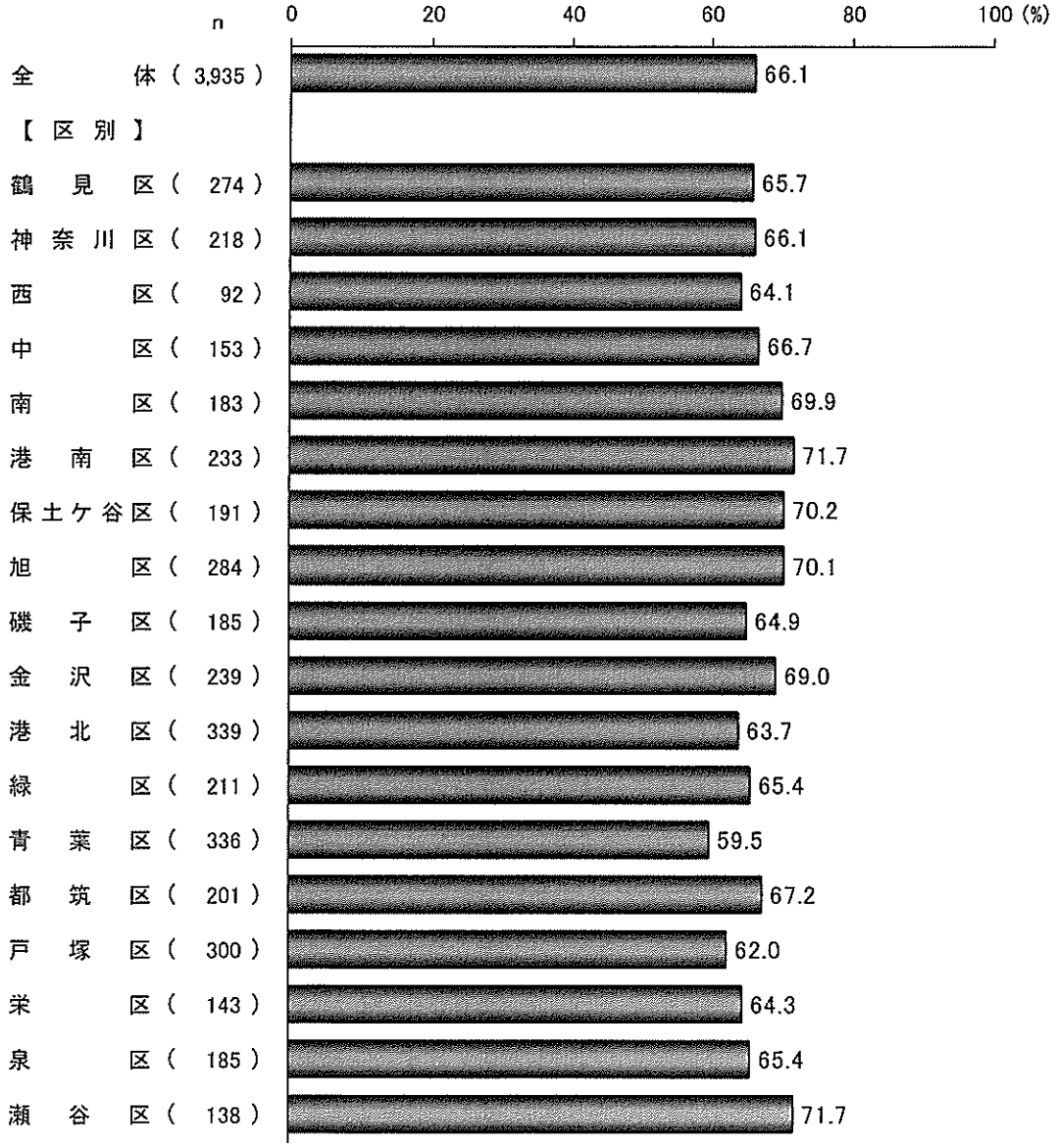


（４－２）企業が元気で市内で働く場所が増えている［区別］

港南区、瀬谷区が高い

「企業が元気で市内で働く場所が増えている」について、区別にみると、港南区、瀬谷区（ともに71.7%）が高く、次いで保土ケ谷区（70.2%）となっている。

図２－10　企業が元気で市内で働く場所が増えている［区別］（複数回答）

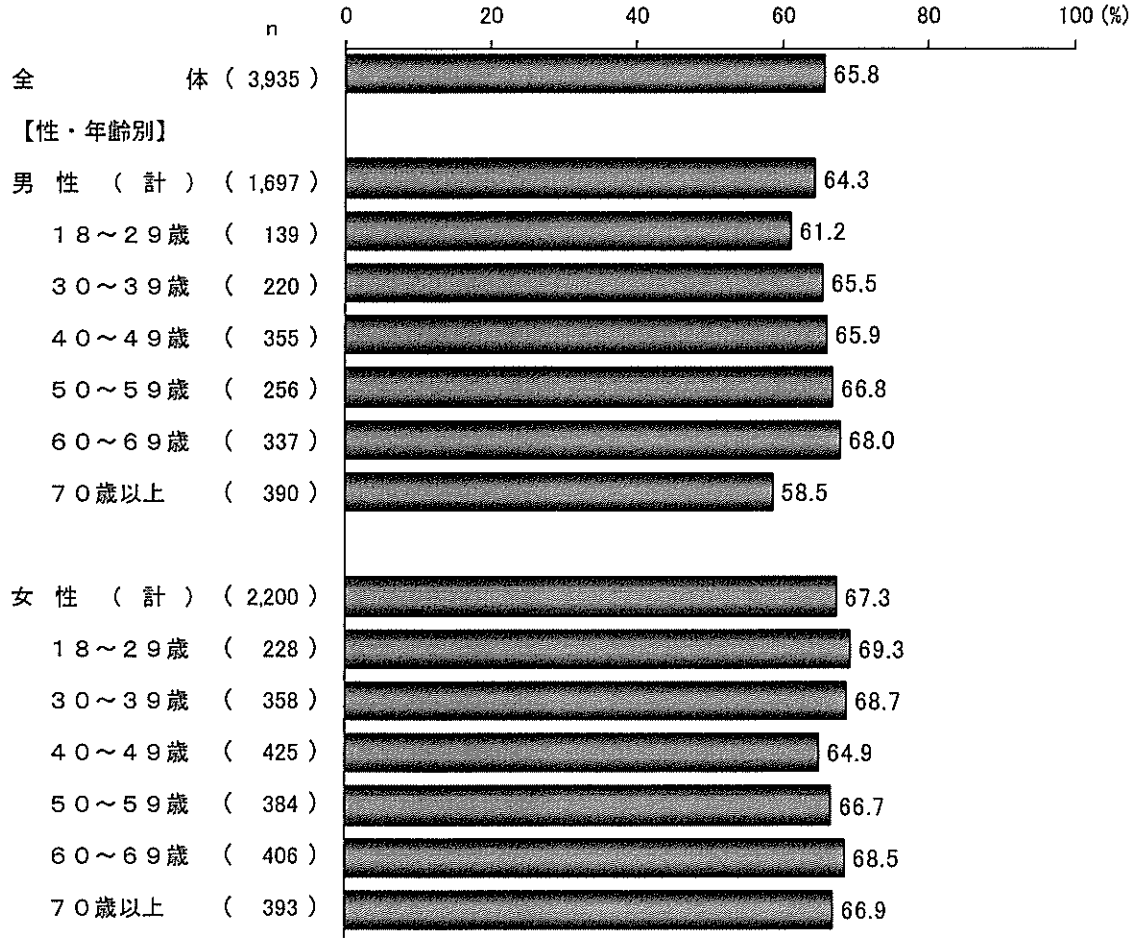


（５－１）自然が身近に感じられる［性・年齢別］

女性 18～29 歳が最も高い

「自然が身近に感じられる」について、性・年齢別にみると、女性 18～29 歳（69.3%）が男女全年代を通じ最も高く、次いで女性 30 歳代（68.7%）となっている。男性では、60 歳代（68.0%）が最も高くなっている。

図２－11　自然が身近に感じられる［性・年齢別］（複数回答）

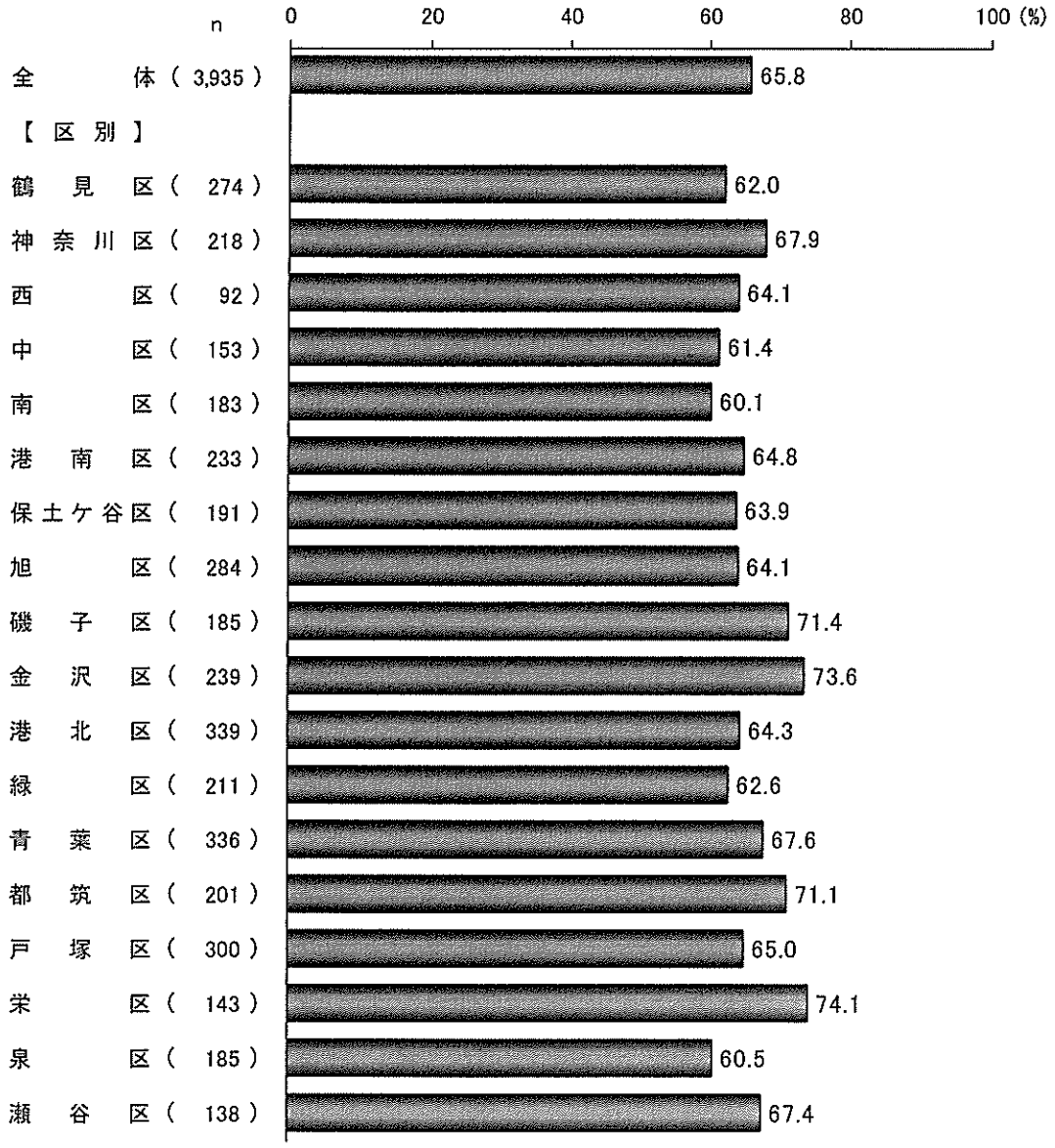


（５－２）自然が身近に感じられる［区別］

<u>栄区が最も高い</u>

「自然が身近に感じられる」について、区別にみると、栄区（74.1%）が最も高く、次いで金沢区（73.6%）、磯子区（71.4%）となっている。

図２－12　自然が身近に感じられる［区別］（複数回答）

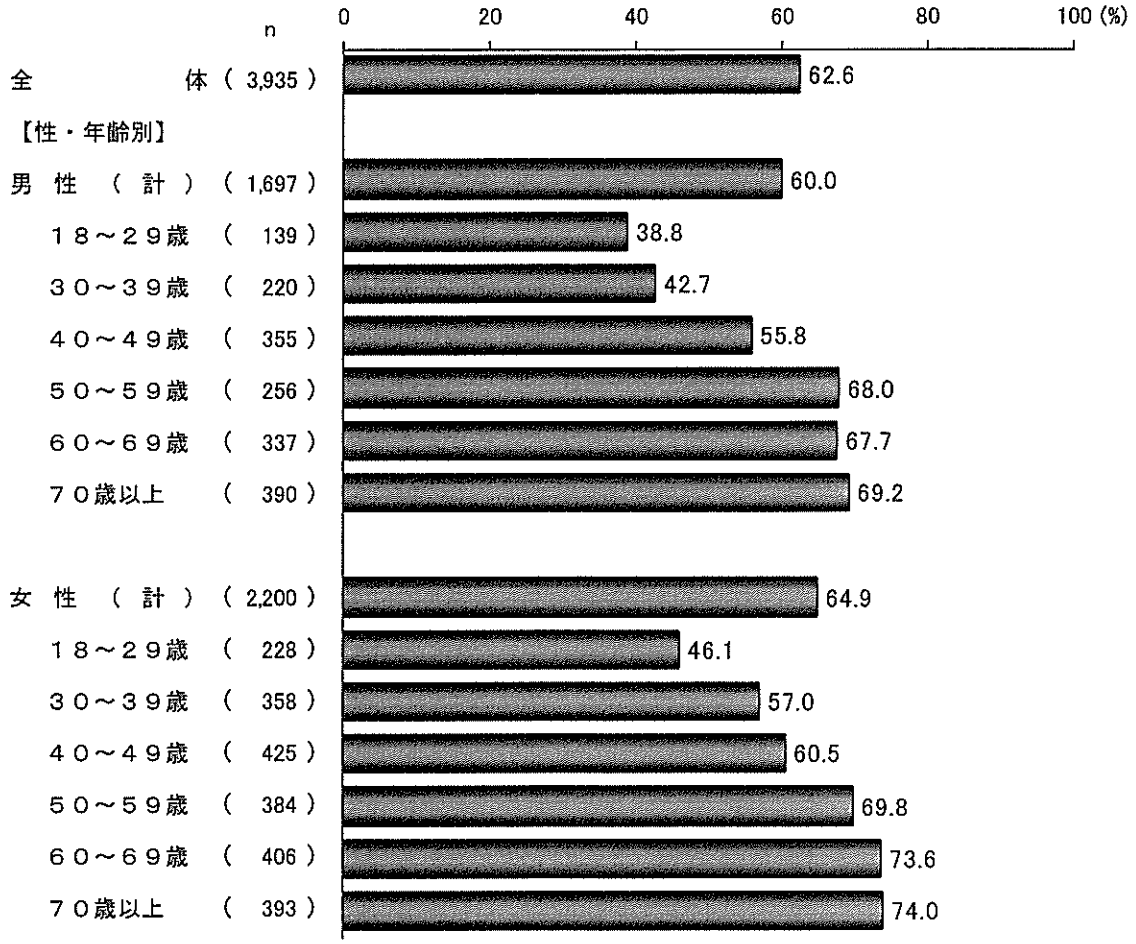


（６－１）高齢者がいきいきと活躍している［性・年齢別］

女性60歳代・70歳以上で７割超

「高齢者がいきいきと活躍している」について、性・年齢別にみると、男女ともにおおむね年代が上がるにつれ割合が高くなる傾向となっている。女性60歳代（73.6%）、女性70歳以上（74.0%）では７割を超えている。

図２－13　高齢者がいきいきと活躍している［性・年齢別］（複数回答）

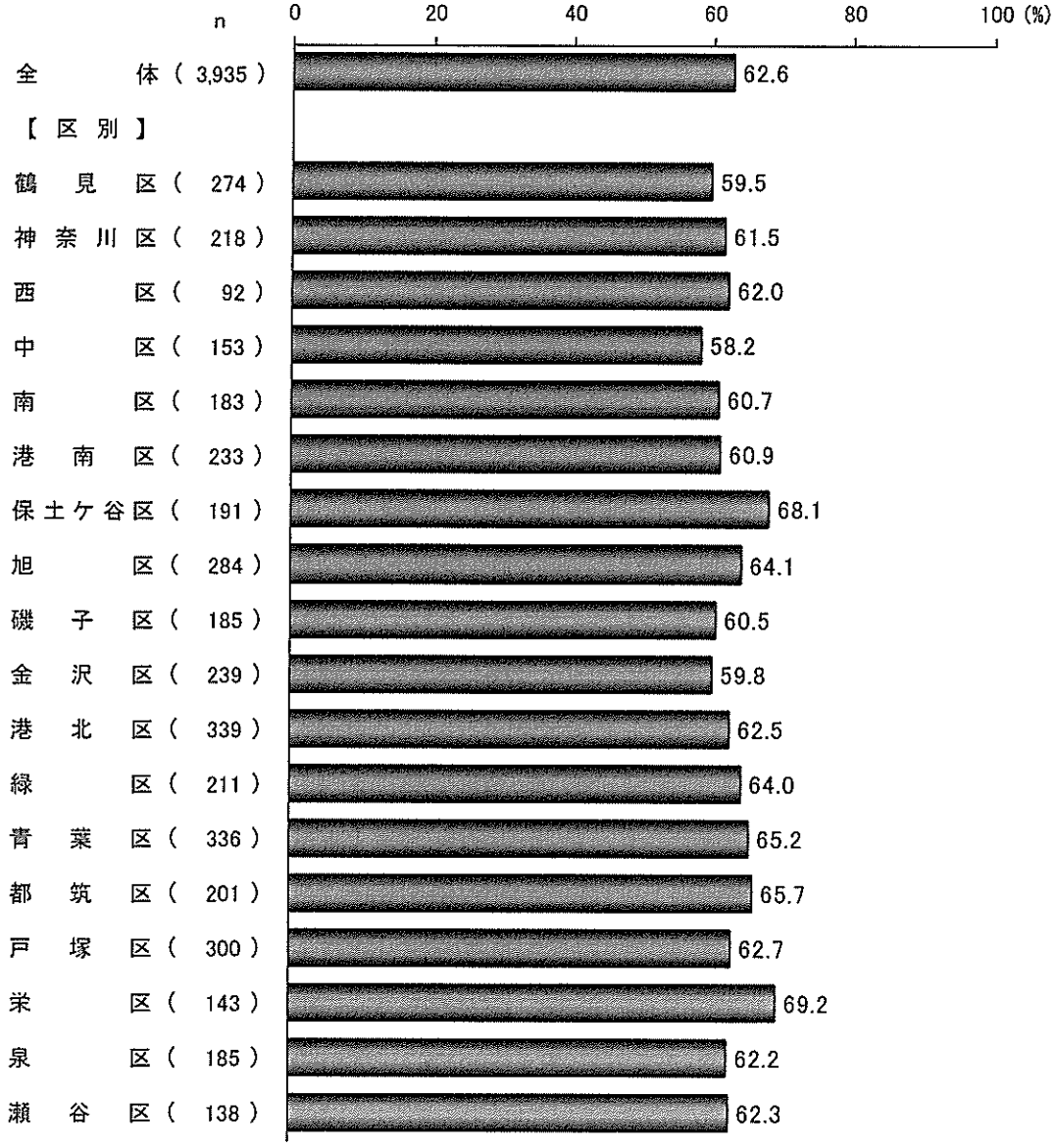


（６－２）高齢者がいきいきと活躍している［区別］

栄区、保土ケ谷区で７割近く

「高齢者がいきいきと活躍している」について、区別にみると、栄区（69.2%）が最も高く、次いで保土ケ谷区（68.1%）、都筑区（65.7%）となっている。

図２－14　高齢者がいきいきと活躍している［区別］（複数回答）

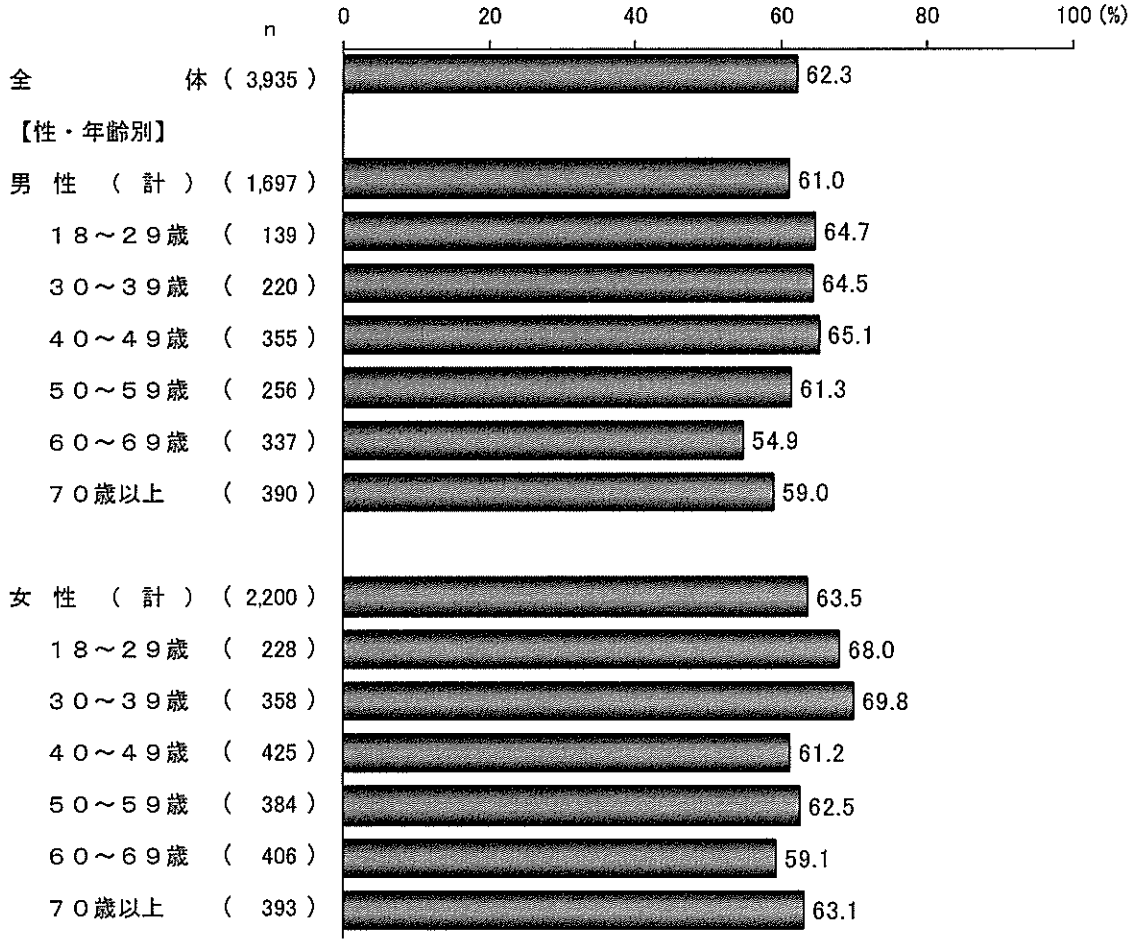


（７－１）駅及び駅周辺が便利である［性・年齢別］

女性30歳代がほぼ７割で最も高い

「駅及び駅周辺が便利である」について、性・年齢別にみると、女性30歳代（69.8%）がほぼ７割で男女全年代を通じ最も高く、次いで女性18～29歳（68.0%）となっている。男性では、18～29歳（64.7%）、30歳代（64.5%）、40歳代（65.1%）が高くなっている。

図２－15　駅及び駅周辺が便利である［性・年齢別］（複数回答）

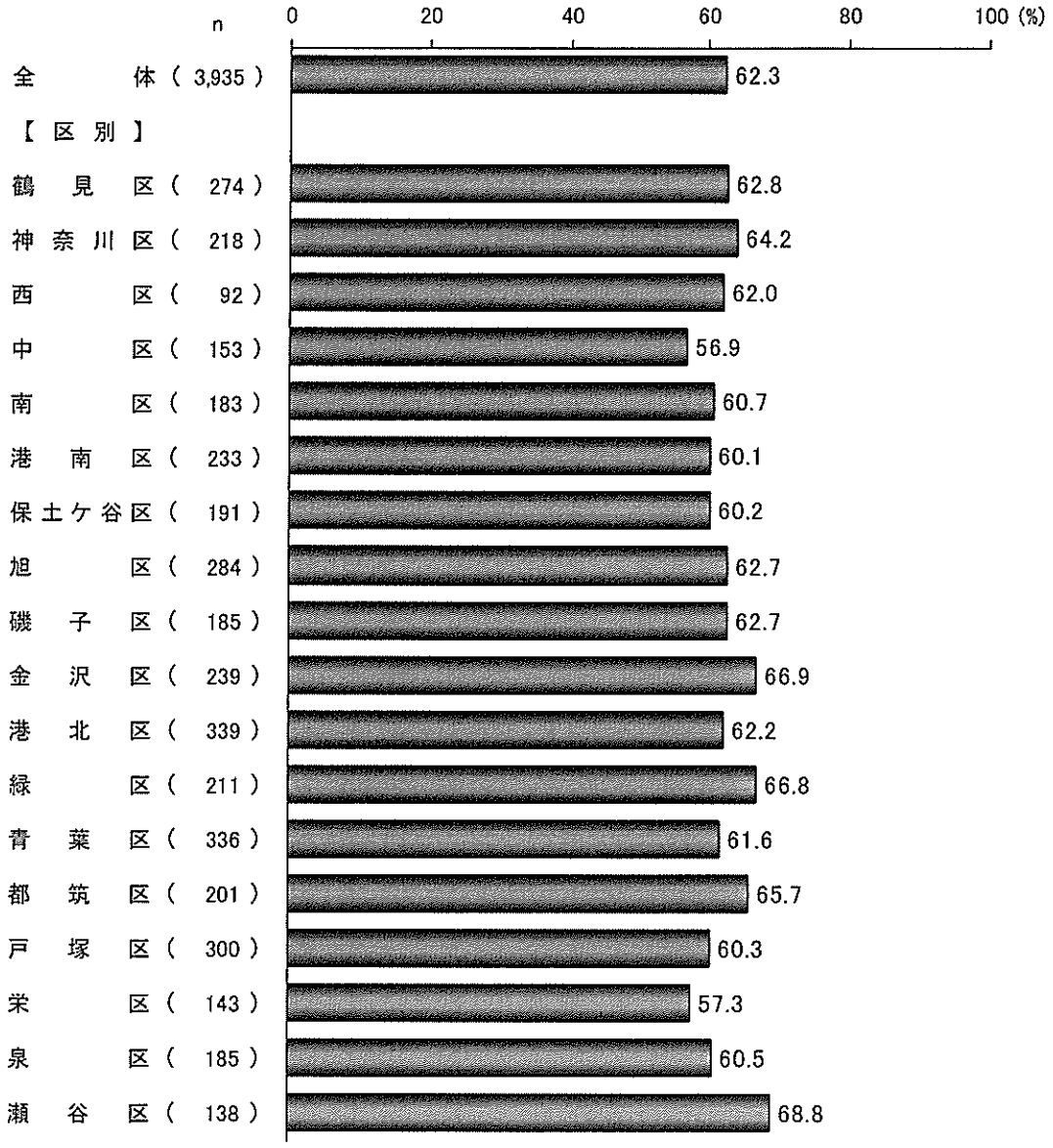


（７－２）駅及び駅周辺が便利である［区別］

瀬谷区が最も高い

「駅及び駅周辺が便利である」について、区別にみると、瀬谷区（68.8%）が最も高く、次いで金沢区（66.9%）、緑区（66.8%）となっている。

図２－16　駅及び駅周辺が便利である［区別］（複数回答）

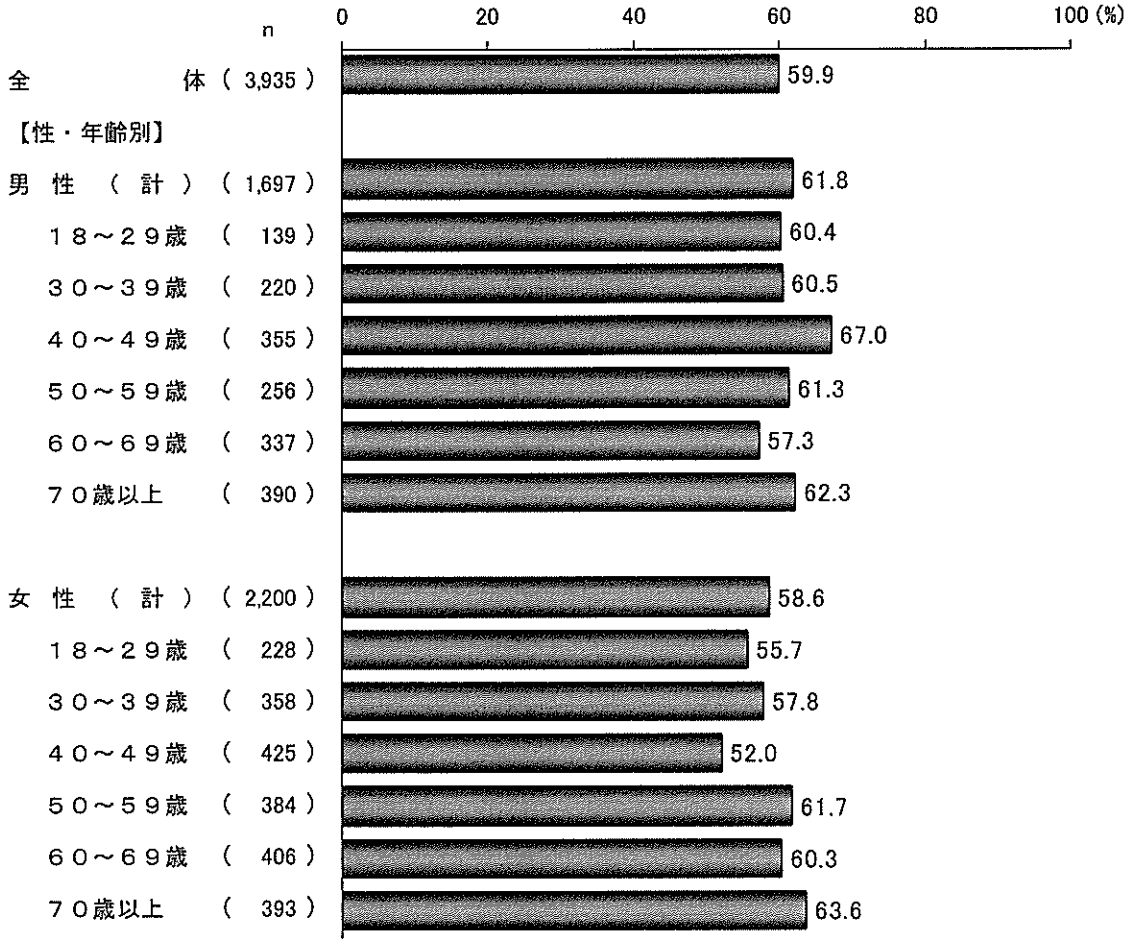


（８－１）鉄道や道路など都市インフラが充実している［性・年齢別］

男性 40 歳代が最も高い

「鉄道や道路など都市インフラが充実している」について、性・年齢別にみると、男性 40 歳代（67.0%）が６割台後半で男女全年代を通じ最も高くなっている。女性では、70 歳以上（63.6%）が最も高くなっている。

図２－17　鉄道や道路など都市インフラが充実している［性・年齢別］（複数回答）

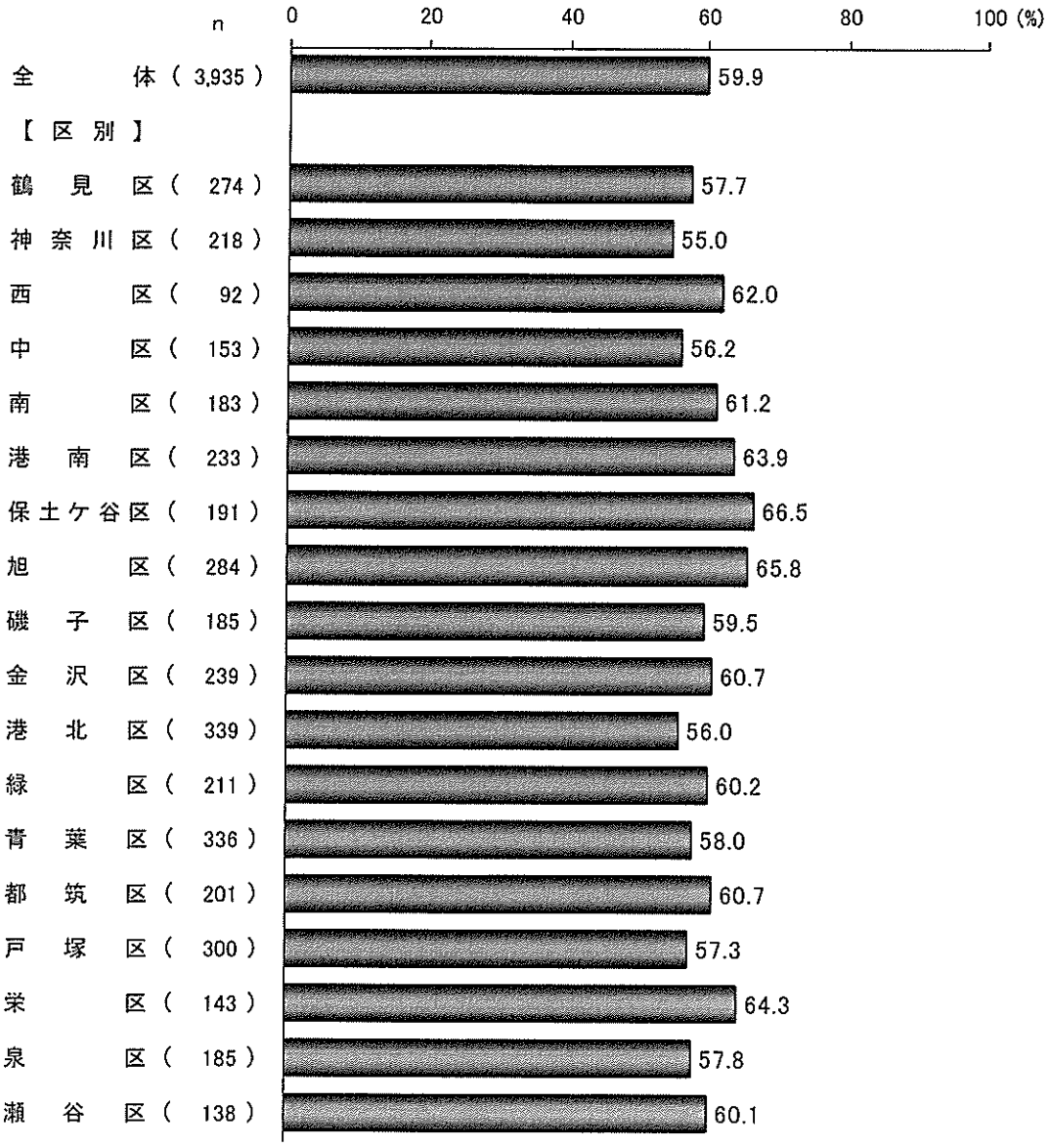


（８－２）鉄道や道路など都市インフラが充実している［区別］

保土ケ谷区が最も高い

「鉄道や道路など都市インフラが充実している」について、区別にみると、保土ケ谷区（66.5%）が最も高く、次いで旭区（65.8%）、栄区（64.3%）となっている。

図２－18　鉄道や道路など都市インフラが充実している［区別］（複数回答）



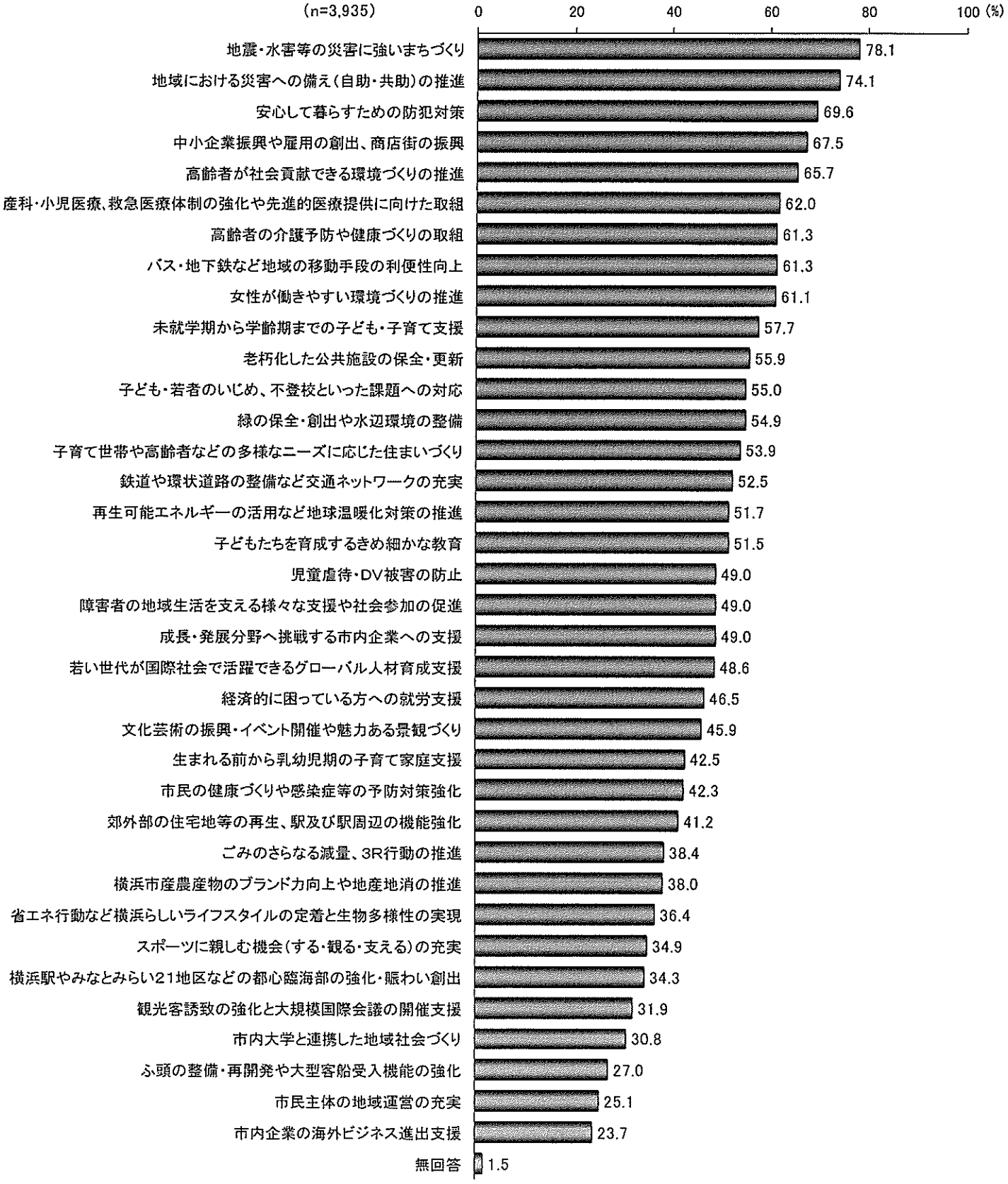
３．市が取り組むべきだと思うもの

問４　前ページまででお答えいただいた「なってほしい未来のまち」を実現するために、横浜市が取り組んでいくといいと思うものは次のうちのどれですか。以下の「新たな中期計画の基本的方向」の基本政策の取組のうち、取り組むべきだと思うものすべてに○をつけてください。

「地震・水害等の災害に強いまちづくり」が１位

横浜市が取り組んでいくといいと思うものについて聞いたところ、「地震・水害等の災害に強いまちづくり」（78.1%）が８割近くで最も高く、次いで「地域における災害への備え（自助・共助）の推進」（74.1%）となっている。この上位２項目が７割を超えている。以下、「安心して暮らすための防犯対策」（69.6%）、「中小企業振興や雇用の創出、商店街の振興」（67.5%）、「高齢者が社会貢献できる環境づくりの推進」（65.7%）が６割台後半、「産科・小児医療、救急医療体制の強化や先進的医療提供に向けた取組」（62.0%）、「高齢者の介護予防や健康づくりの取組」「バス・地下鉄など地域の移動手段の利便性向上」（ともに61.3%）、「女性が働きやすい環境づくりの推進」（61.1%）が６割台前半で続いている。

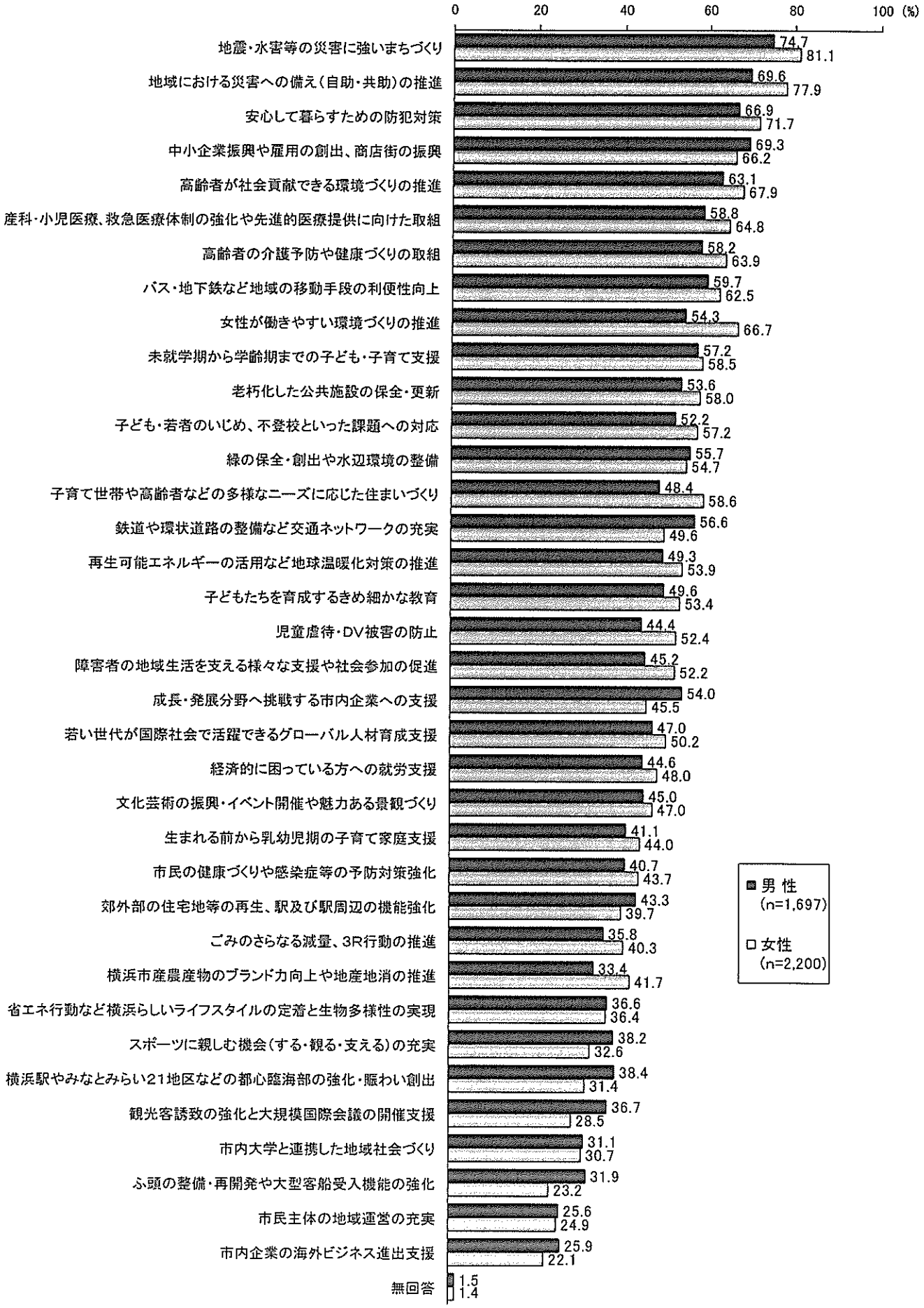
図３－１　市が取り組むべきだと思うもの［全体］（複数回答）



「地震・水害等の災害に強いまちづくり」「地域における災害への備え（自助・共助）の推進」「安心して暮らすための防犯対策」は女性の方が高い

男女別にみると、「地震・水害等の災害に強いまちづくり」「地域における災害への備え（自助・共助）の推進」「安心して暮らすための防犯対策」などの上位項目をはじめ、女性の方が割合が高い項目が多くなっている。男性の方が割合が高い項目としては、「中小企業振興や雇用の創出、商店街の振興」「鉄道や環状道路の整備など交通ネットワークの充実」「成長・発展分野へ挑戦する市内企業への支援」などとなっている。

図３－２　市が取り組むべきだと思うもの［男女別］（複数回答）



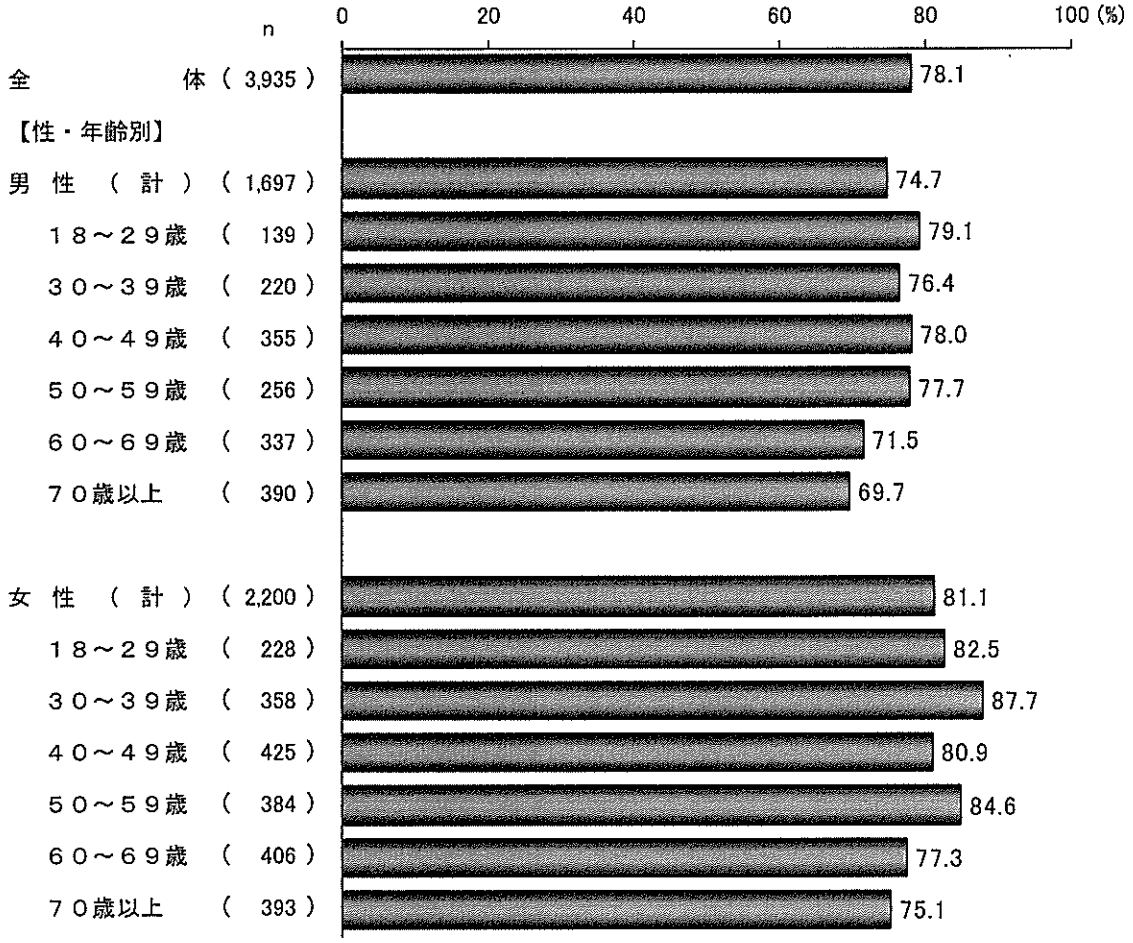
当設問の回答上位８項目について、次ページ以降に性・年齢別、区別の分析を掲載する。

（１－１）地震・水害等の災害に強いまちづくり［性・年齢別］

女性30歳代が最も高い

「地震・水害等の災害に強いまちづくり」について、性・年齢別にみると、女性30歳代（87.7%）が９割近くで男女全年代を通じ最も高く、次いで女性50歳代（84.6%）となっている。男性では、18～29歳（79.1%）が最も高くなっている。

図３－３　地震・水害等の災害に強いまちづくり［性・年齢別］（複数回答）

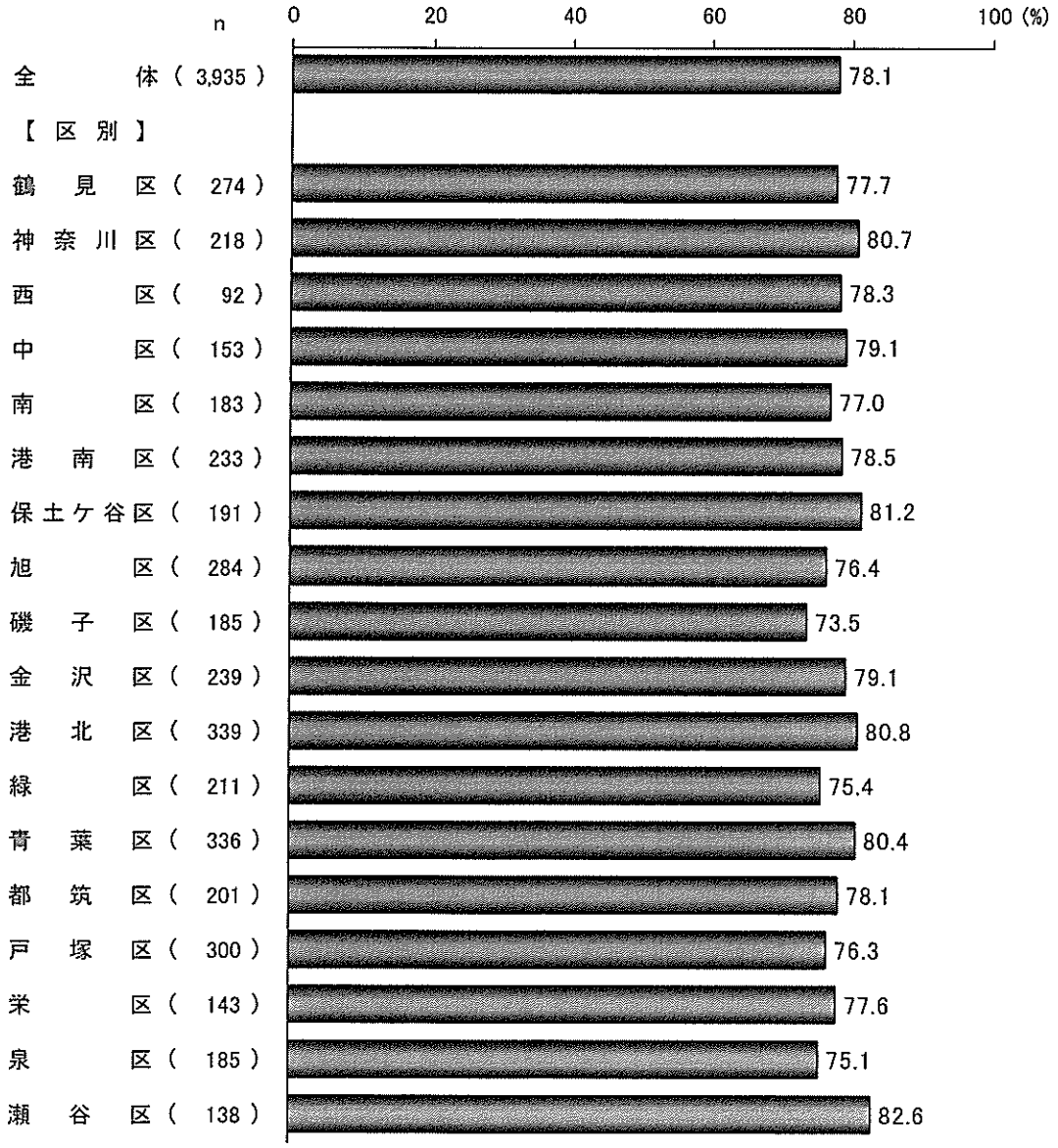


（１－２）地震・水害等の災害に強いまちづくり［区別］

瀬谷区が最も高い

「地震・水害等の災害に強いまちづくり」について、区別にみると、瀬谷区（82.6%）が最も高く、次いで保土ケ谷区（81.2%）、港北区（80.8%）となっている。

図３－４　地震・水害等の災害に強いまちづくり［区別］（複数回答）

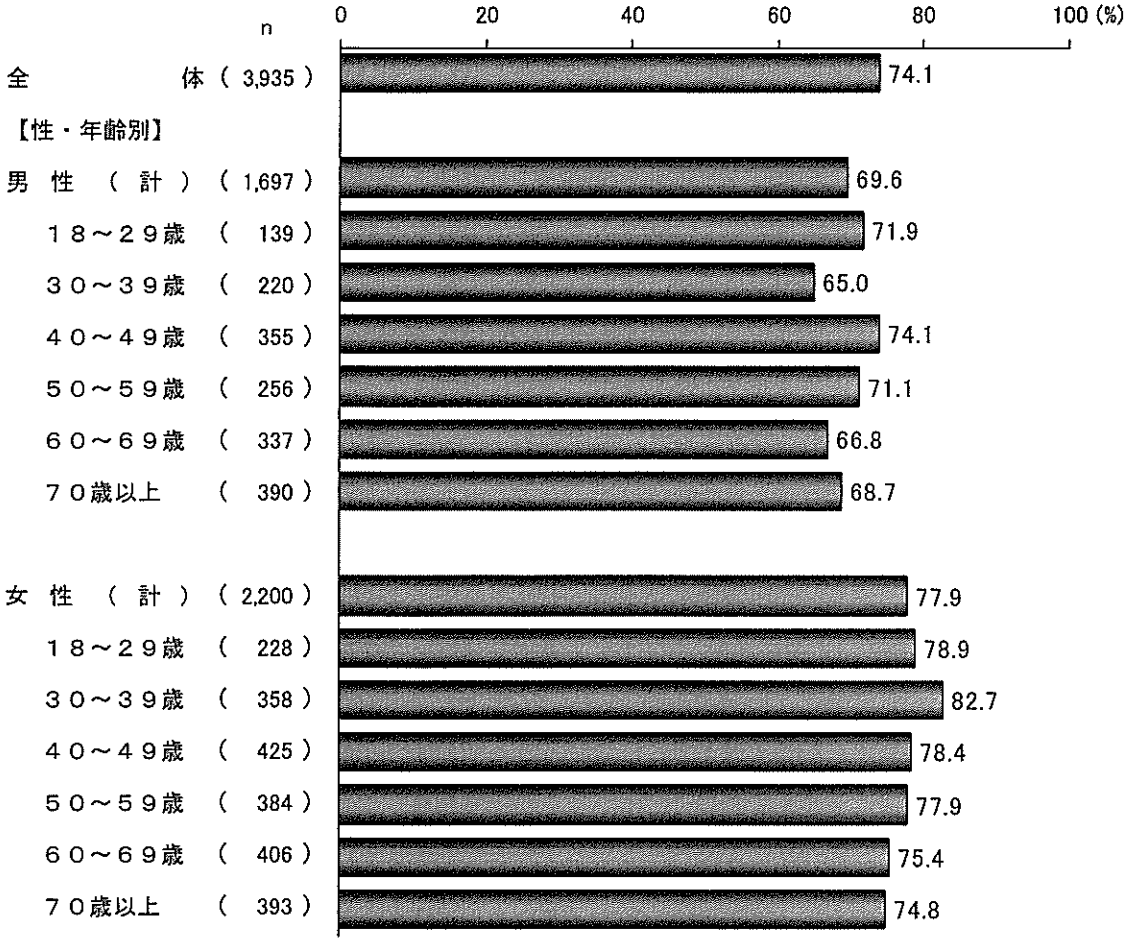


（２－１）地域における災害への備え（自助・共助）の推進［性・年齢別］

女性 30 歳代が最も高い

「地域における災害への備え（自助・共助）の推進」について、性・年齢別にみると、女性 30 歳代（82.7%）が男女全年代を通じ最も高く、唯一８割を超えている。男性では、40 歳代（74.1%）が最も高くなっている。

図３－５　地域における災害への備え（自助・共助）の推進［性・年齢別］（複数回答）

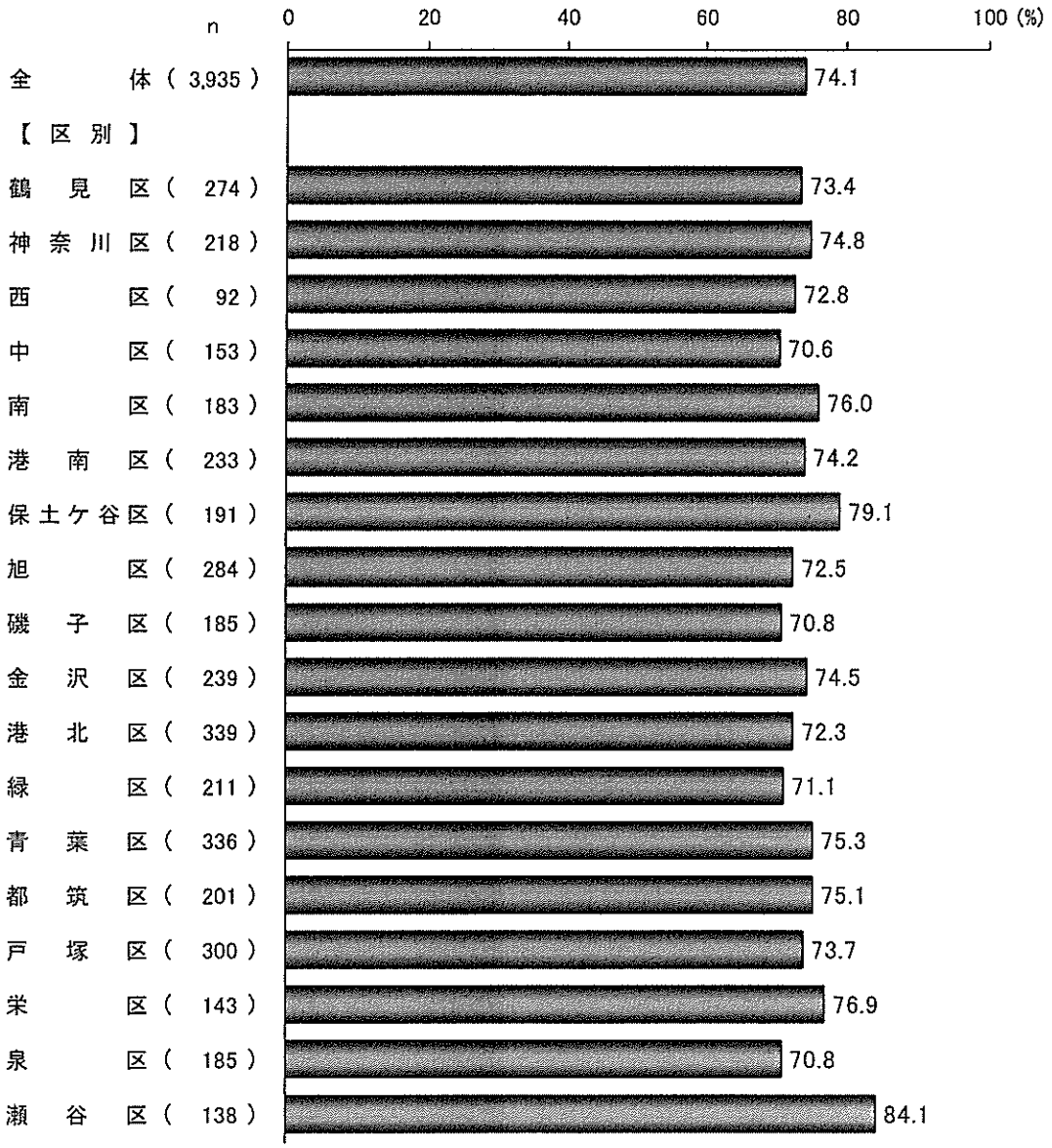


（２－２）地域における災害への備え（自助・共助）の推進［区別］

瀬谷区が唯一８割を超える

「地域における災害への備え（自助・共助）の推進」について、区別にみると、瀬谷区（84.1%）が唯一８割を超え最も高く、次いで保土ケ谷区（79.1%）、栄区（76.9%）となっている。

図３－６　地域における災害への備え（自助・共助）の推進［区別］（複数回答）

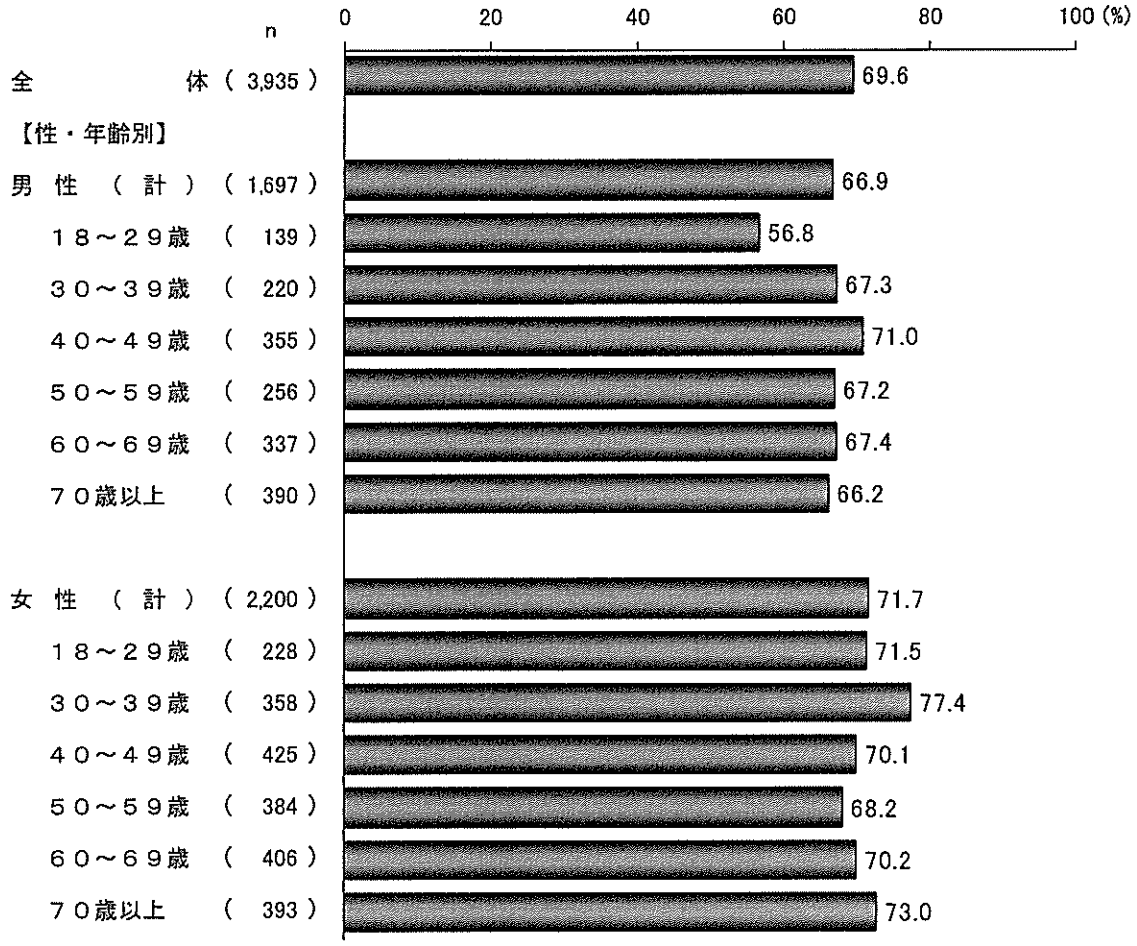


（３－１）安心して暮らすための防犯対策［性・年齢別］

女性 30 歳代が最も高い

「安心して暮らすための防犯対策」について、性・年齢別にみると、女性 30 歳代（77.4%）が男女全年代を通じ最も高くなっている。男性では、40 歳代（71.0%）が最も高くなっている。

図３－７　安心して暮らすための防犯対策［性・年齢別］（複数回答）

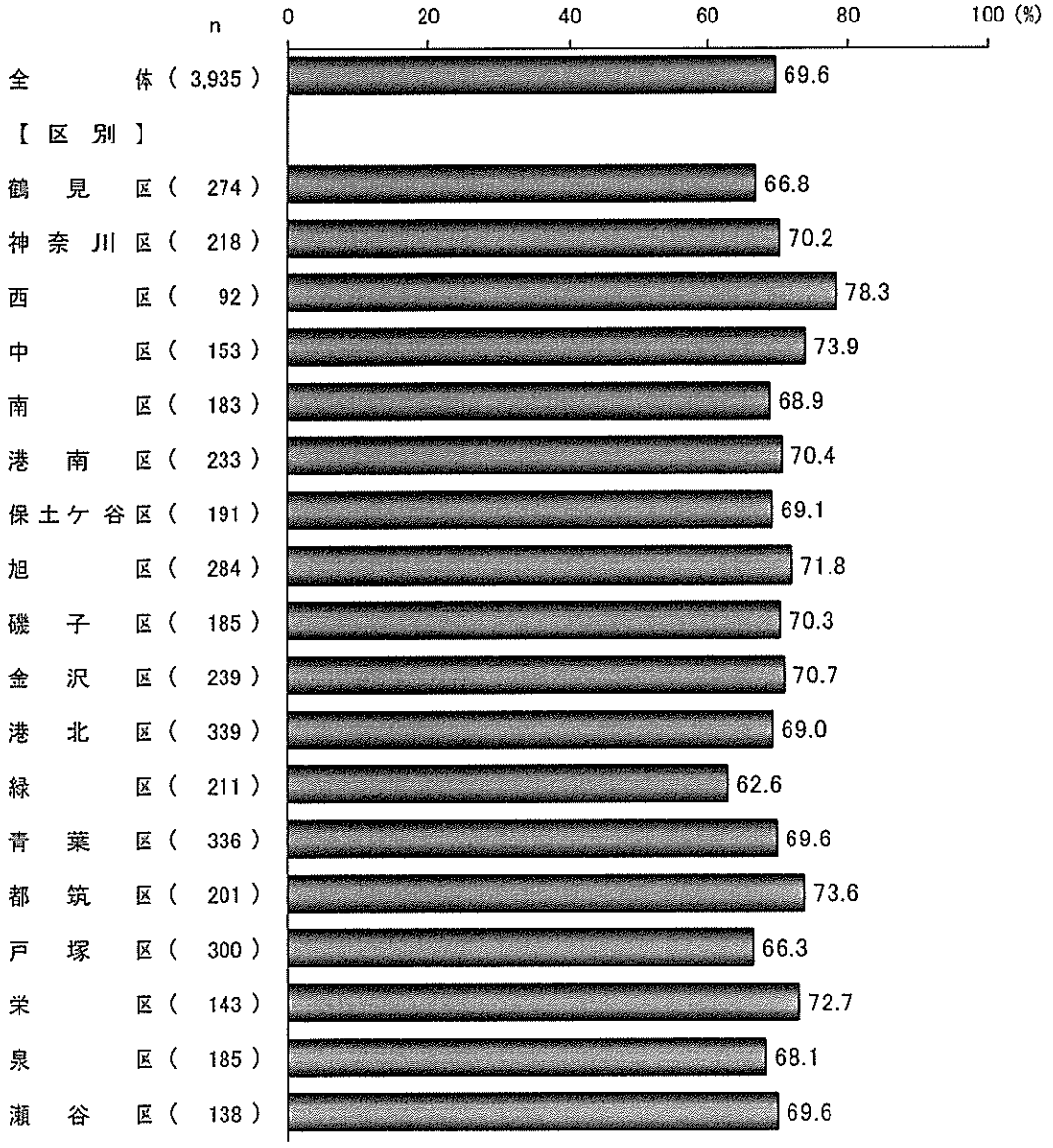


（３－２）安心して暮らすための防犯対策［区別］

西区が最も高い

「安心して暮らすための防犯対策」について、区別にみると、西区（78.3%）が最も高く、次いで中区（73.9%）、都筑区（73.6%）となっている。

図３－８　安心して暮らすための防犯対策［区別］（複数回答）

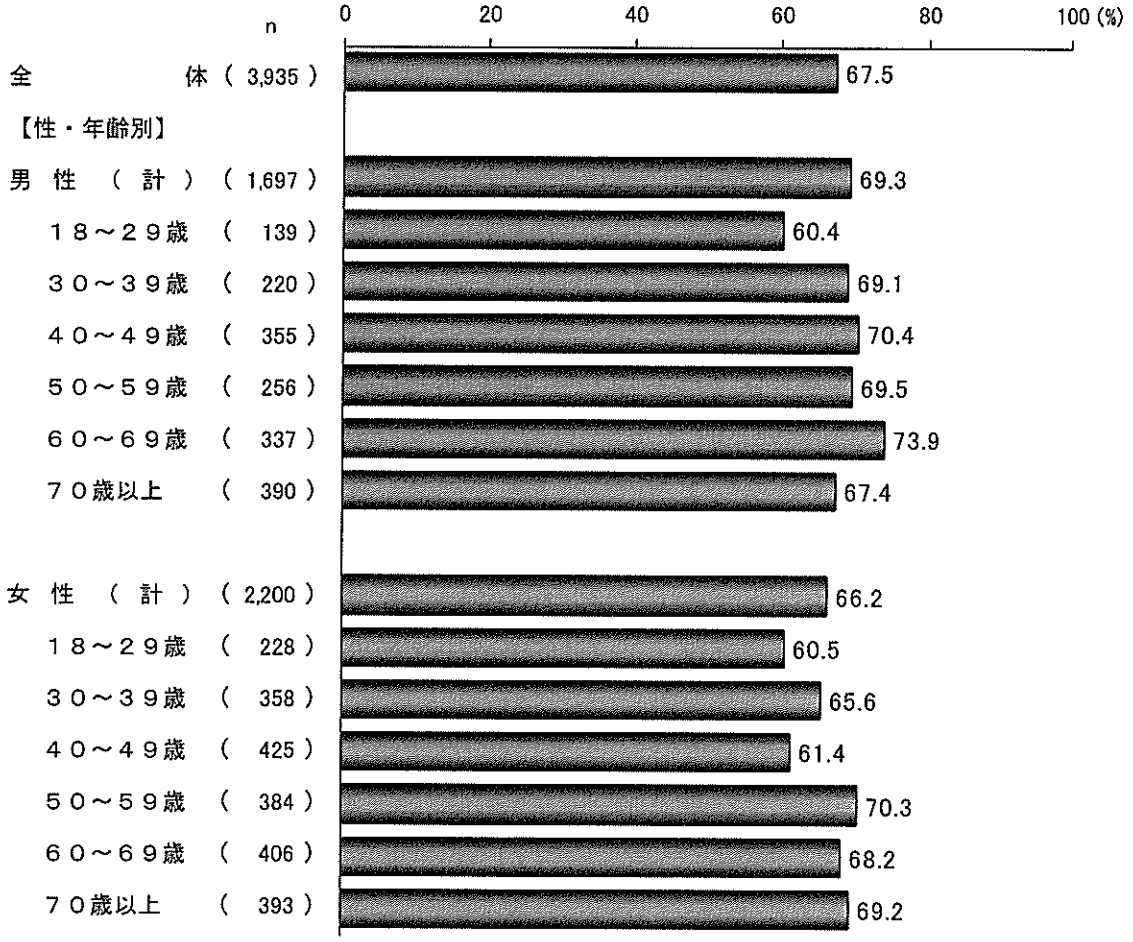


（４－１）中小企業振興や雇用の創出、商店街の振興［性・年齢別］

男性 60 歳代が最も高い

「中小企業振興や雇用の創出、商店街の振興」について、性・年齢別にみると、男性 60 歳代(73.9%)が男女全年代を通じ最も高くなっている。女性では、50 歳代（70.3%）が最も高くなっている。

図３－９　中小企業振興や雇用の創出、商店街の振興［性・年齢別］（複数回答）

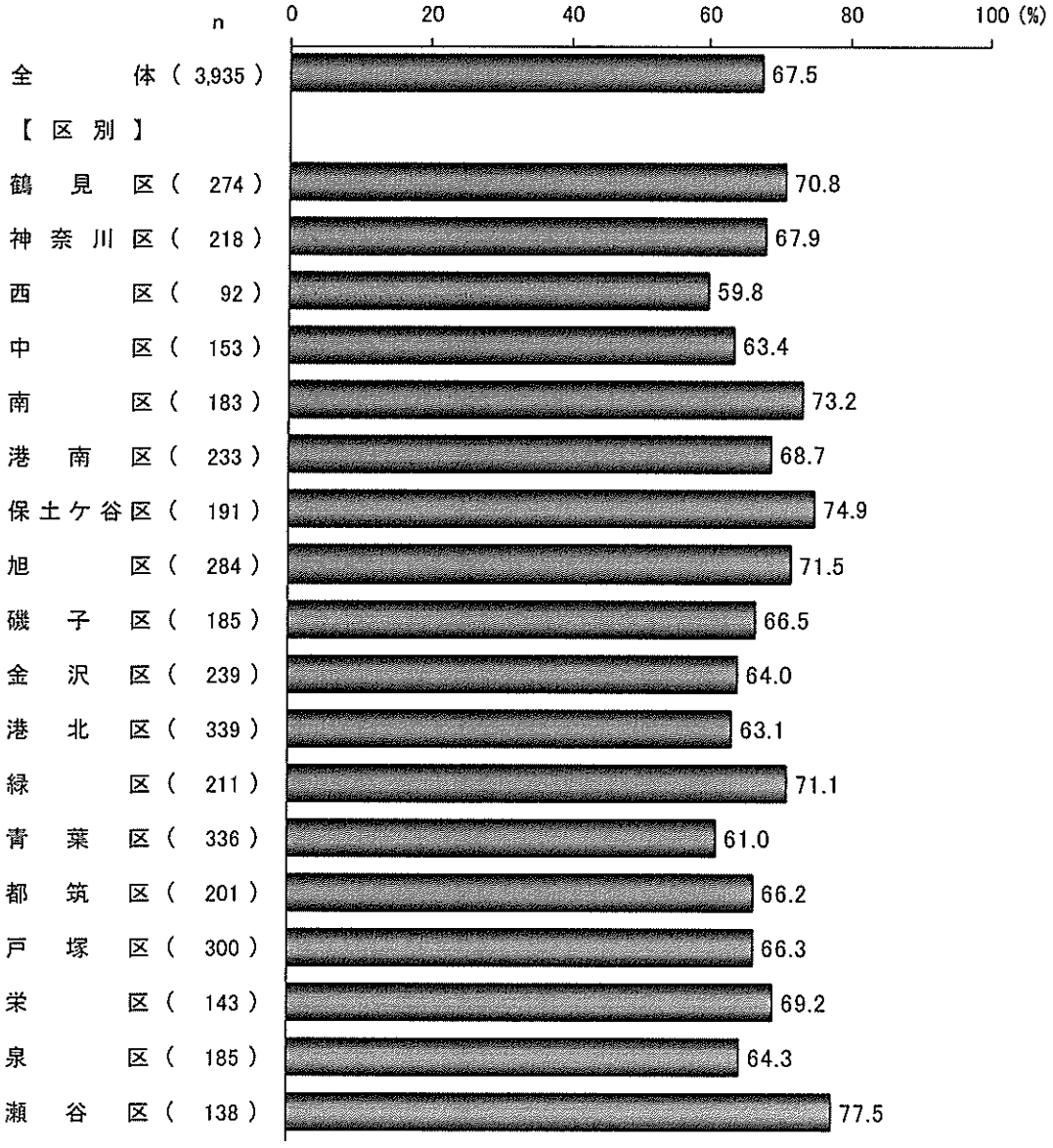


（４－２）中小企業振興や雇用の創出、商店街の振興［区別］

瀬谷区が最も高い

「中小企業振興や雇用の創出、商店街の振興」について、区別にみると、瀬谷区（77.5%）が最も高く、次いで保土ケ谷区（74.9%）、南区（73.2%）となっている。

図３－10　中小企業振興や雇用の創出、商店街の振興［区別］（複数回答）

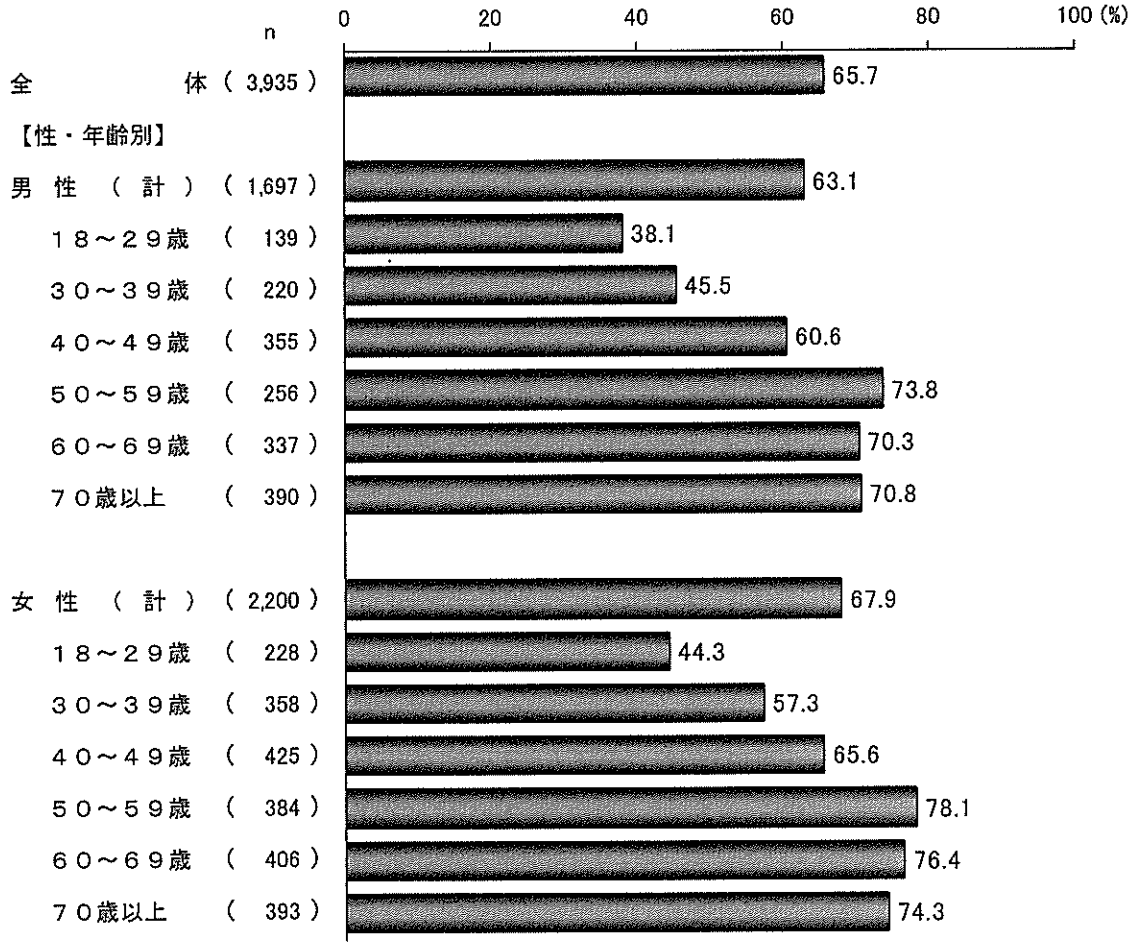


（５－１）高齢者が社会貢献できる環境づくりの推進［性・年齢別］

男女ともに50歳代が最も高い

「高齢者が社会貢献できる環境づくりの推進」について、性・年齢別にみると、男女ともに50歳代が最も高く、また50歳代以上の各年代で７割を超えている。

図３－11　高齢者が社会貢献できる環境づくりの推進［性・年齢別］（複数回答）

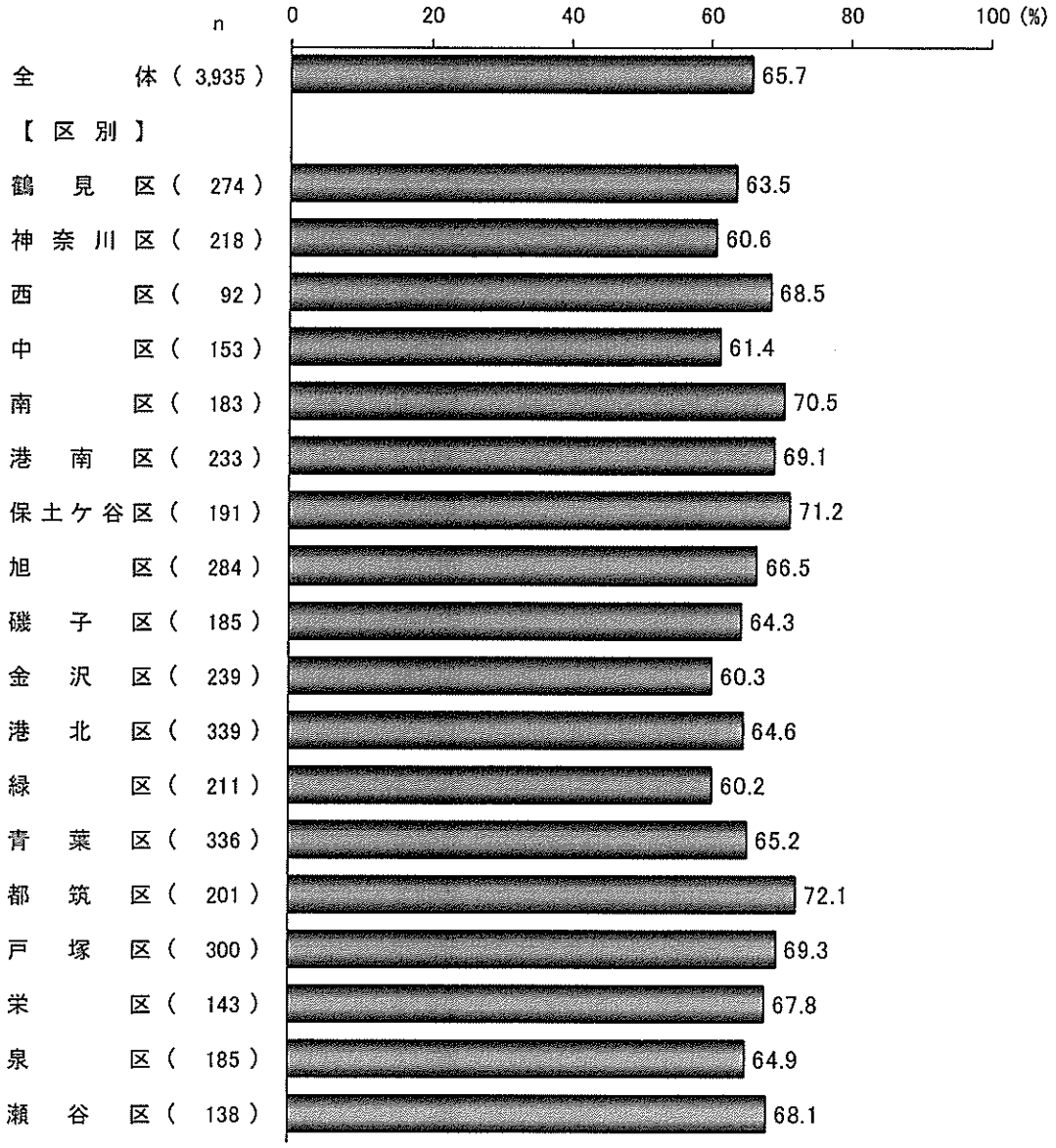


（５－２）高齢者が社会貢献できる環境づくりの推進［区別］

都筑区、保土ケ谷区、南区で７割超

「高齢者が社会貢献できる環境づくりの推進」について、区別にみると、都筑区（72.1%）が最も高く、次いで保土ケ谷区（71.2%）、南区（70.5%）となっている。

図３－12　高齢者が社会貢献できる環境づくりの推進［区別］（複数回答）

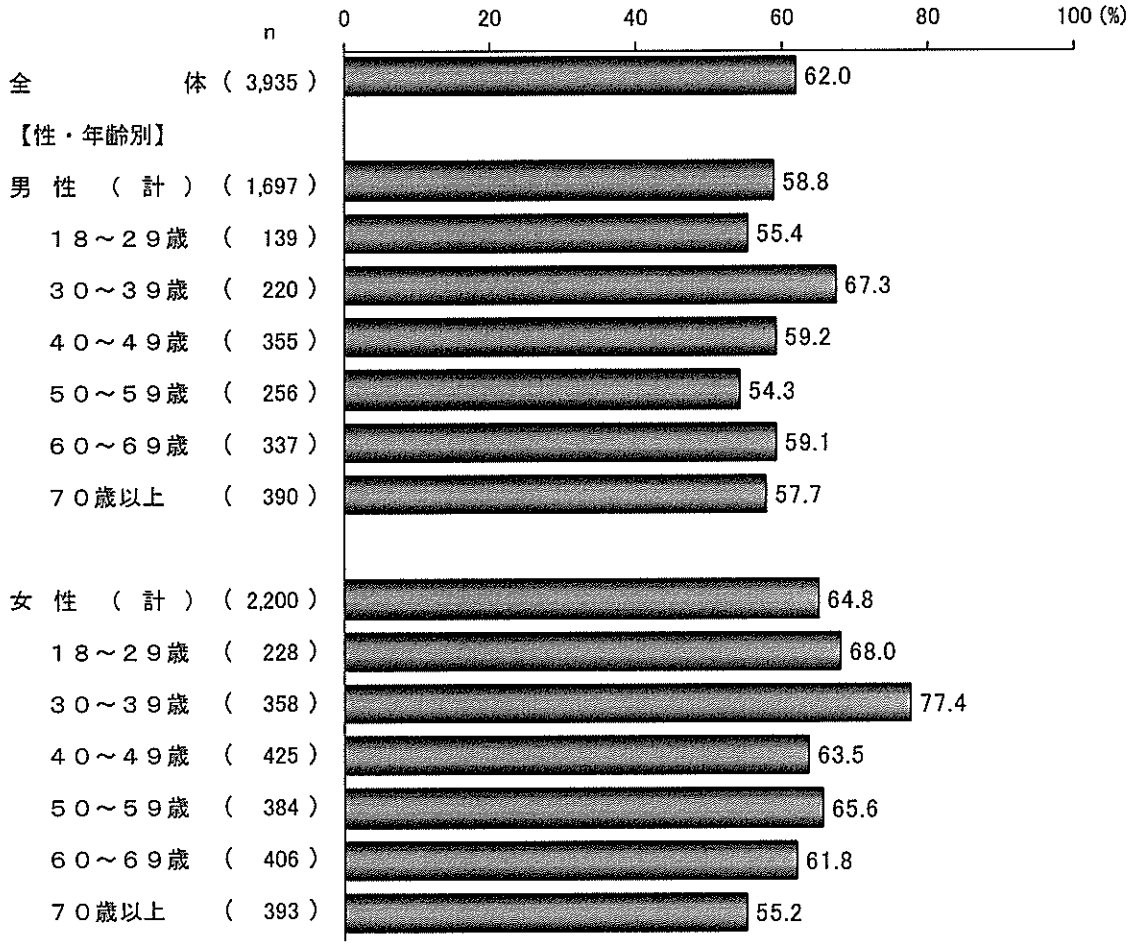


（６－１）産科･小児医療、救急医療体制の強化や先進的医療提供に向けた取組［性・年齢別］

男女ともに30歳代が最も高い

「産科･小児医療、救急医療体制の強化や先進的医療提供に向けた取組」について、性・年齢別にみると、女性30歳代(77.4%)が男女全年代を通じて最も高くなっている。男性では、30歳代(67.3%)が最も高くなっている。

図３－13　産科･小児医療、救急医療体制の強化や先進的医療提供に向けた取組［性･年齢別］（複数回答）

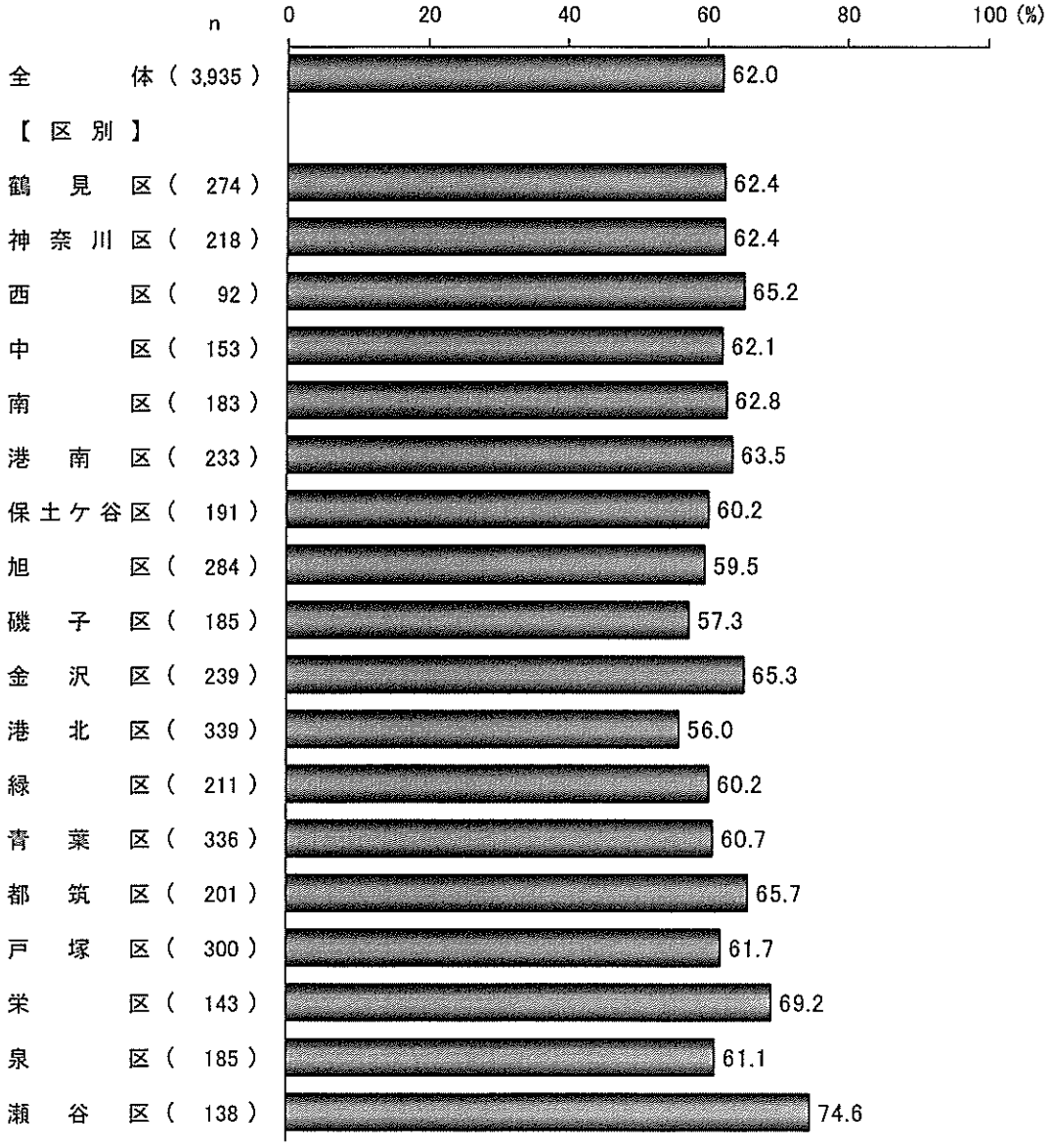


（６－２）産科・小児医療、救急医療体制の強化や先進的医療提供に向けた取組［区別］

瀬谷区が唯一７割を超え最も高い

「産科・小児医療、救急医療体制の強化や先進的医療提供に向けた取組」について、区別にみると、瀬谷区（74.6%）が７割を超え最も高く、次いで栄区（69.2%）、都筑区（65.7%）となっている。

図３－14　産科・小児医療、救急医療体制の強化や先進的医療提供に向けた取組［区別］（複数回答）

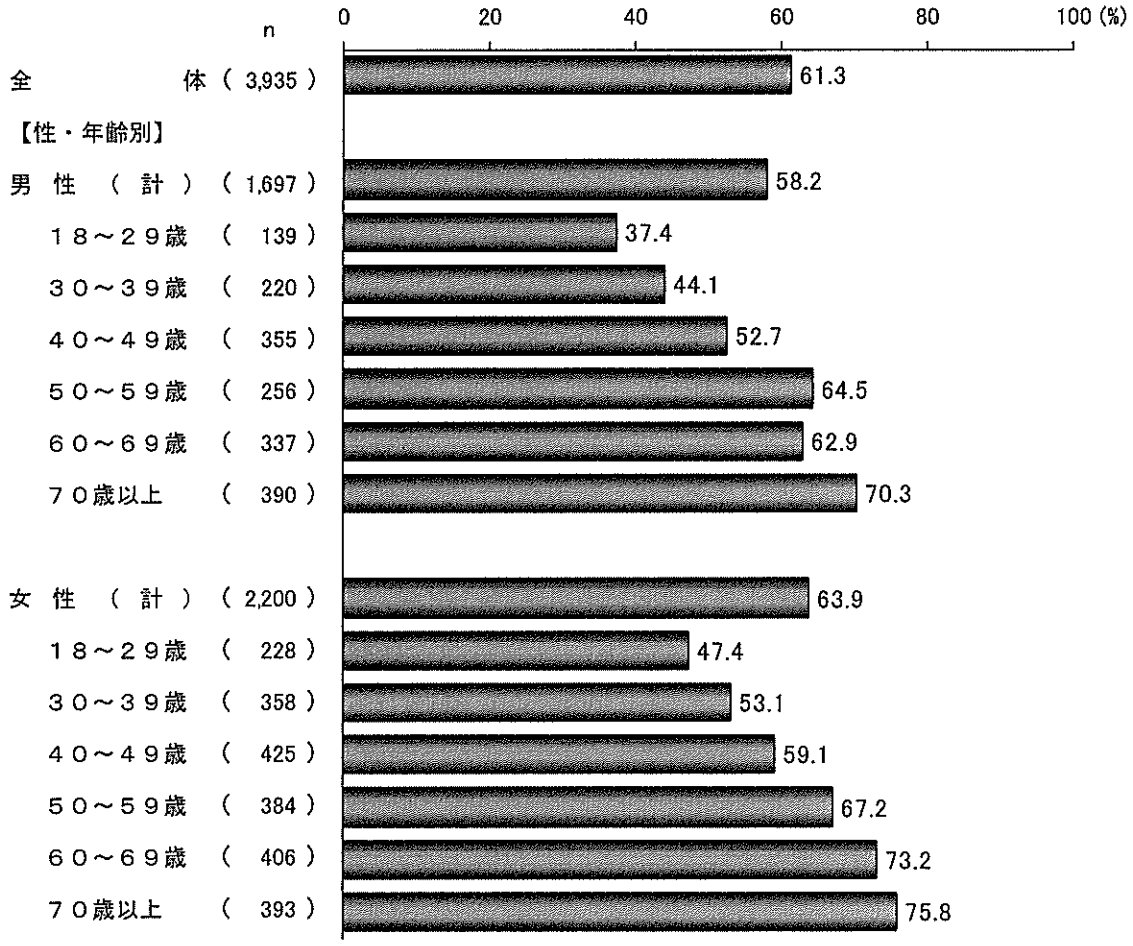


（７－１）高齢者の介護予防や健康づくりの取組［性・年齢別］

男女ともに年代が上がるにつれ割合が高まる傾向

「高齢者の介護予防や健康づくりの取組」について、性・年齢別にみると、女性 70 歳以上（75.8%）が男女全年代を通じて最も高く、次いで女性 60 歳代（73.2%）、男性 70 歳以上（70.3%）となっている。男女ともにおおむね年代が上がるにつれ、割合が高くなる傾向となっている。

図３－15　高齢者の介護予防や健康づくりの取組［性・年齢別］（複数回答）

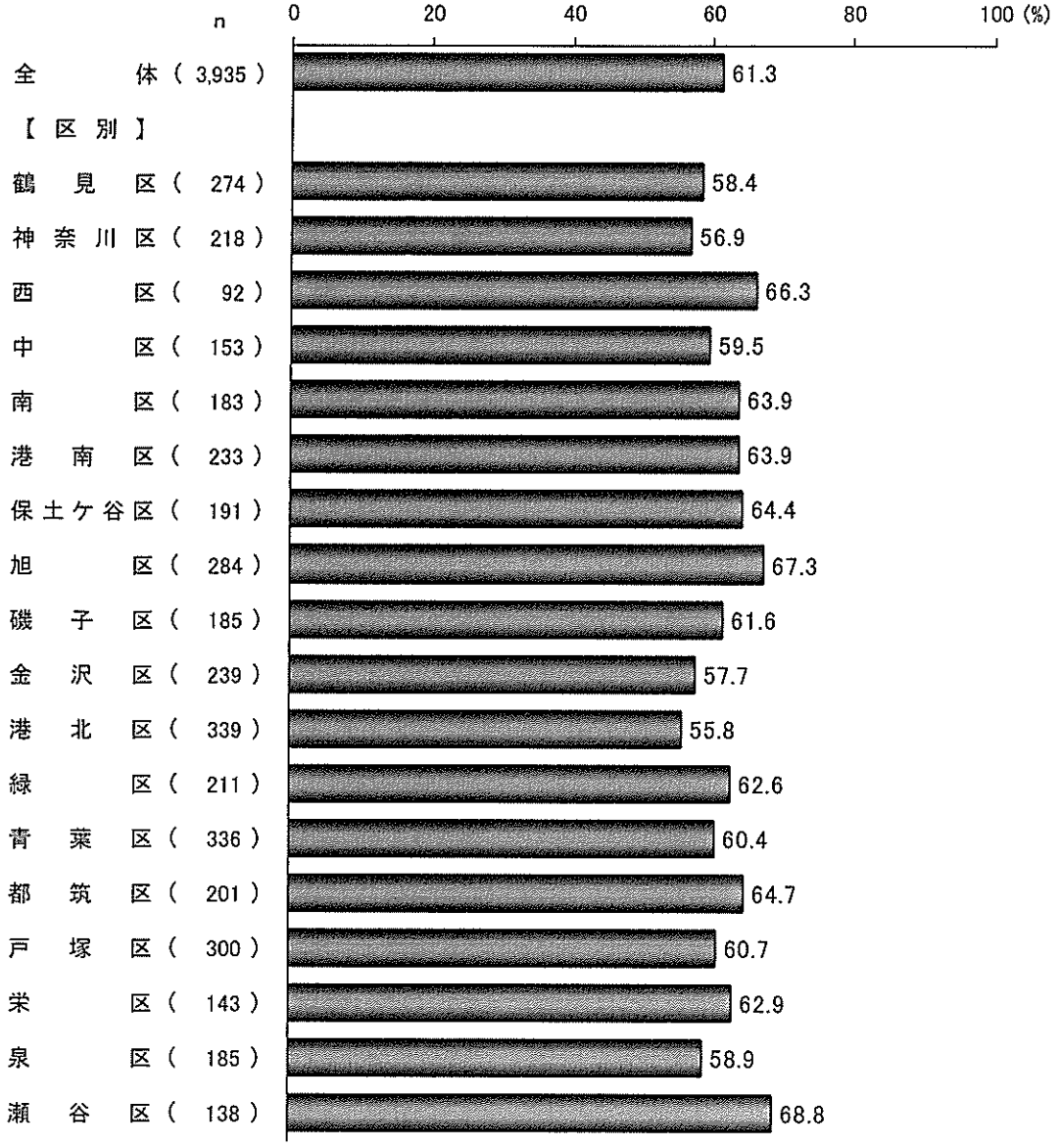


（７－２）高齢者の介護予防や健康づくりの取組［区別］

瀬谷区、旭区、西区が６割台後半で高い

「高齢者の介護予防や健康づくりの取組」について、区別にみると、瀬谷区（68.8%）が最も高く、次いで旭区（67.3%）、西区（66.3%）となっている。

図３－16　高齢者の介護予防や健康づくりの取組［区別］（複数回答）

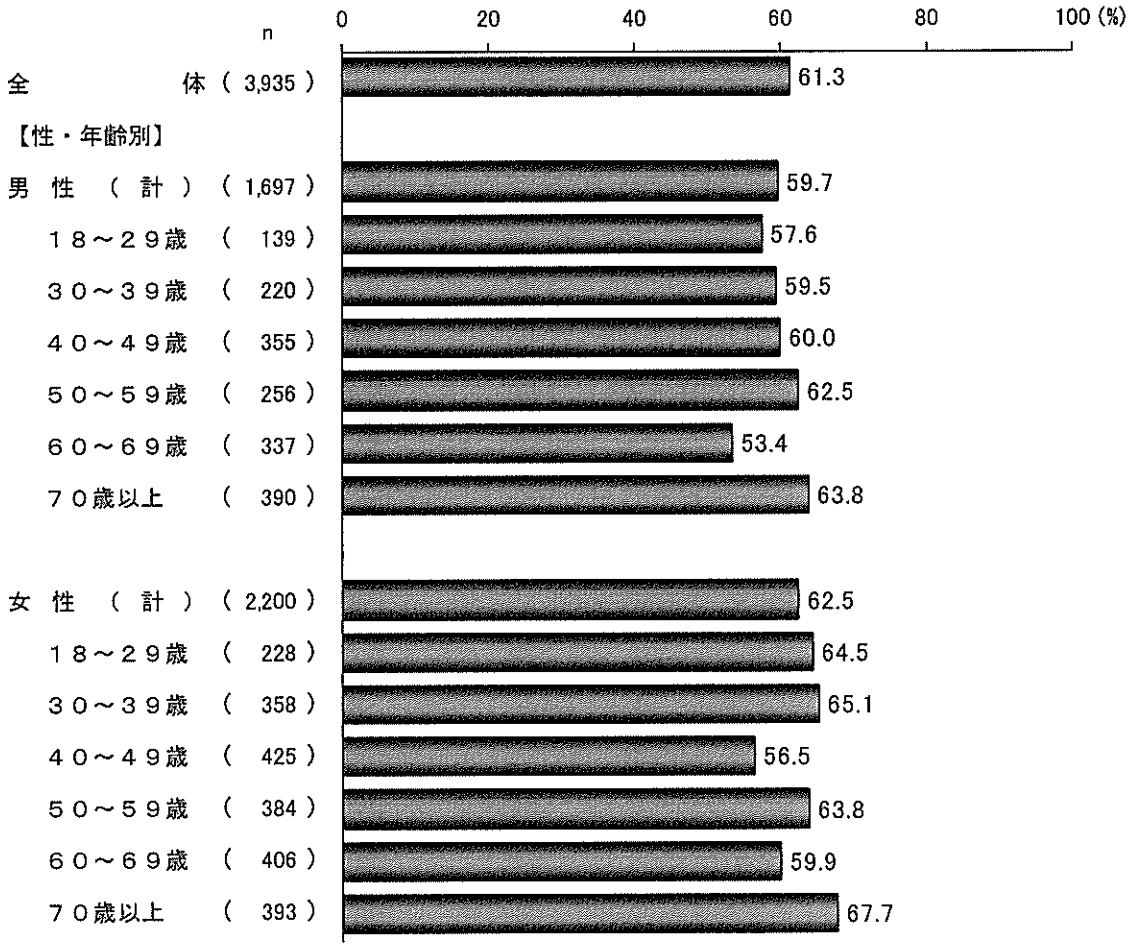


（８－１）バス・地下鉄など地域の移動手段の利便性向上［性・年齢別］

女性 70 歳以上が最も高い

「バス・地下鉄など地域の移動手段の利便性向上」について、性・年齢別にみると、女性 70 歳以上（67.7%）が男女全年代を通じ最も高く、次いで女性 30 歳代（65.1%）となっている。男性では、70 歳以上（63.8%）が最も高くなっている。

図３－17　バス・地下鉄など地域の移動手段の利便性向上［性･年齢別］（複数回答）

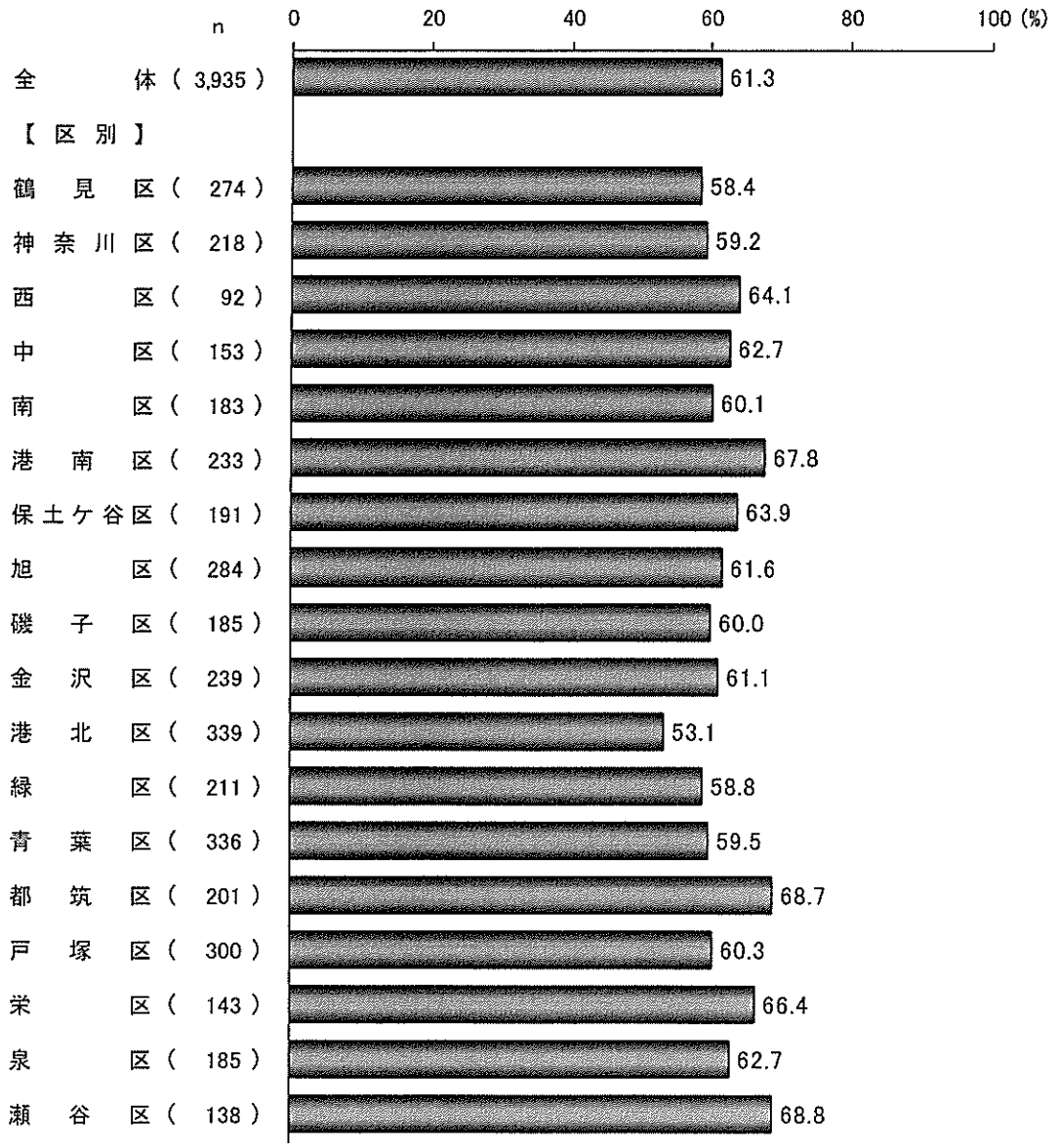


（８－２）バス・地下鉄など地域の移動手段の利便性向上［区別］

瀬谷区、都筑区、港南区で７割近く

「バス・地下鉄など地域の移動手段の利便性向上」について、区別にみると、瀬谷区（68.8%）が最も高く、次いで都筑区（68.7%）、港南区（67.8%）となっている。

図３－18　バス・地下鉄など地域の移動手段の利便性向上［区別］（複数回答）



Ⅲ　青少年調査の結果

Ⅲ．青少年調査の結果

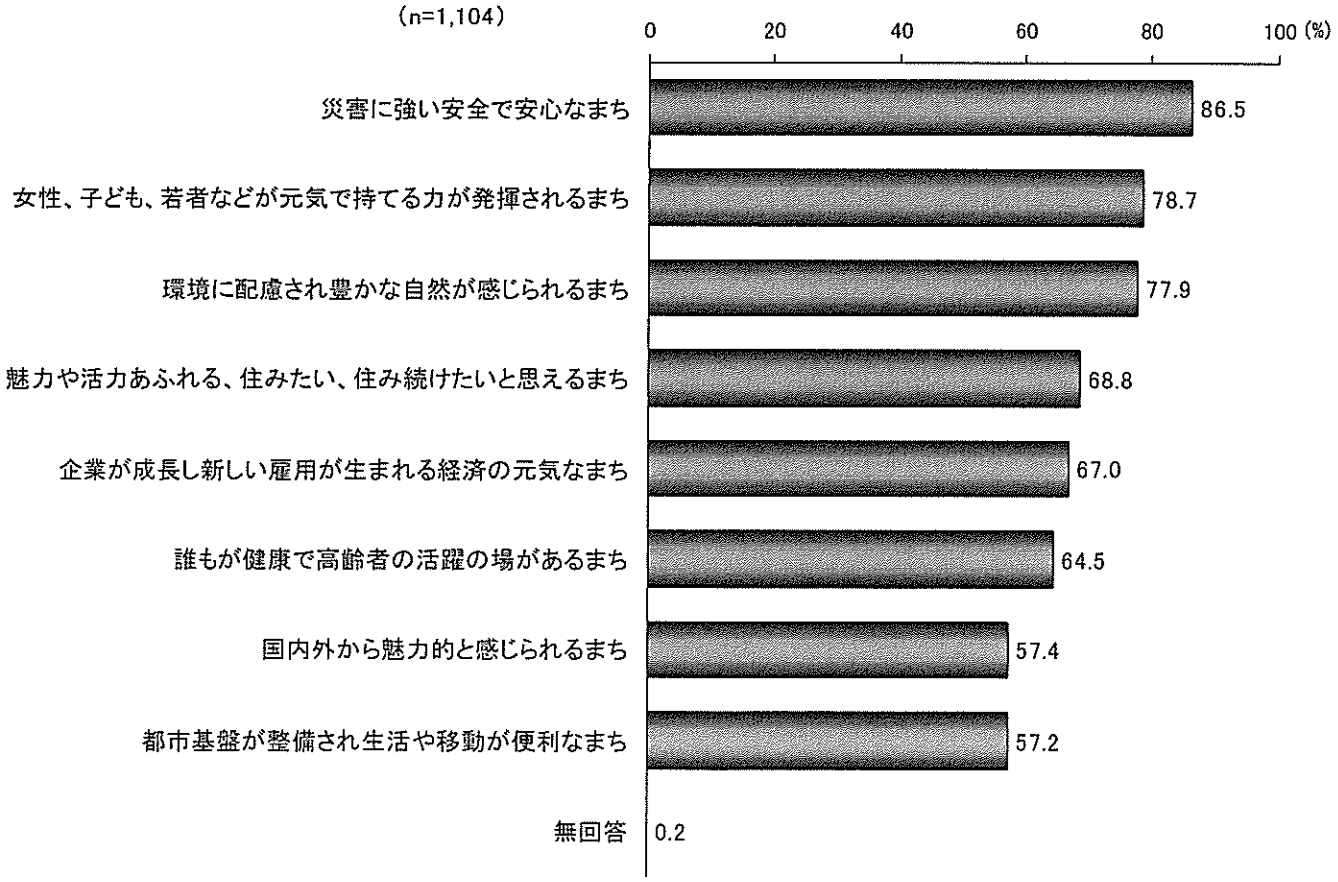
１．未来のまちの姿

問１　『新たな中期計画の基本的方向』では、８つの未来の横浜の姿をお示ししています。
まちの姿について「そうなってほしい」と思う場合は記入欄に「○」をつけてください。

「災害に強い安全で安心なまち」が１位

中学生・高校生の世代の人に「そうなってほしい」と思う未来のまちの姿について聞いたところ、「災害に強い安全で安心なまち」（86.5%）が８割を超え最も高く、次いで「女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち」（78.7%）、「環境に配慮され豊かな自然が感じられるまち」（77.9%）が７割台となっている。以下、「魅力や活力あふれる、住みたい、住み続けたいと思えるまち」（68.8%）、「企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち」（67.0%）、「誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち」（64.5%）が６割台、「国内外から魅力的と感じられるまち」（57.4%）、「都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち」（57.2%）が５割台で続いている。

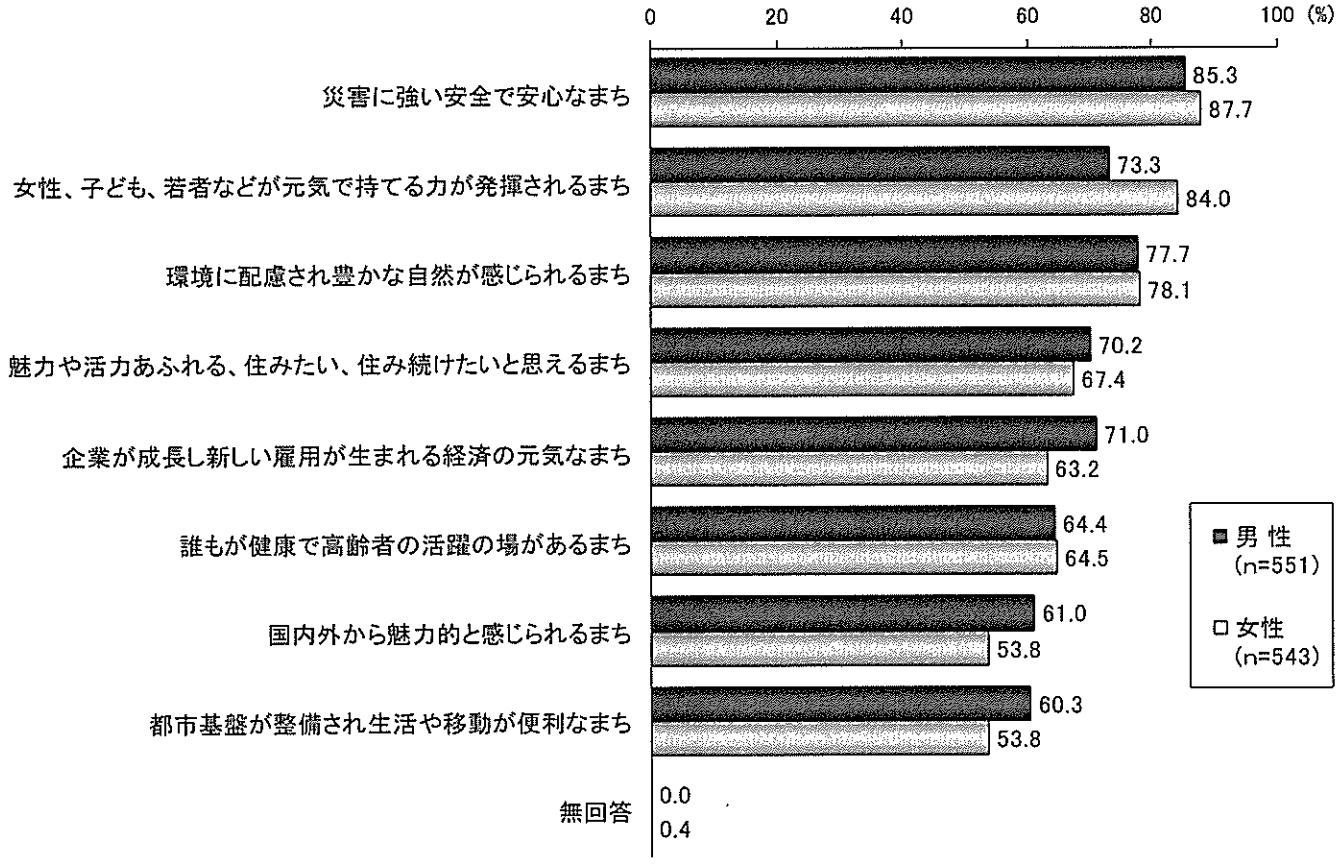
図４－１　未来のまちの姿［全体］（複数回答）



「女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち」は女性で高く、「企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち」「国内外から魅力的と感じられるまち」「都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち」は男性で高い

男女別にみると、「女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち」は女性で高く、「企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち」「国内外から魅力的と感じられるまち」「都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち」は男性で高くなっている。その他の項目は、男女間で大きな差はみられない。

図４－２　未来のまちの姿［男女別］（複数回答）

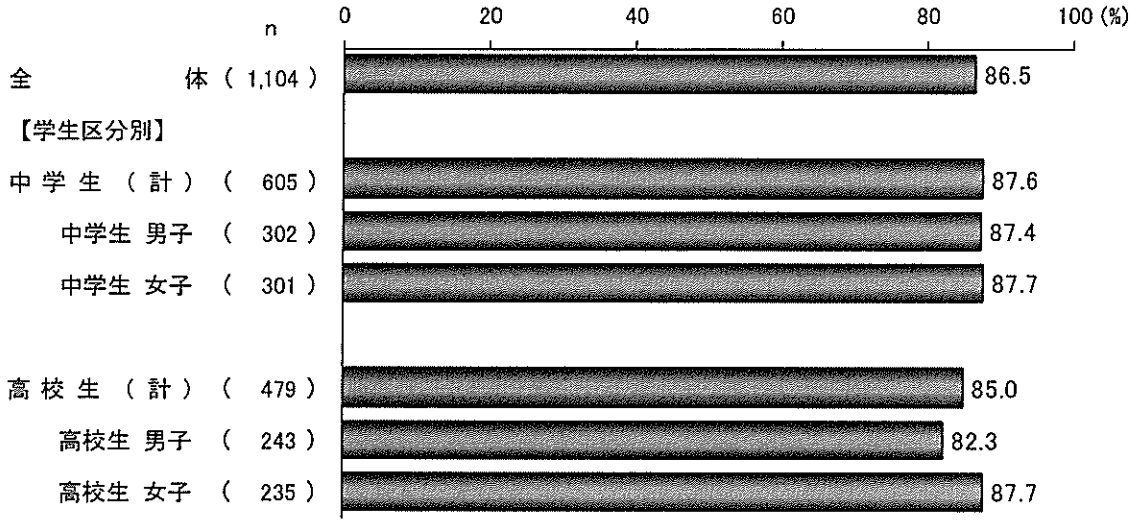


（１）災害に強い安全で安心なまち［学生区分別］

高校生男子が他に比べやや低いものの、大きな差はみられない

「災害に強い安全で安心なまち」について、学生区分別にみると、高校生男子（82.3%）が他に比べやや低いものの、大きな差はみられず、どの区分も８割台となっている。

図４－３　災害に強い安全で安心なまち［学生区分別］（複数回答）

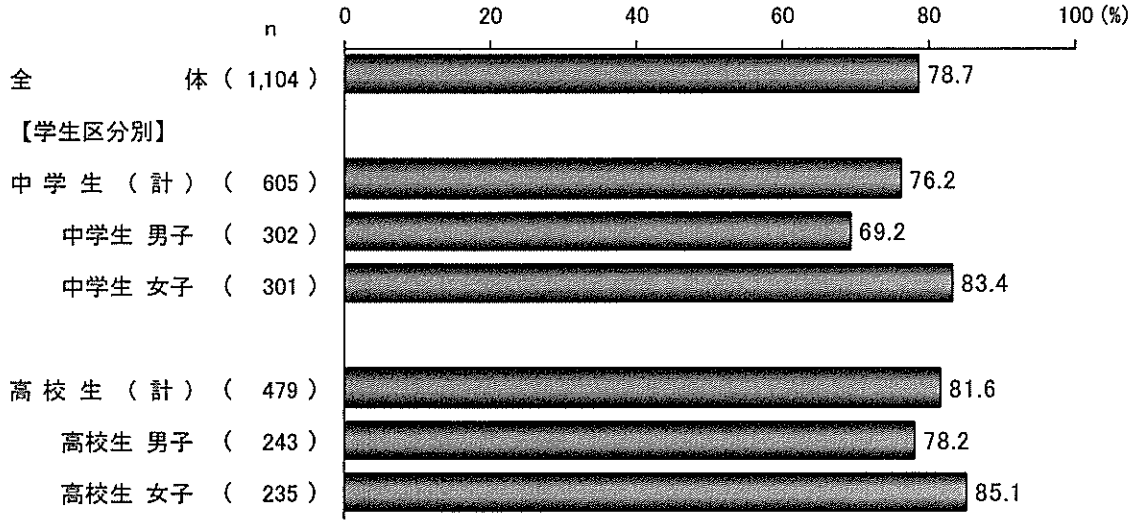


（２）女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち［学生区分別］

高校生女子で８割台半ば

「女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち」について、学生区分別にみると、高校生女子（85.1%）が８割台半ば、中学生女子（83.4%）も８割を超え高くなっている。

図４－４　女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち［学生区分別］（複数回答）

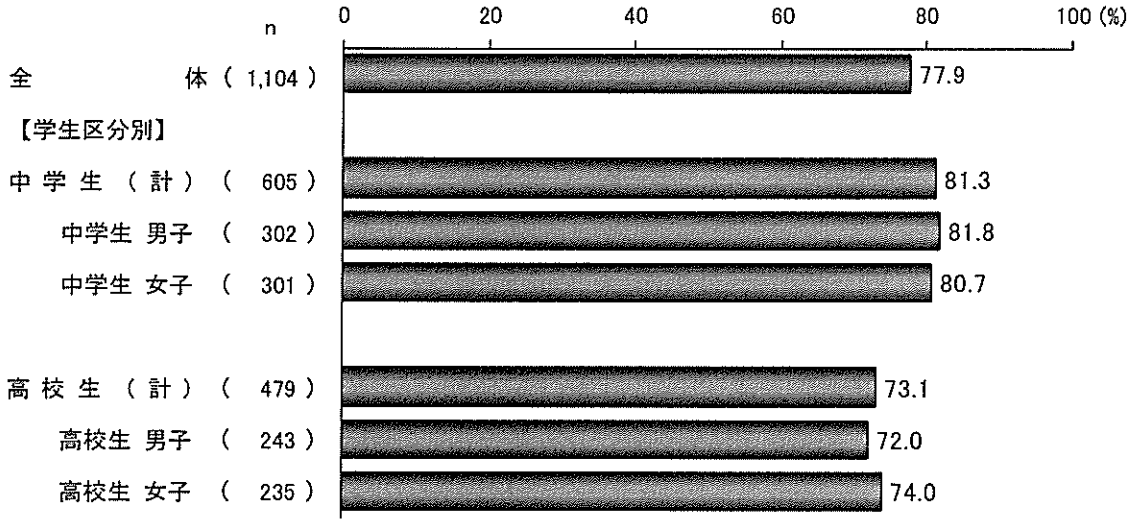


（３）環境に配慮され豊かな自然が感じられるまち［学生区分別］

中学生は８割台、高校生は７割台

「環境に配慮され豊かな自然が感じられるまち」について、学生区分別にみると、中学生は男女とも８割台、高校生は男女とも７割台と、中学生と高校生で差がみられる。

図４－５　環境に配慮され豊かな自然が感じられるまち［学生区分別］（複数回答）

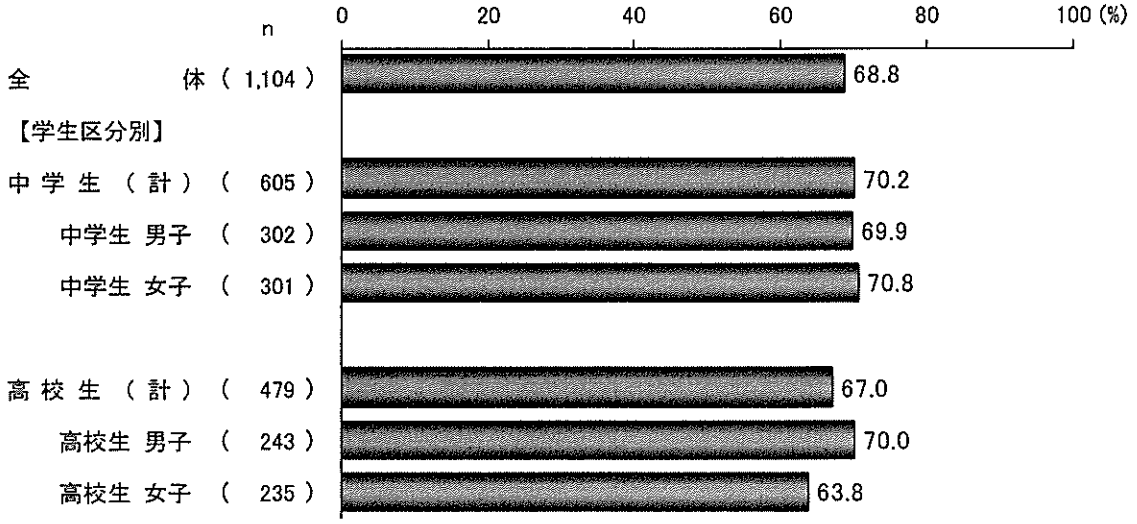


（4）魅力や活力あふれる、住みたい、住み続けたいと思えるまち［学生区分別］

高校生女子のみ６割台とやや低い

「魅力や活力あふれる、住みたい、住み続けたいと思えるまち」について、学生区分別にみると、中学生男子・女子、高校生男子はいずれもほぼ７割となっているが、高校生女子（63.8%）のみ６割台前半とやや低くなっている。

図４－６　魅力や活力あふれる、住みたい、住み続けたいと思えるまち［学生区分別］（複数回答）

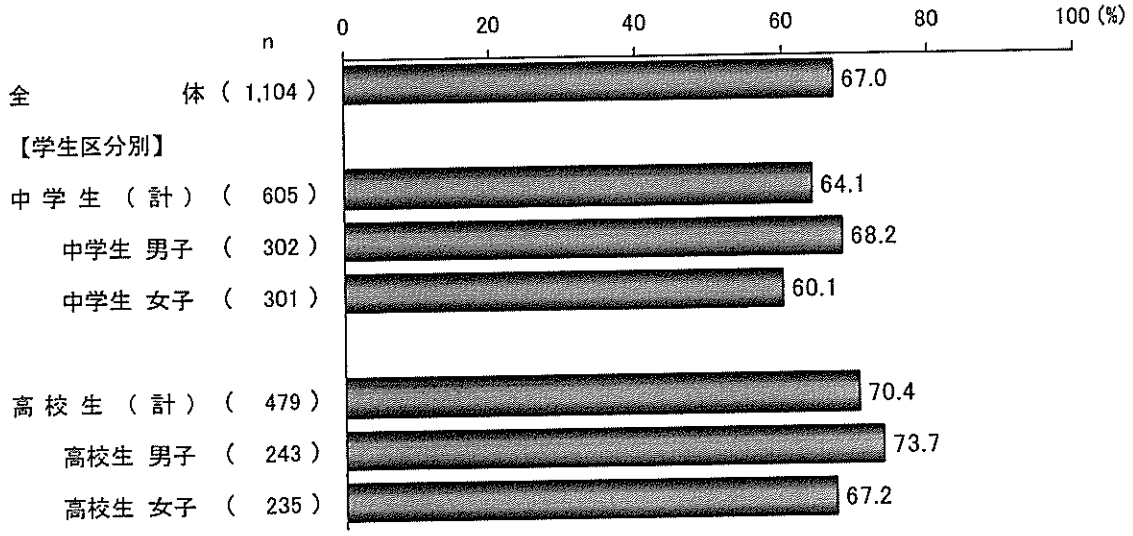


（５）企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち［学生区分別］

高校生男子が７割を超え高い

「企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち」について、学生区分別にみると、高校生男子（73.7%）が７割を超え高くなっている。中学生女子（60.1%）はほぼ６割とやや低くなっている。

図４－７　企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち［学生区分別］（複数回答）

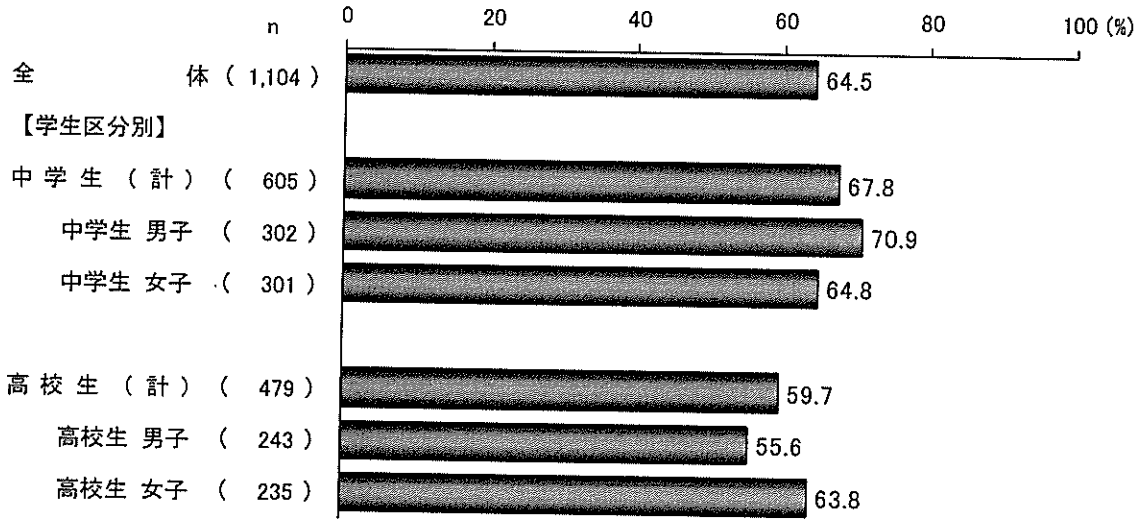


（６）誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち[学生区分別]

中学生男子が７割を超え高い

「誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち」について、学生区分別にみると、中学生男子（70.9%）が７割を超え高くなっている。一方、高校生男子（55.6%）は５割台半ばとやや低くなっている。

図４－８　誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち［学生区分別］（複数回答）

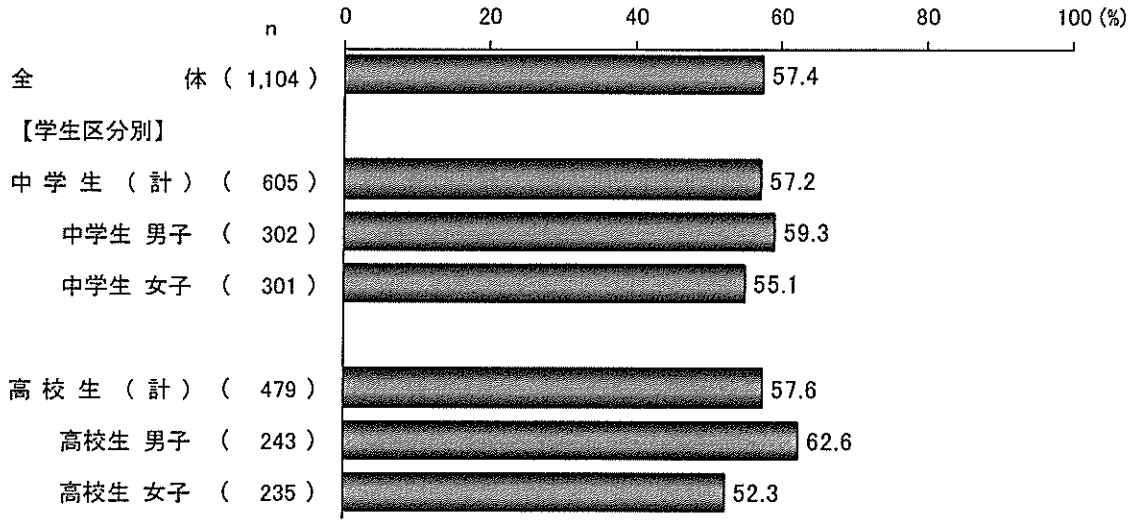


（７）国内外から魅力的と感じられるまち[学生区分別]

高校生男子が６割を超え高い

「国内外から魅力的と感じられるまち」について、学生区分別にみると、高校生男子（62.6%）が６割を超え高くなっている。

図４－９　国内外から魅力的と感じられるまち［学生区分別］（複数回答）

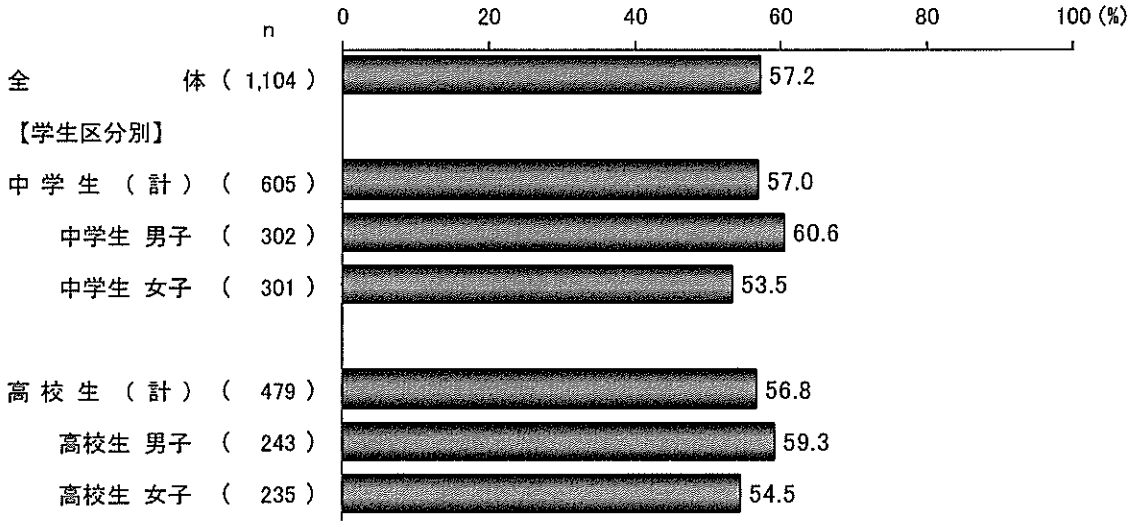


（８）都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち［学生区分別］

中学生男子が６割を超え高い

「都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち」について、学生区分別にみると、中学生男子（60.6%）が６割を超え高くなっている。

図４－10　都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち［学生区分別］（複数回答）



Ⅳ　調査票・単純集計結果

Ⅳ．調査票・単純集計結果

(1)一般調査　[単位：%，基数(N)表記のないものはN=3,935]

『未来の横浜』を一緒に描いていきましょう！

～「未来のまち」アンケート～

日ごろは、横浜市の取組にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、横浜市では「新たな中期計画の基本的方向」を公表しました。これは、平成 26 年度からの4年間の市の中期計画の方向性をお示ししたもので、今年の秋ごろの計画策定に向けて、検討を進めてまいります。

この計画を市民の皆さまと一緒に考えていくため、「新たな中期計画の基本的方向」の未来のまちの姿やこれから必要となる取組などについて皆さまの考えをおたずねします。

回答は 10 分程度で終わる簡潔なものですので、お忙しいところ恐れ入りますが、ご協力いただきますようお願いします。

横浜市政策局

＜記入にあたってのお願い＞

① このアンケートは市内にお住まいの 18 歳以上の方から無作為抽出した１万人の方にお送りしています。

② アンケート及び封筒には、ご住所やお名前を書いていただく必要はありません。

③ このアンケートは、封筒の宛名のご本人様がご回答ください。（ご本人が書くことができない場合は、身近な方がご本人の意見を聞きながらご記入いただくなど、ご協力をお願いします。）

④ アンケートの内容については、同封しました「新たな中期計画の基本的方向(概要版)」や、**横浜市のホームページに掲載している「新たな中期計画の基本的方向」**も必要に応じてご覧ください。(http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/seisaku/chuki2014-/)

⑤ 回答の統計的結果や自由回答で記入いただいたご意見は、個人情報に関する内容を除き、公表する可能性があります。

⑥ ご記入いただきましたアンケートは、同封の返信用封筒に入れ、平成 26 年２月 28 日(金)までに、郵便ポストにご投函ください。切手を貼る必要はありません。

◆調査主体：横浜市　政策局　政策部　政策課（〒231-0017　横浜市中区港町１丁目１番地）
電　話　671-2197（平日８：45～17：15）
◆調査実施：一般社団法人輿論科学協会（〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷４丁目８番６号）
電　話　0120-279-939　[担当：松岡]（平日 10：00～17：30）
電子メール　matsuoka@yoron-kagaku.or.jp

未来の横浜は、どんなまちになったらいいと思いますか？

問１「新たな中期計画の基本的方向」では、８つの未来の横浜の姿をお示ししています。

以下のそれぞれのまちの姿について「そうなってほしい」と思う場合は記入欄に「○」をつけてください。

○はこの欄に記入してください。

1　女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち

記入欄 78.1%

未来を担う人材づくり

安心して子どもを育てられるよう、様々な支援に取り組むとともに、子どもや若者が自ら豊かで幸せな生き方を切りひらけるよう教育を充実させます。

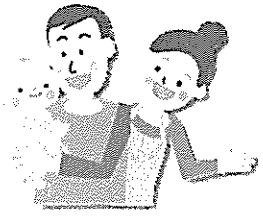
さらに女性の就業等への支援を加速し、**女性や子ども、若者の力が存分に発揮できる社会**を目指します。

2　誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち

記入欄 69.2%

370万人の健康づくり

市民一人ひとりが自分にあった健康づくりやスポーツを楽しみ、地域で交流し、自立した生活を送ることができる社会に向けて、「健康」を軸とした新たなまちづくりを進め、民間企業や市民団体と協働し、健康・予防を重視した取組により、**「健康寿命日本一」**を目指します。



少子高齢化が進むなかでは、女性・若者・シニアの活躍がまちを元気にするんだね。
そのためにも市民一人ひとりの健康づくりが重要になるね。

5　国内外から魅力的と感じられるまち

記入欄 52.4%

都心臨海部の再生・機能強化

従来の都心臨海部(横浜駅周辺、みなとみらい21、関内・関外)に、東神奈川臨海部や山下ふ頭周辺を加え、快適で魅力的なまちづくりや文化芸術創造都市の推進、観光・MICE振興により、市民・企業・行政が一体となり、**世界中の人々を惹きつける都心臨海部**を目指します。

6　魅力や活力あふれる、住みたい、住み続けたいと思えるまち

記入欄 69.4%

郊外部の再生・活性化

誰もが安全・安心で快適な暮らしができるよう、大規模団地の再生を起点とした郊外住宅地の再生、駅及び駅周辺の機能強化や大規模土地利用転換の機会などをとらえた戦略的な土地利用誘導などにより、**住みたい、住み続けたいと思えるまち**を目指します。

横浜の顔である美しい港や、緑あふれる住宅地など、
地域の特色をいかして、世界中から人や企業が集まる
まち、暮らしたいと思われるまちになるといいな。

3　企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち

記入欄 67.0%

横浜経済の成長・発展

中小企業に対する基礎的支援を充実しつつ、「経済成長分野育成ビジョン（仮称）」に掲げる分野の育成・強化をはじめとする様々な産業の更なる成長・発展により、新たな雇用を創出し、将来にわたり、**豊かさを生み出す活力あふれる横浜経済**の実現を目指します。

4　環境に配慮され豊かな自然が感じられるまち

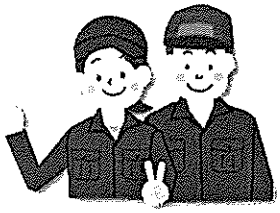
記入欄 68.3%

未来への環境と都市農業の推進

エネルギーの効率的な活用、未利用エネルギーの導入促進や水・みどりを実感できる場の創出など、環境未来都市として、**エネルギーが循環する低炭素なまちづくり**を推進します。

ブランド力向上や担い手支援等、時代の変化に適応し持続できる**都市農業を推進**します。

豊かな暮らしのためには、中小企業を含め、元気な横浜経済でなければいけないね。
水・みどり、身近にある農など、豊かな環境を将来に引き継いでいくことも大切だね。



7　都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち

記入欄 57.7%

持続可能な都市インフラの構築

経済成長や市民生活の安全・安心を支えるため、国際都市としての都市基盤の整備や、国際コンテナ戦略港湾としての先進的な施設整備、ICT技術を活用した効率的・効果的な保全等、戦略的に都市インフラを構築することで、**未来を支える骨格を備えた都市**を目指します。

8　災害に強い安全で安心なまち

記入欄 84.3%

災害に強い安全・安心なまちづくり

市民の生命・財産を守り、安全・安心を実感できるよう、未来の横浜を支える基盤づくりとして、災害に強い「人づくり」「地域づくり」「まちづくり」を柱としながら、防災・減災に係る様々な施策を着実に推進させ、**強靭な防災・減災都市機能を備えた都市**を目指します。

（無回答 4.5%）

都市の骨格となる道路や鉄道をつくっていくと同時に、
災害に負けないよう防災・減災に取り組んでいくことが、
未来のまちづくりの土台になるんだね。

『新たな中期計画の基本的方向』の表現を一部変更しています。

1 未来のまちの姿について

問２　前ページの未来のまちの姿について、もう少し詳しくお伺いします。以下のそれぞれの中から、具体的に「そうなってほしい」と思うものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

数字に○をつけてください。

78.8　子どもが健やかに育つための教育・環境が充実している
58.6　若者が様々な分野で活躍している
53.2　女性が社会でより一層活躍している

62.6　高齢者がいきいきと活躍している
81.6　医療や介護が充実している
58.6　障害者が安心して暮らしている
45.4　スポーツや健康づくりがさかんである
31.7　地域やＮＰＯなどの市民活動が活発である

38.0　新たな産業分野で企業が活躍している
66.1　企業が元気で市内で働く場所が増えている

59.2　再生可能エネルギーの活用など、環境に配慮されている
65.8　自然が身近に感じられる
36.7　都市型農業がさかんである

28.0　都心臨海部が更に発展している
39.1　国内外から多くの観光客が訪れている
41.9　文化芸術イベントなどでにぎわいにあふれている

62.3　駅及び駅周辺が便利である
43.3　郊外住宅地が魅力と活力にあふれている

59.9　鉄道や道路など都市インフラが充実している
30.9　国際競争力の高い港湾が整備されている

81.7　災害への備えが充実している
58.1　地域における支え合いが充実している

8.0　その他（具体的に：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

（無回答 **1.3**）

問３　あなたが「こうなってほしい」と思う未来の横浜の姿について、ご自由にお書きください。

アンケートは次のページに続きます。

2 未来のまちを実現するために必要な取組について

問４　前ページまででお答えいただいた「なってほしい未来のまち」を実現するために、横浜市が取り組んでいくといいと思うものは次のうちのどれですか。以下の「新たな中期計画の基本的方向」の基本政策の取組のうち、取り組むべきだと思うものすべてに○をつけてください。

数字に○をつけてください。

問４－１【女性・子ども・若者・シニアの支援】

61.1　女性が働きやすい環境づくりの推進

65.7　高齢者が社会貢献できる環境づくりの推進

42.5　生まれる前から乳幼児期の子育て家庭支援

57.7　未就学期から学齢期までの子ども・子育て支援

55.0　子ども・若者のいじめ、不登校といった課題への対応

51.5　子どもたちを育成するきめ細かな教育

49.0　児童虐待・ＤＶ被害の防止

30.8　市内大学と連携した地域社会づくり

問４－２【市民生活の安心・充実】

74.1　地域における災害への備え（自助・共助）の推進

78.1　地震・水害等の災害に強いまちづくり

69.6　安心して暮らすための防犯対策

46.5　経済的に困っている方への就労支援

61.3　高齢者の介護予防や健康づくりの取組

49.0　障害者の地域生活を支える様々な支援や社会参加の促進

42.3　市民の健康づくりや感染症等の予防対策強化

62.0　産科・小児医療、救急医療体制の強化や先進的医療提供に向けた取組

34.9　スポーツに親しむ機会（する・観る・支える）の充実

25.1　市民主体の地域運営の充実

問４－３【横浜経済の活性化】

67.5 中小企業振興や雇用の創出、商店街の振興

49.0 成長・発展分野へ挑戦する市内企業への支援

48.6 若い世代が国際社会で活躍できるグローバル人材育成支援

23.7 市内企業の海外ビジネス進出支援

31.9 観光客誘致の強化と大規模国際会議の開催支援

45.9 文化芸術の振興・イベント開催や魅力ある景観づくり

問４－４【都市機能・環境の充実】

34.3 横浜駅やみなとみらい 21 地区などの都心臨海部の強化・賑わい創出

27.0 ふ頭の整備・再開発や大型客船受入機能の強化

52.5 鉄道や環状道路の整備など交通ネットワークの充実

55.9 老朽化した公共施設の保全・更新

61.3 バス・地下鉄など地域の移動手段の利便性向上

53.9 子育て世帯や高齢者などの多様なニーズに応じた住まいづくり

41.2 郊外部の住宅地等の再生、駅及び駅周辺の機能強化

38.0 横浜市産農産物のブランド力向上や地産地消の推進

51.7 再生可能エネルギーの活用など地球温暖化対策の推進

36.4 省エネ行動など横浜らしいライフスタイルの定着と生物多様性の実現

54.9 緑の保全・創出や水辺環境の整備

38.4 ごみのさらなる減量、３Ｒ行動の推進

（無回答 **1.5**）

問５　その他未来に向けて横浜市が取り組んでいく必要があると思う取組があればご自由にお書きください。

3 あなたご自身についてお伺いします。

最後に、あなたご自身についてお伺いします。調査結果を分析する際に用いますので、ご協力よろしくお願いします。答えにくい質問は答えないで結構です。

Ｆ１　あなたの性別をお答えください。（○は１つ）

43.1	男性	**55.9**	女性	（無回答 **1.0**）

Ｆ２　あなたの年齢をお答えください。（○は１つ）

1.5	18～19 歳	**19.9**	40～49 歳	**20.2**	70 歳以上
7.8	20～29 歳	**16.3**	50～59 歳		（無回答 **0.5**）
14.7	30～39 歳	**19.0**	60～69 歳		

Ｆ３　あなたは、現在どちらの区にお住まいですか。（○は１つ）

7.0	鶴見区	**4.9**	保土ケ谷区	**8.5**	青葉区
5.5	神奈川区	**7.2**	旭区	**5.1**	都筑区
2.3	西区	**4.7**	磯子区	**7.6**	戸塚区
3.9	中区	**6.1**	金沢区	**3.6**	栄区
4.7	南区	**8.6**	港北区	**4.7**	泉区
5.9	港南区	**5.4**	緑区	**3.5**	瀬谷区　（無回答 **0.8**）

Ｆ４　今のお住まいにはいつごろから住んでいらっしゃいますか。（○は１つ）

11.5	1970 年以前（昭和 45 年以前）	**19.6**	1991～2000 年（平成３～12 年）
12.2	1971～1980 年（昭和 46～55 年）	**27.8**	2001～2010 年（平成 13～22 年）
14.7	1981～1990 年（昭和 56～平成２年）	**13.2**	2011 年以降（平成 23 年以降）
			（無回答 **1.0**）

Ｆ５　あなたが通勤・通学以外のお出かけや移動でよく使う交通手段は次のうちどれですか。（○は１つ）

3.7	徒歩のみ	**26.5**	車・バイク	**1.1**	その他
6.7	自転車	**56.6**	電車・バス		（無回答 **5.4**）

Ｆ６　最寄りの鉄道駅からご自宅までの時間は、徒歩にしてどのくらいになりますか。次のうちから選んでください。（○は１つ）

9.7	５分未満	**48.4**	５分～15 分未満	**41.1**	15 分以上
					（無回答 **0.8**）

Ｆ７　お住まいの最寄りの鉄道駅の路線は、この中のどれですか。２つ以上の路線駅が近くにある場合は、ふだん利用している路線名で答えてください。（○は１つ）

9.8	東海道線・横須賀線	**3.0**	相鉄いずみ野線
7.0	横浜線（東神奈川～長津田）	**11.4**	市営地下鉄線（ブルーライン）
7.8	東横線	**2.8**	市営地下鉄線（グリーンライン）
8.2	田園都市線・こどもの国線	**0.6**	南武線
5.2	京浜東北線（桜木町～鶴見）	**0.5**	金沢シーサイドライン
9.0	根岸線（桜木町～大船）	**0.3**	鶴見線
12.8	京浜急行線	**0.8**	みなとみらい線
12.2	相鉄本線		（無回答 **8.5**）

Ｆ８　あなたは横浜生まれですか。（○は１つ）

29.9	はい	**69.6**	いいえ	（無回答 **0.5**）

Ｆ８－１　Ｆ８で「２」と答えた方のみお答えください。[N=2,738]

あなたのお生まれは次のどちらですか。（○は１つ）

13.0	横浜市以外の神奈川県	**85.5**	神奈川県以外	（無回答 **1.5**）

Ｆ９　あなたは現住所の前に住んでいたところがありますか。（○は１つ）

91.1	はい	**7.2**	いいえ	（無回答 **1.7**）

Ｆ９－１　Ｆ９で「１」と答えた方のみお答えください。[N=3,585]

あなたが現住所の直前に住んでいたところはどちらですか。（○は１つ）

24.6	今お住まいの区内の別の場所	**11.2**	東京都区部	
33.5	横浜市内の別の区	**2.7**	東京都区部を除く東京都内	
14.6	神奈川県内の他市町村	**12.6**	その他	（無回答 **0.8**）

Ｆ９－２　Ｆ９で「１」と答えた方のみお答えください。[N=3,585]

あなたが、今のお住まいに引っ越した主な理由は何ですか。（○は１つ）

1.6	進学・独立など自分の転機のため	**41.3**	自宅の購入や住み替えのため	
13.3	結婚・出産・介護など家族のため	**2.2**	特別な理由はない	
6.1	就職・転職・転勤など仕事のため	**7.6**	その他	（無回答 **27.9**）

F10　あなたは、今住んでいるまちにこれからも住み続けたいと思いますか。
（○は１つ）

56.4	住み続けたい	**8.4**	どちらかといえば転居したい
22.6	どちらかといえば住み続けたい	**3.8**	転居したい
7.7	わからない		（無回答 **1.1**）

F10－１　F10で「４」または「５」と答えた方のみお答えください。[N=481]
もし、今のお住まいから転居するとしたら、横浜市内ですか。
（○は１つ）

37.4	横浜市内	**37.4**	横浜市外	**24.9**	わからない
					（無回答 **0.2**）

F10－１－１　F10－１で「１」と答えた方のみお答えください。[N=180]
もし、今のお住まいから転居するとしたら、現在のお住まいの近くを希望しますか。（○は１つ）

25.6	希望する	**59.4**	こだわらない	**11.1**	わからない
					（無回答 **3.9**）

F10－２－１　F10－１で「２　横浜市外」と答えた方のみお答えください。
転居したい主な理由は何ですか。（○は１つ）[N=180]

4.4	進学・独立など自分の転機のため	**22.2**	自宅の購入や住み替えのため
7.2	結婚・出産・介護など家族のため	**6.1**	特別な理由はない
9.4	就職・転職・転勤など仕事のため	**44.4**	その他
			（無回答 **6.1**）

F10－２－２　F10－１で「２　横浜市外」と答えた方のみお答えください。
もし、横浜市外に転居する場合、どこに転居したいですか。（○は１つ）[N=180]

8.3	川崎市	**4.4**	東京都区部を除く東京都内
7.2	川崎市を除く県内の他市町村	**31.1**	そのほかの道府県
34.4	東京都区部	**7.8**	わからない
			（無回答 **6.7**）

F11　あなたは現在、結婚していますか。（○は１つ）

74.1	している	**23.7**	していない	（無回答 **2.2**）

F11－１　F11で「１」と答えた方のみお答えください。[N=2,917]
あなたは共働きをしていますか。（○は１つ）

35.2	している	**63.5**	していない	（無回答 **1.2**）

F12　あなたに18歳以下のお子さんはいますか。いる場合、お子さんは次のどの年齢にあたりますか。別居しているお子さんも含め全員について、お答えください。（○はいくつでも）

45.7	子どもはいない	**6.1**	13～15歳（中学生）
11.5	0～5歳（小学校入学前）	**6.3**	16～18歳
10.3	6～12歳（小学生）		（無回答 **28.3**）

F13　あなたの家族形態は、この中のどれにあたりますか。同居している方のみで当てはまるものをお答えください。（○は1つ）

9.7	ひとり暮らし	**6.0**	3世代
25.8	夫婦のみ	**3.6**	その他
52.3	親と子（2世代）		（無回答 **2.5**）

F14　あなたのお住まいは、この中のどれにあたりますか。（○は1つ）

46.4	一戸建て（持家）	**29.5**	マンション・共同住宅（持家）	**2.0**	その他
1.9	一戸建て（借家）	**19.2**	マンション・共同住宅（借家）	（無回答 **1.1**）	

F14－1　F14で「1　一戸建て（持家）」と答えた方のみお答えください。[N=1,824]
2025年頃までにお住まいを建て替える予定はありますか。
（○は1つ）

3.8	はい	**65.8**	いいえ	**29.3**	わからない
				（無回答 **1.1**）	

F15　あなたの現在のご職業は何ですか。アルバイト・パートなども含めてお答えください。複数ある場合は、主なものを1つお答えください。（○は1つ）

6.4	自営業	（農林漁業、商・工・サービス業、自由業の自営業主および家族従業者）
5.1	管理職	（会社の部長級以上、官公庁の課長級以上など）
8.2	専門技術職	（勤務医師、研究所研究員、技師など）
16.7	事務職	（事務職、営業職、教員など）
14.6	現業職	（生産工程、販売・サービス、運転手、保安職などの従事者）
3.7	学生	--> 次のページにおすすみください。勤務地・通学先などの質問があります。
25.4	専業主婦・主夫	--> アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
12.6	その他	
		（無回答 **7.3**）

F16からF18は、F15で「1　自営業」「2　管理職」「3　専門技術職」「4　事務職」「5　現業職」「6　学生」と答えた方にお聞きします。それ以外の方は、回答は不要です。

F16　あなたの勤務地・通学先は横浜市内にありますか。複数ある場合は、主な勤務地・通学先でお答えください。（○は１つ）[N=2,150]

55.0	はい	**41.9**	いいえ	（無回答 **3.2**）	

F16－1　F16で「2」と答えた方にお聞きします。[N=900]

あなたの勤務地・通学先はどこにありますか。複数ある場合は、主な勤務地・通学先でお答えください。

26.7	神奈川県内の他市町村	**6.0**	東京都区部を除く東京都	**0.8**	埼玉県
62.3	東京都区部	**1.1**	千葉県	**1.4**	その他
				（無回答 **1.7**）	

F17　あなたの普段の通勤・通学時間（片道）はどのくらいですか。（○は１つ）[N=2,150]

29.1	30分未満	**57.6**	30分～1時間30分未満	**8.3**	1時間30分以上
				（無回答 **5.0**）	

F18　あなたの普段の主な通勤・通学手段は次のうちどれですか。（○は１つ）[N=2,150]

7.7	徒歩のみ	**15.9**	車・バイク	**1.8**	その他
6.0	自転車	**62.7**	電車・バス	（無回答 **5.9**）	

アンケートは以上です。
ご協力ありがとうございました。

(2)青少年調査　[単位:%，基数(N)表記のないものはN=1,104]

『未来の横浜』を一緒に描いていきましょう！

～「未来のまち」アンケート～

宛名のご本人様がご回答いただきますよう、お願いします。

保護者の方へ

日ごろは、横浜市の取組にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、横浜市では「新たな中期計画の基本的方向」を公表しました。これは、平成 26 年度からの4年間の市の中期計画の方向性をお示ししたものです。

この計画を市民の皆さまと一緒に考えていくため、市内にお住まいの中学生・高校生の世代の 3,000 名の方を無作為抽出して「新たな中期計画の基本的方向」の未来の横浜の姿についてアンケートを実施します。(18 歳以上の方から無作為抽出した 1 万人の方にも未来の横浜の姿に関するアンケートを実施しています。)

宛名の方に、ご回答いただきますよう、ご協力をお願いします。

ご本人様へ

このたび、横浜市では「新たな中期計画の基本的方向」を公表しました。ここで描いている未来の横浜の姿について、近い将来、社会で活躍する皆さまと一緒に考えていくため、市内にお住まいの中学生・高校生の世代の 3,000 名の方にアンケートを実施します。

回答は 10 分程度で終わる簡潔なものですので、お忙しい中恐れ入りますが、ご協力をお願いします。

横浜市政策局

◆調査主体:横浜市　政策局　政策部　政策課（〒231-0017　横浜市中区港町１丁目１番地）
電　話　671-2197（平日８：45～17：15）
◆調査実施:一般社団法人輿論科学協会（〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷４丁目８番６号）
電　話　0120-279-939　[担当：松岡]（平日 10：00～17：30）
電子メール　matsuoka@yoron-kagaku.or.jp

◎ご記入いただきましたアンケートは、同封の返信用封筒に入れ、平成 26 年２月 28 日(金)までに、郵便ポストにご投函ください。切手を貼る必要はありません。

＜記入にあたってのお願い＞

① アンケート及び封筒には、ご住所やお名前を書いていただく必要はありません。

② このアンケートは、封筒の宛名のご本人がご回答ください。（ご本人が書くことができない場合は、身近な方がご本人の意見を聞きながらご記入いただくなど、ご協力をお願いします。）

③ アンケートの内容については、同封しました「新たな中期計画の基本的方向（概要版）」や、**横浜市のホームページに掲載している「新たな中期計画の基本的方向」**も必要に応じてご覧ください。（http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/seisaku/chuki2014-/）

④ 回答の統計的結果や自由回答で記入いただいたご意見は、個人情報に関する内容を除き、公表する可能性があります。

1 あなたご自身についておたずねします。

あなたご自身についておたずねします。統計上、必要なものですので、ご協力をお願いします。

Ｆ１　あなたの性別をお答えください。（○は１つ）

49.9	男性	**49.2**	女性	（無回答 **0.9**）

Ｆ２　あなたの年齢をお答えください。（○は１つ）

1.7	12歳	**14.9**	16歳	
18.7	13歳	**13.5**	17歳	
16.8	14歳	**13.6**	18歳	
19.1	15歳			（無回答 **1.8**）

Ｆ２－１　Ｆ２で「４　15歳」とお答えの方にだけおたずねします。[N=211]
あなたは、中学生ですか。

92.4	はい	**7.6**	いいえ	（無回答 **0.0**）

Ｆ３　あなたは、どちらの区にお住まいですか。（○は１つ）

6.8	鶴見区	**6.2**	金沢区
5.3	神奈川区	**9.1**	港北区
2.2	西区	**5.2**	緑区
3.7	中区	**11.4**	青葉区
3.4	南区	**6.5**	都筑区
6.5	港南区	**8.5**	戸塚区
4.4	保土ケ谷区	**3.0**	栄区
5.5	旭区	**4.1**	泉区
4.3	磯子区	**3.2**	瀬谷区

（無回答 **0.7**）

Ｆ４　ご自宅の最寄りの鉄道駅の路線は、この中のどれですか。２つ以上の路線駅が近くにある場合は、ふだん利用している路線名で答えてください。（○は１つ）

9.2	東海道線・横須賀線
8.2	横浜線（東神奈川～長津田）
7.7	東横線
10.4	田園都市線・こどもの国線
4.8	京浜東北線（桜木町～鶴見）
8.2	根岸線（桜木町～大船）
13.3	京浜急行線
11.1	相鉄本線
2.6	相鉄いずみ野線
13.3	市営地下鉄線（ブルーライン）
4.3	市営地下鉄線（グリーンライン）
0.6	南武線
0.5	金沢シーサイドライン
0.3	鶴見線
0.7	みなとみらい線

（無回答 **4.6**）

アンケートは、次のページに続きます。

未来の横浜は、どんなまちになったらいいと思いますか？

問１

『新たな中期計画の基本的方向』では、８つの未来の横浜の姿をお示ししています。

4～7ページのまちの姿について「そうなってほしい」と思う場合は記入欄に「○」をつけてください。

○はここに記入してください。

1　女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち

78.7% 記入欄

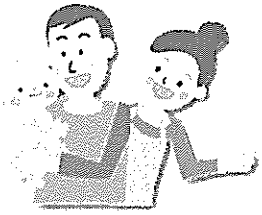
未来を担う人材づくり

全ての子育て世帯が安心して子どもを育てられるよう、保育所の整備や放課後の児童の居場所の充実に取り組みます。

子どもや若者が将来の生き方や進路を考え、みずから豊かで幸せな生き方を切りひらけるような教育を充実させます。

結婚・出産を機に仕事をやめた女性の再就職などのサポートを強化します。

こうした取組により、**女性や子ども、若者の力が存分に発揮できる社会**を目指します。



少子高齢化が進むなかでは、女性・若者・シニアの活躍がまちを元気にするんだね。
そのためにも市民一人ひとりの健康づくりが重要になるね。

2　誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち

64.5% 記入欄

370万人の健康づくり

一人ひとりが自分に合った健康づくりやスポーツを楽しむまちづくりを進めます。

お年寄りが地元や企業などで経験をいかして活躍する場が増えていくよう取り組んでいきます。

民間企業や市民団体と協力して、健康・予防を重視した取組を行います。

こうした取組により、**「誰もが健康なまち」**を目指します。

『新たな中期計画の基本的方向』の表現を一部変更しています。

3　企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち

67.0% 記入欄

横浜経済の成長・発展

小さな会社が元気に事業ができるようにサポートを充実します。

これから発展すると考えられる産業分野で努力する企業を応援して、経済の発展や働く人の増加を目指します。

こうした取組により、新たな雇用を創出し、将来にわたり、**豊かさを生み出す活力あふれる横浜経済**の実現を目指します。

豊かな暮らしのためには、中小企業を含め、元気な横浜経済でなければいけないね。
水・みどり、身近にある農など、豊かな環境を将来に引き継いでいくことも大切だね。

4　環境に配慮され豊かな自然が感じられるまち

77.9% 記入欄

未来への環境と都市農業の推進

エネルギーを上手に活用したり、利用されていないエネルギーの導入を促します。

水・みどりなど豊かな自然を実感できる場をつくります。

こうした取組により、**エネルギーが循環（じゅんかん）する低炭素※なまちづくり**を推進します。

横浜の農産物のブランド力を向上したり、農業の担い手を支援して、時代の変化に適応し持続できる**都市農業を推進**します。

低炭素
地球温暖化の原因とされている二酸化炭素の排出を抑制すること。

「未来のまちの姿」は次のページに続きます。

5　国内外から魅力的と感じられるまち

57.4% 記入欄

都心臨海部の再生・機能強化

従来の都心臨海部(横浜駅周辺、みなとみらい21など)に加え、東神奈川臨海部や山下ふ頭周辺も快適で魅力的なまちになるよう目指していきます。

文化芸術イベントでにぎわいにあふれるまちづくりを行っていきます。

多くの観光客を誘致したり、国際的な会議が横浜で開催されるよう誘致します。

こうした取組により、市民・企業・行政が一体となって、**世界中の人々を惹きつける都心臨海部**を目指します。

横浜の顔である美しい港や、緑あふれる住宅地など、地域の特色をいかして、世界中から人や企業が集まるまち、暮らしたいと思われるまちになるといいな。

6　魅力や活力あふれる、住みたい、住み続けたいと思えるまち

68.8% 記入欄

郊外部の再生・活性化

誰もが安全・安心で快適な暮らしができるよう、大規模団地の再生をはじめとした郊外住宅地の再生を行います。

駅及び駅周辺の機能強化や大規模な土地利用の変更の機会に合わせてまちづくりを行います。

こうした取組により、**住みたい、住み続けたいと思えるまち**を目指します。

7　都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち

57.2% 記入欄

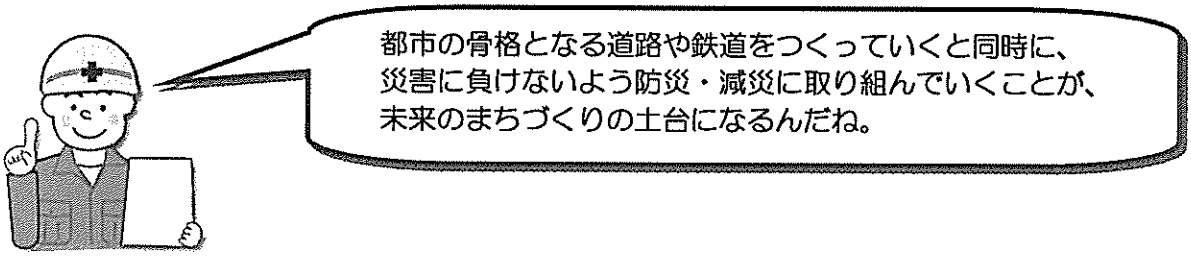
持続可能な都市インフラの構築

経済の成長や市民生活の安全・安心を支えるため、国際都市としての都市基盤（道路や鉄道など）を整備します。

国際競争力のある先進的な港湾施設を整備していきます。

情報通信技術を活用した効率的・効果的な都市基盤の保全を行います。

こうした取組により、**未来を支える骨格を備えた都市**を目指します。



8　災害に強い安全で安心なまち

86.5% 記入欄

災害に強い安全・安心なまちづくり

市民の生命や財産を守り、安全・安心を実感できるよう、未来の横浜を支える基礎となる取組を進めていきます。

災害に強い「人づくり」「地域づくり」「まちづくり」を柱としながら、防災の取組や、災害を減らすための様々な取組を着実に進め、**強靭（きょうじん）な防災・減災機能を備えた都市**を目指します。

（無回答 0.2%）

アンケートは次のページに続きます。

問２　あなたが「こうなってほしい」と思う未来の横浜の姿について、ご自由にお書きください。

アンケートは以上です。
ご協力ありがとうございました。

『未来の横浜』を一緒に描いていきましょう！

～「未来のまち」アンケート～

日ごろは、横浜市の取組にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、横浜市では「新たな中期計画の基本的方向」を公表しました。これは、平成 26 年度からの4年間の市の中期計画の方向性をお示ししたもので、今年の秋ごろの計画策定に向けて、検討を進めてまいります。

この計画を市民の皆さまと一緒に考えていくため、「新たな中期計画の基本的方向」の未来のまちの姿やこれから必要となる取組などについて皆さまの考えをおたずねします。

回答は 10 分程度で終わる簡潔なものですので、お忙しいところ恐れ入りますが、ご協力いただきますようお願いします。

横浜市政策局

＜記入にあたってのお願い＞

① このアンケートは市内にお住まいの 18 歳以上の方から無作為抽出した１万人の方にお送りしています。

② アンケート及び封筒には、ご住所やお名前を書いていただく必要はありません。

③ このアンケートは、封筒の宛名のご本人様がご回答ください。（ご本人が書くことができない場合は、身近な方がご本人の意見を聞きながらご記入いただくなど、ご協力をお願いします。）

④ アンケートの内容については、同封しました「新たな中期計画の基本的方向(概要版)」や、**横浜市のホームページに掲載している「新たな中期計画の基本的方向」**も必要に応じてご覧ください。(http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/seisaku/chuki2014-/)

⑤ 回答の統計的結果や自由回答で記入いただいたご意見は、個人情報に関する内容を除き、公表する可能性があります。

⑥ ご記入いただきましたアンケートは、同封の返信用封筒に入れ、平成 26 年２月 28 日(金)までに、郵便ポストにご投函ください。切手を貼る必要はありません。

◆調査主体：横浜市　政策局　政策部　政策課（〒231-0017　横浜市中区港町１丁目１番地）
電　話　671-2197（平日８：45～17：15）
◆調査実施：一般社団法人輿論科学協会（〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷４丁目８番６号）
電　話　0120-279-939　［担当：松岡］（平日 10：00～17：30）
電子メール　matsuoka@yoron-kagaku.or.jp

未来の横浜は、どんなまちになったらいいと思いますか？

問１　「新たな中期計画の基本的方向」では、８つの未来の横浜の姿をお示ししています。
以下のそれぞれのまちの姿について「そうなってほしい」と思う場合は記入欄に「○」をつけてください。

○はこの欄に記入してください。

1　女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち

記入欄

未来を担う人材づくり

安心して子どもを育てられるよう、様々な支援に取り組むとともに、子どもや若者が自ら豊かで幸せな生き方を切りひらけるよう教育を充実させます。

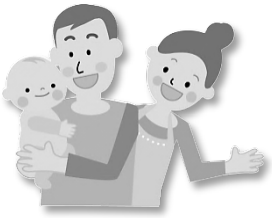
さらに女性の就業等への支援を加速し、**女性や子ども、若者の力が存分に発揮できる社会**を目指します。

2　誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち

記入欄

370 万人の健康づくり

市民一人ひとりが自分にあった健康づくりやスポーツを楽しみ、地域で交流し、自立した生活を送ることができる社会に向けて、「健康」を軸とした新たなまちづくりを進め、民間企業や市民団体と協働し、健康・予防を重視した取組により、**「健康寿命日本一」**を目指します。



少子高齢化が進むなかでは、女性・若者・シニアの活躍がまちを元気にするんだね。
そのためにも市民一人ひとりの健康づくりが重要になるね。

5　国内外から魅力的と感じられるまち

記入欄

都心臨海部の再生・機能強化

従来の都心臨海部(横浜駅周辺、みなとみらい21、関内・関外)に、東神奈川臨海部や山下ふ頭周辺を加え、快適で魅力的なまちづくりや文化芸術創造都市の推進、観光・MICE振興により、市民・企業・行政が一体となり、**世界中の人々を惹きつける都心臨海部**を目指します。

6　魅力や活力あふれる、住みたい、住み続けたいと思えるまち

記入欄

郊外部の再生・活性化

誰もが安全・安心で快適な暮らしができるよう、大規模団地の再生を起点とした郊外住宅地の再生、駅及び駅周辺の機能強化や大規模土地利用転換の機会などをとらえた戦略的な土地利用誘導などにより、**住みたい、住み続けたいと思えるまち**を目指します。

横浜の顔である美しい港や、緑あふれる住宅地など、地域の特色をいかして、世界中から人や企業が集まるまち、暮らしたいと思われるまちになるといいな。

3　企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち

記入欄

横浜経済の成長・発展

中小企業に対する基礎的支援を充実しつつ、「経済成長分野育成ビジョン（仮称）」に掲げる分野の育成・強化をはじめとする様々な産業の更なる成長・発展により、新たな雇用を創出し、将来にわたり、**豊かさを生み出す活力あふれる横浜経済**の実現を目指します。

4　環境に配慮され豊かな自然が感じられるまち

記入欄

未来への環境と都市農業の推進

エネルギーの効率的な活用、未利用エネルギーの導入促進や水・みどりを実感できる場の創出など、環境未来都市として、**エネルギーが循環する低炭素なまちづくり**を推進します。

ブランド力向上や担い手支援等、時代の変化に適応し持続できる**都市農業を推進**します。

豊かな暮らしのためには、中小企業を含め、元気な横浜経済でなければいけないね。
水・みどり、身近にある農など、豊かな環境を将来に引き継いでいくことも大切だね。

7　都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち

記入欄

持続可能な都市インフラの構築

経済成長や市民生活の安全・安心を支えるため、国際都市としての都市基盤の整備や、国際コンテナ戦略港湾としての先進的な施設整備、ICT技術を活用した効率的・効果的な保全等、戦略的に都市インフラを構築することで、**未来を支える骨格を備えた都市**を目指します。

8　災害に強い安全で安心なまち

記入欄

災害に強い安全・安心なまちづくり

市民の生命・財産を守り、安全・安心を実感できるよう、未来の横浜を支える基盤づくりとして、災害に強い「人づくり」「地域づくり」「まちづくり」を柱としながら、防災・減災に係る様々な施策を着実に推進させ、**強靭な防災・減災都市機能を備えた都市**を目指します。

都市の骨格となる道路や鉄道をつくっていくと同時に、
災害に負けないよう防災・減災に取り組んでいくことが、
未来のまちづくりの土台になるんだね。

『新たな中期計画の基本的方向』の表現を一部変更しています。

１ 未来のまちの姿について

問２　前ページの未来のまちの姿について、もう少し詳しくお伺いします。以下のそれぞれの中から、具体的に「そうなってほしい」と思うものすべてに○をつけてください。（○はいくつでも）

数字に○をつけてください。

１　子どもが健やかに育つための教育・環境が充実している
２　若者が様々な分野で活躍している
３　女性が社会でより一層活躍している

４　高齢者がいきいきと活躍している
５　医療や介護が充実している
６　障害者が安心して暮らしている
７　スポーツや健康づくりがさかんである
８　地域やＮＰＯなどの市民活動が活発である

９　新たな産業分野で企業が活躍している
10　企業が元気で市内で働く場所が増えている

11　再生可能エネルギーの活用など、環境に配慮されている
12　自然が身近に感じられる
13　都市型農業がさかんである

14　都心臨海部が更に発展している
15　国内外から多くの観光客が訪れている
16　文化芸術イベントなどでにぎわいにあふれている

17　駅及び駅周辺が便利である
18　郊外住宅地が魅力と活力にあふれている

19　鉄道や道路など都市インフラが充実している
20　国際競争力の高い港湾が整備されている

21　災害への備えが充実している
22　地域における支え合いが充実している

23　その他（**具体的に**：＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿＿）

問３　あなたが「こうなってほしい」と思う未来の横浜の姿について、ご自由にお書きください。

アンケートは次のページに続きます。

２ 未来のまちを実現するために必要な取組について

問４　前ページまででお答えいただいた「なってほしい未来のまち」を実現するために、横浜市が取り組んでいくといいと思うものは次のうちのどれですか。以下の「新たな中期計画の基本的方向」の基本政策の取組のうち、取り組むべきだと思うものすべてに〇をつけてください。

数字に〇をつけてください。

問４－１【女性・子ども・若者・シニアの支援】	
１	女性が働きやすい環境づくりの推進
２	高齢者が社会貢献できる環境づくりの推進
３	生まれる前から乳幼児期の子育て家庭支援
４	未就学期から学齢期までの子ども・子育て支援
５	子ども・若者のいじめ、不登校といった課題への対応
６	子どもたちを育成するきめ細かな教育
７	児童虐待・ＤＶ被害の防止
８	市内大学と連携した地域社会づくり

問４－２【市民生活の安心・充実】	
９	地域における災害への備え（自助・共助）の推進
10	地震・水害等の災害に強いまちづくり
11	安心して暮らすための防犯対策
12	経済的に困っている方への就労支援
13	高齢者の介護予防や健康づくりの取組
14	障害者の地域生活を支える様々な支援や社会参加の促進
15	市民の健康づくりや感染症等の予防対策強化
16	産科・小児医療、救急医療体制の強化や先進的医療提供に向けた取組
17	スポーツに親しむ機会（する・観る・支える）の充実
18	市民主体の地域運営の充実

問４－３【横浜経済の活性化】	
19	中小企業振興や雇用の創出、商店街の振興
20	成長・発展分野へ挑戦する市内企業への支援
21	若い世代が国際社会で活躍できるグローバル人材育成支援
22	市内企業の海外ビジネス進出支援
23	観光客誘致の強化と大規模国際会議の開催支援
24	文化芸術の振興・イベント開催や魅力ある景観づくり

問４－４【都市機能・環境の充実】	
25	横浜駅やみなとみらい 21 地区などの都心臨海部の強化・賑わい創出
26	ふ頭の整備・再開発や大型客船受入機能の強化
27	鉄道や環状道路の整備など交通ネットワークの充実
28	老朽化した公共施設の保全・更新
29	バス・地下鉄など地域の移動手段の利便性向上
30	子育て世帯や高齢者などの多様なニーズに応じた住まいづくり
31	郊外部の住宅地等の再生、駅及び駅周辺の機能強化
32	横浜市産農産物のブランド力向上や地産地消の推進
33	再生可能エネルギーの活用など地球温暖化対策の推進
34	省エネ行動など横浜らしいライフスタイルの定着と生物多様性の実現
35	緑の保全・創出や水辺環境の整備
36	ごみのさらなる減量、３Ｒ行動の推進

問５　その他未来に向けて横浜市が取り組んでいく必要があると思う取組があればご自由にお書きください。

３ あなたご自身についてお伺いします。

最後に、あなたご自身についてお伺いします。調査結果を分析する際に用いますので、ご協力よろしくお願いします。答えにくい質問は答えないで結構です。

Ｆ１　あなたの性別をお答えください。（○は１つ）

１　男性	２　女性

Ｆ２　あなたの年齢をお答えください。（○は１つ）

１　18～19 歳	４　40～49 歳	７　70 歳以上
２　20～29 歳	５　50～59 歳	
３　30～39 歳	６　60～69 歳	

Ｆ３　あなたは、現在どちらの区にお住まいですか。（○は１つ）

１　鶴見区	７　保土ケ谷区	13　青葉区
２　神奈川区	８　旭区	14　都筑区
３　西区	９　磯子区	15　戸塚区
４　中区	10　金沢区	16　栄区
５　南区	11　港北区	17　泉区
６　港南区	12　緑区	18　瀬谷区

Ｆ４　今のお住まいにはいつごろから住んでいらっしゃいますか。（○は１つ）

１　1970 年以前（昭和 45 年以前）	４　1991～2000 年（平成３～12 年）
２　1971～1980 年（昭和 46～55 年）	５　2001～2010 年（平成 13～22 年）
３　1981～1990 年（昭和 56～平成２年）	６　2011 年以降（平成 23 年以降）

Ｆ５　あなたが通勤・通学以外のお出かけや移動でよく使う交通手段は次のうちどれですか。（○は１つ）

１　徒歩のみ	３　車・バイク	５　その他
２　自転車	４　電車・バス	

Ｆ６　最寄りの鉄道駅からご自宅までの時間は、徒歩にしてどのくらいになりますか。次のうちから選んでください。（○は１つ）

１　５分未満	２　５分～15 分未満	３　15 分以上

Ｆ７　お住まいの最寄りの鉄道駅の路線は、この中のどれですか。２つ以上の路線駅が近くにある場合は、ふだん利用している路線名で答えてください。
（○は１つ）

１	東海道線・横須賀線	９	相鉄いずみ野線
２	横浜線（東神奈川～長津田）	10	市営地下鉄線（ブルーライン）
３	東横線	11	市営地下鉄線（グリーンライン）
４	田園都市線・こどもの国線	12	南武線
５	京浜東北線（桜木町～鶴見）	13	金沢シーサイドライン
６	根岸線（桜木町～大船）	14	鶴見線
７	京浜急行線	15	みなとみらい線
８	相鉄本線		

Ｆ８　あなたは横浜生まれですか。（○は１つ）

１	はい	２	いいえ

Ｆ８－１　**Ｆ８で「２」と答えた方のみお答えください。**
あなたのお生まれは次のどちらですか。（○は１つ）

１	横浜市以外の神奈川県	２	神奈川県以外

Ｆ９　あなたは現住所の前に住んでいたところがありますか。（○は１つ）

１	はい	２	いいえ

Ｆ９－１　**Ｆ９で「１」と答えた方のみお答えください。**
あなたが現住所の直前に住んでいたところはどちらですか。（○は１つ）

１	今お住まいの区内の別の場所	４	東京都区部
２	横浜市内の別の区	５	東京都区部を除く東京都内
３	神奈川県内の他市町村	６	その他

Ｆ９－２　**Ｆ９で「１」と答えた方のみお答えください。**
あなたが、今のお住まいに引っ越した主な理由は何ですか。
（○は１つ）

１	進学・独立など自分の転機のため	４	自宅の購入や住み替えのため
２	結婚・出産・介護など家族のため	５	特別な理由はない
３	就職・転職・転勤など仕事のため	６	その他

Ｆ10　あなたは、今住んでいるまちにこれからも住み続けたいと思いますか。
（○は１つ）

１　住み続けたい	４　どちらかといえば転居したい
２　どちらかといえば住み続けたい	５　転居したい
３　わからない	

Ｆ10－１　Ｆ10 で「４」または「５」と答えた方のみお答えください。
もし、今のお住まいから転居するとしたら、横浜市内ですか。
（○は１つ）

１　横浜市内	２　横浜市外	３　わからない

Ｆ10－１－１　Ｆ10－１で「１」と答えた方のみお答えください。
もし、今のお住まいから転居するとしたら、現在のお住まいの近くを希望しますか。（○は１つ）

１　希望する	２　こだわらない	３　わからない

Ｆ10－２－１　Ｆ10－１で「２　横浜市外」と答えた方のみお答えください。
転居したい主な理由は何ですか。（○は１つ）

１　進学・独立など自分の転機のため	４　自宅の購入や住み替えのため
２　結婚・出産・介護など家族のため	５　特別な理由はない
３　就職・転職・転勤など仕事のため	６　その他

Ｆ10－２－２　Ｆ10－１で「２　横浜市外」と答えた方のみお答えください。
もし、横浜市外に転居する場合、どこに転居したいですか。
（○は１つ）

１　川崎市	４　東京都区部を除く東京都内
２　川崎市を除く県内の他市町村	５　そのほかの道府県
３　東京都区部	６　わからない

Ｆ11　あなたは現在、結婚していますか。（○は１つ）

１　している	２　していない

Ｆ11－１　Ｆ11 で「１」と答えた方のみお答えください。
あなたは共働きをしていますか。（○は１つ）

１　している	２　していない

Ｆ12　あなたに 18 歳以下のお子さんはいますか。いる場合、お子さんは次のどの年齢にあたりますか。別居しているお子さんも含め全員について、お答えください。（○はいくつでも）

１　子どもはいない	４　13～15 歳（中学生）
２　０～５歳（小学校入学前）	５　16～18 歳
３　６～12 歳（小学生）	

Ｆ13　あなたの家族形態は、この中のどれにあたりますか。同居している方のみで当てはまるものをお答えください。（○は１つ）

１　ひとり暮らし	４　３世代
２　夫婦のみ	５　その他
３　親と子（２世代）	

Ｆ14　あなたのお住まいは、この中のどれにあたりますか。（○は１つ）

１　一戸建て（持家）	３　マンション・共同住宅（持家）	５　その他
２　一戸建て（借家）	４　マンション・共同住宅（借家）	

Ｆ14－１　<u>Ｆ14 で「１　一戸建て（持家）」と答えた方のみお答えください。</u>

2025 年頃までにお住まいを建て替える予定はありますか。（○は１つ）

１　はい	２　いいえ	３　わからない

Ｆ15　あなたの現在のご職業は何ですか。アルバイト・パートなども含めてお答えください。複数ある場合は、主なものを１つお答えください。（○は１つ）

１　自営業	（農林漁業、商・工・サービス業、自由業の自営業主および家族従業者）
２　管理職	（会社の部長級以上、官公庁の課長級以上など）
３　専門技術職	（勤務医師、研究所研究員、技師など）
４　事務職	（事務職、営業職、教員など）
５　現業職	（生産工程、販売・サービス、運転手、保安職などの従事者）
６　学生	→ 次のページにおすすみください。勤務地・通学先などの質問があります。
７　専業主婦・主夫	→ アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。
８　その他	

Ｆ16からＦ18は、Ｆ15で「１　自営業」「２　管理職」「３　専門技術職」「４　事務職」「５　現業職」「６　学生」と答えた方にお聞きします。それ以外の方は、回答は不要です。

Ｆ16　あなたの勤務地・通学先は横浜市内にありますか。複数ある場合は、主な勤務地・通学先でお答えください。（○は１つ）

１　はい	２　いいえ

Ｆ16－１　**Ｆ16で「２」と答えた方にお聞きします。**

あなたの勤務地・通学先はどこにありますか。複数ある場合は、主な勤務地・通学先でお答えください。

１　神奈川県内の他市町村	３　東京都区部を除く東京都	５　埼玉県
２　東京都区部	４　千葉県	６　その他

Ｆ17　あなたの普段の通勤・通学時間（片道）はどのくらいですか。（○は１つ）

１　30分未満	２　30分～１時間30分未満	３　１時間30分以上

Ｆ18　あなたの普段の主な通勤・通学手段は次のうちどれですか。（○は１つ）

１　徒歩のみ	３　車・バイク	５　その他
２　自転車	４　電車・バス	

アンケートは以上です。
ご協力ありがとうございました。

『未来の横浜』を一緒に描いていきましょう！

～「未来のまち」アンケート～

宛名のご本人様がご回答いただきますよう、お願いします。

保護者の方へ

日ごろは、横浜市の取組にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

このたび、横浜市では「新たな中期計画の基本的方向」を公表しました。これは、平成 26 年度からの4年間の市の中期計画の方向性をお示ししたものです。

この計画を市民の皆さまと一緒に考えていくため、市内にお住まいの中学生・高校生の世代の 3,000 名の方を無作為抽出して「新たな中期計画の基本的方向」の未来の横浜の姿についてアンケートを実施します。（18 歳以上の方から無作為抽出した 1 万人の方にも未来の横浜の姿に関するアンケートを実施しています。）

宛名の方に、ご回答いただきますよう、ご協力をお願いします。

ご本人様へ

このたび、横浜市では「新たな中期計画の基本的方向」を公表しました。ここで描いている未来の横浜の姿について、近い将来、社会で活躍する皆さまと一緒に考えていくため、市内にお住まいの中学生・高校生の世代の 3,000 名の方にアンケートを実施します。

回答は 10 分程度で終わる簡潔なものですので、お忙しい中恐れ入りますが、ご協力をお願いします。

横浜市政策局

◆調査主体：横浜市　政策局　政策部　政策課（〒231-0017　横浜市中区港町１丁目１番地）
電　話　671-2197（平日８：45～17：15）
◆調査実施：一般社団法人輿論科学協会（〒151-0051　東京都渋谷区千駄ヶ谷４丁目８番６号）
電　話　0120-279-939　［担当：松岡］（平日 10：00～17：30）
電子メール　matsuoka@yoron-kagaku.or.jp

◎ご記入いただきましたアンケートは、同封の返信用封筒に入れ、平成 26 年２月 28 日(金)までに、郵便ポストにご投函ください。切手を貼る必要はありません。

＜記入にあたってのお願い＞

① アンケート及び封筒には、ご住所やお名前を書いていただく必要はありません。

② このアンケートは、封筒の宛名のご本人がご回答ください。（ご本人が書くことができない場合は、身近な方がご本人の意見を聞きながらご記入いただくなど、ご協力をお願いします。）

③ アンケートの内容については、同封しました「新たな中期計画の基本的方向（概要版）」や、**横浜市のホームページに掲載している「新たな中期計画の基本的方向」**も必要に応じてご覧ください。（http://www.city.yokohama.lg.jp/seisaku/seisaku/chuki2014-/）

④ 回答の統計的結果や自由回答で記入いただいたご意見は、個人情報に関する内容を除き、公表する可能性があります。

１ あなたご自身についておたずねします。

あなたご自身についておたずねします。統計上、必要なものですので、ご協力をお願いします。

Ｆ１　あなたの性別をお答えください。（○は１つ）

１　男性	２　女性

Ｆ２　あなたの年齢をお答えください。（○は１つ）

１ 12 歳	５ 16 歳
２ 13 歳	６ 17 歳
３ 14 歳	７ 18 歳
４ 15 歳	

Ｆ２－１　Ｆ２で「４　15 歳」とお答えの方にだけおたずねします。
あなたは、中学生ですか。

１　はい	２　いいえ

Ｆ３　あなたは、どちらの区にお住まいですか。（○は１つ）

１	鶴見区	10	金沢区
２	神奈川区	11	港北区
３	西区	12	緑区
４	中区	13	青葉区
５	南区	14	都筑区
６	港南区	15	戸塚区
７	保土ケ谷区	16	栄区
８	旭区	17	泉区
９	磯子区	18	瀬谷区

Ｆ４　ご自宅の最寄りの鉄道駅の路線は、この中のどれですか。２つ以上の路線駅が近くにある場合は、ふだん利用している路線名で答えてください。（○は１つ）

１	東海道線・横須賀線
２	横浜線（東神奈川～長津田）
３	東横線
４	田園都市線・こどもの国線
５	京浜東北線（桜木町～鶴見）
６	根岸線（桜木町～大船）
７	京浜急行線
８	相鉄本線
９	相鉄いずみ野線
10	市営地下鉄線（ブルーライン）
11	市営地下鉄線（グリーンライン）
12	南武線
13	金沢シーサイドライン
14	鶴見線
15	みなとみらい線

アンケートは、次のページに続きます。

未来の横浜は、どんなまちになったらいいと思いますか？

問１

『新たな中期計画の基本的方向』では、８つの未来の横浜の姿をお示ししています。

4～7ページのまちの姿について「そうなってほしい」と思う場合は記入欄に「○」をつけてください。

○はここに記入してください。

1　女性、子ども、若者などが元気で持てる力が発揮されるまち

記入欄

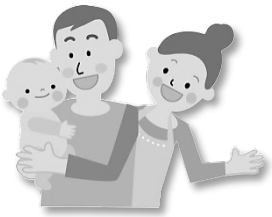
未来を担う人材づくり

全ての子育て世帯が安心して子どもを育てられるよう、保育所の整備や放課後の児童の居場所の充実に取り組みます。

子どもや若者が将来の生き方や進路を考え、みずから豊かで幸せな生き方を切りひらけるような教育を充実させます。

結婚・出産を機に仕事をやめた女性の再就職などのサポートを強化します。

こうした取組により、**女性や子ども、若者の力が存分に発揮できる社会**を目指します。



少子高齢化が進むなかでは、女性・若者・シニアの活躍がまちを元気にするんだね。
そのためにも市民一人ひとりの健康づくりが重要になるね。

2　誰もが健康で高齢者の活躍の場があるまち

記入欄

370 万人の健康づくり

一人ひとりが自分に合った健康づくりやスポーツを楽しむまちづくりを進めます。

お年寄りが地元や企業などで経験をいかして活躍する場が増えていくよう取り組んでいきます。

民間企業や市民団体と協力して、健康・予防を重視した取組を行います。

こうした取組により、**「誰もが健康なまち」**を目指します。

『新たな中期計画の基本的方向』の表現を一部変更しています。

3　企業が成長し新しい雇用が生まれる経済の元気なまち

記入欄

横浜経済の成長・発展

小さな会社が元気に事業ができるようにサポートを充実します。

これから発展すると考えられる産業分野で努力する企業を応援して、経済の発展や働く人の増加を目指します。

こうした取組により、新たな雇用を創出し、将来にわたり、**豊かさを生み出す活力あふれる横浜経済**の実現を目指します。

豊かな暮らしのためには、中小企業を含め、元気な横浜経済でなければいけないね。
水・みどり、身近にある農など、豊かな環境を将来に引き継いでいくことも大切だね。

4　環境に配慮され豊かな自然が感じられるまち

記入欄

未来への環境と都市農業の推進

エネルギーを上手に活用したり、利用されていないエネルギーの導入を促します。

水・みどりなど豊かな自然を実感できる場をつくります。

こうした取組により、**エネルギーが循環（じゅんかん）する低炭素※なまちづくり**を推進します。

横浜の農産物のブランド力を向上したり、農業の担い手を支援して、時代の変化に適応し持続できる**都市農業を推進**します。

低炭素
　地球温暖化の原因とされている二酸化炭素の排出を抑制すること。

「未来のまちの姿」は次のページに続きます。

5　国内外から魅力的と感じられるまち

記入欄

都心臨海部の再生・機能強化

従来の都心臨海部(横浜駅周辺、みなとみらい21など)に加え、東神奈川臨海部や山下ふ頭周辺も快適で魅力的なまちになるよう目指していきます。

文化芸術イベントでにぎわいにあふれるまちづくりを行っていきます。

多くの観光客を誘致したり、国際的な会議が横浜で開催されるよう誘致します。

こうした取組により、市民・企業・行政が一体となって、**世界中の人々を惹きつける都心臨海部**を目指します。

横浜の顔である美しい港や、緑あふれる住宅地など、
地域の特色をいかして、世界中から人や企業が集まる
まち、暮らしたいと思われるまちになるといいな。

6　魅力や活力あふれる、住みたい、住み続けたいと思えるまち

記入欄

郊外部の再生・活性化

誰もが安全・安心で快適な暮らしができるよう、大規模団地の再生をはじめとした郊外住宅地の再生を行います。

駅及び駅周辺の機能強化や大規模な土地利用の変更の機会に合わせてまちづくりを行います。

こうした取組により、**住みたい、住み続けたいと思えるまち**を目指します。

7　都市基盤が整備され生活や移動が便利なまち

記入欄

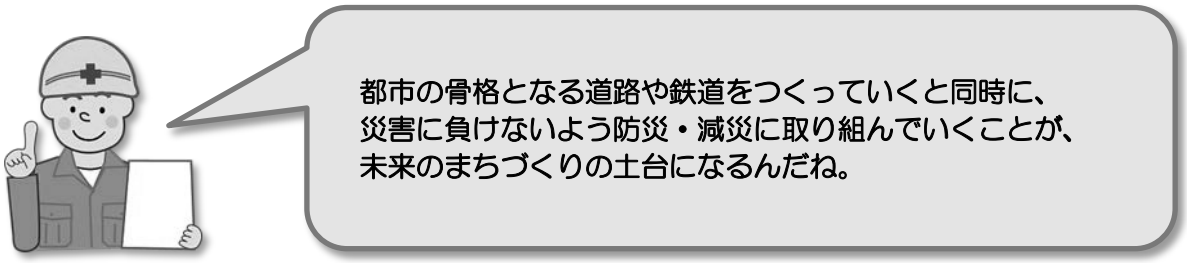
持続可能な都市インフラの構築

経済の成長や市民生活の安全･安心を支えるため、国際都市としての都市基盤（道路や鉄道など）を整備します。

国際競争力のある先進的な港湾施設を整備していきます。

情報通信技術を活用した効率的･効果的な都市基盤の保全を行います。

こうした取組により、**未来を支える骨格を備えた都市**を目指します。



8　災害に強い安全で安心なまち

記入欄

災害に強い安全・安心なまちづくり

市民の生命や財産を守り、安全･安心を実感できるよう、未来の横浜を支える基礎となる取組を進めていきます。

災害に強い「人づくり」「地域づくり」「まちづくり」を柱としながら、防災の取組や、災害を減らすための様々な取組を着実に進め、**強靭（きょうじん）な防災･減災機能を備えた都市**を目指します。

アンケートは次のページに続きます。

問２　あなたが「こうなってほしい」と思う未来の横浜の姿について、ご自由にお書きください。

アンケートは以上です。
ご協力ありがとうございました。